

厚生労働科学研究費補助金
障害者対策総合研究事業
(障害者政策総合研究事業(身体・知的等障害分野))

補装具の適切な支給実現のための
制度・仕組みの提案に関する研究

平成27年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 井上 剛伸
平成28(2016)年3月

目次

. 総括研究報告書	
補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究	5
. 分担研究報告書	
1. 完成用部品の機能区分整備	15
児玉義弘・山崎伸也・我澤賢之・相川考訓	
付．完成用部品機能区分表 骨格構造義足	19
3. 完成用部品機能区分に基づく部品価格制度案	79
我澤賢之・山崎伸也・長瀬毅	
(参考) 義肢・装具・座位保持装置の事業別の収支・費用構成の傾向	
我澤賢之・山崎伸也・長瀬毅	101
4. 補装具費支給判定基準マニュアルの作成	107
樫本修	
5. 機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備	111
石渡利奈・山崎伸也・我澤賢之・相川考訓	
. 研究成果の刊行に関する一覧表	117

I . 総括研究報告書

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
総括研究報告書

補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究

研究代表者 井上剛伸 国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部長

研究要旨 本研究の目的は、義肢・装具・座位保持装置の価格を適正に設定する仕組みを整えるとともに、完成用部品の機能に基づく整理を確立することで、障害状況に適応した適切な補装具が支給されるための制度・仕組みを提案することにある。これにより、これら補装具の利用者の社会参加・自立を促進することを目指す。そのために、＜課題1＞完成用部品の機能区分整備、＜課題2＞製作費用の包括的把握方法と簡便なデータ更新方法の確立にかかる研究、＜課題3＞補装具費支給判定基準マニュアルの作成、＜課題4＞機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備の小課題を設定した。

今年度の成果は以下の通りである。

＜課題1＞平成25年度および平成26年度に行った調査・分析結果を基に機能の定義付けとその妥当性を確認し、完成用部品の骨格構造義足について機能区分案を作成した。

＜課題2＞現行の部品リストから、機能区分内の部品の価格を調べたところ、平均48.0%と、ある程度大きなちがひがあることがわかった。また、将来的に、機能区分毎固定価格制を併用することで必要な部品を供給しつつ全体のコストを抑えられるとの推計が得られた。

＜課題3＞更生相談所職員を対象とした限定版（Q&A189問）と医療関係者、市町村職員等支援者を対象とした公開版（Q&A71問）に分けてマニュアルを作成した。いずれも、骨格義足完成用部品の機能区分表を盛り込み義肢判定の際に役立つものとして完成させた。

＜課題4＞機能区分の運用上必要な情報を整理するとともに、完成用部品登録申請を通じて集約することを想定した様式改訂案の作成、さらには、運用上の問題点についてまとめた。

さらに、課題1から4の成果を受け、補装具費支給制度に関する提案をとりまとめた。短期的には、機能区分表の公開による共通認識の促進と価格の平準化であり、長期的には、機能区分の整理に基づいた価格設定と利用者の機能を結びつけた適正な支給判定の促進を提案した。

研究分担者

樫本修・宮城県リハビリテーション支援センター・
所長

児玉義弘・ナブテスコ株式会社住環境カンパニー福祉事業推進部・部長（～平成27年5月）、
同・参与（平成27年6月～12月）、国立
障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発部・客員研究員（平成28年1
月～3月）

山崎伸也・国立障害者リハビリテーションセンター
研究所義肢装具技術研究部・副義肢装具士
長

我澤賢之・国立障害者リハビリテーションセンター
研究所障害福祉研究部・研究員

石渡利奈・国立障害者リハビリテーションセンター
研究所福祉機器開発部・第一福祉機器試験
評価室長

研究協力者

相川孝訓・国立障害者リハビリテーションセンター
研究所福祉機器開発部 非常勤研究員

伊藤利之・横浜市リハビリテーション事業団 顧問
小川雄司・埼玉県総合リハビリテーションセンター
主任

高岡 徹・横浜市総合リハビリテーションセンター
医療部長

武田輝也・宮城県リハビリテーション支援センター
技師

長瀬 毅・流通経済大学経済学部 准教授
 正岡 悟・大阪府障がい者自立相談センター 所長
 松野史幸・一般社団法人日本車椅子シーティング協会

A. 目的

補装具費支給制度は本邦における福祉用具の公的給付の根幹をなす制度である。補装具の価格は補装具費支給基準により定められているが、特に義肢・装具・座位保持装置（以下、義肢等）については基本価格、製作要素価格の項目が多岐にわたることに加え完成用部品を用いることから、その供給に要する費用と価格のバランスを適正に保ち続けるための仕組みが十分に整えられているとは言いがたい。また、全国の更生相談所の補装具判定における基準解釈の違い、地域格差の是正をなくし、公平・公正な判定の考え方の意識を統一する必要があると考えられる。

完成用部品については、現在部品指定申請時に部品供給業者より提示された価格を元に厚生労働省が公示価格を設定している。その際、部品の区分は部品の構造を基に、大まかな分類はなされているものの、部品の機能に基づいた区分は示されていない。そのため、適切な部品が、適正に利用者の手元に渡らないという問題を生じている。価格については、原価率等を確認する仕組みはあるものの、高額・高機能部品を含め部品の機能に応じた価格妥当性評価を行う仕組みは確立していない。そのため、類似の機能でありながら価格が大きく異なる部品がある等の問題が生じている。さらに、完成用部品の指定申請にあたっては、その複雑さにより、トラブルが生じるケースも見られており、様式等を含めて手続きを整備する余地がある。こうした課題を解決することで、利用者にとって必要で使いやすい補装具が、適正な価格で安定的に供給されるようになるものと考えられる。

本研究は、義肢・装具・座位保持装置の価格を適正に設定する仕組みを整えるとともに、完成用部品の機能に基づく整理を確立することで、障害状況に適応した適切な補装具が支給されるための制度・仕組みを提案することを目的とする。これにより、これら補装具の利用者の社会参加・自立を促進することを目指す。

具体的な課題として、完成用部品の機能区分を整備することを中心に据え、それと完成用部品の価格および利用者の機能との関連づけを行うこととした。それを基に、価格の決定や支給判定、申請手続きを適正かつ円滑に行う制度・仕組みを提案する。

昨年度は、骨格構造義足について合計 976 点の部品の情報を入手し、機能区分の初版を作成した。製作費用については、義肢等の製作事業者に対するアンケート結果をもとに、人件費単価が平成 23 年度の調査結果よりも低い値となっている点、利益率が平

均値より低い事業所が多い点等を明らかにした。補装具費支給判定基準マニュアルについては、Q&A（暫定版）の更生相談所における 6 ヶ月試用後のアンケート調査を実施し、8 割以上から役立っているとの回答が得られた。得られた結果を基に、暫定版の修正点を決定するとともに、公開版と更生相談所限定版を作ることとした。申請手続きの整理については、昨年度の調査結果に基づき、様式、記入要領、説明会での説明方法の改善を行い、その効果が示された。

本年度は、骨格義足の機能区分表および補装具費支給判定基準マニュアルを完成させるとともに、機能区分を踏まえた完成用部品の価格設定や完成用部品申請についての仕組みを提案することを目標とした。

B. 方法

上記の目的を達成するために、本研究では、以下の 4 つの小課題を設定して研究を実施している。

- < 課題 1 > 完成用部品の機能区分整備（児玉、山崎、我澤）
- < 課題 2 > 製作費用の包括的把握方法と簡便なデータ更新方法の確立にかかる研究（我澤、山崎）
- < 課題 3 > 補装具費支給判定基準マニュアルの作成（榎本）
- < 課題 4 > 機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備（石渡、山崎）

図 1 にそれぞれの課題の関連性を示す。

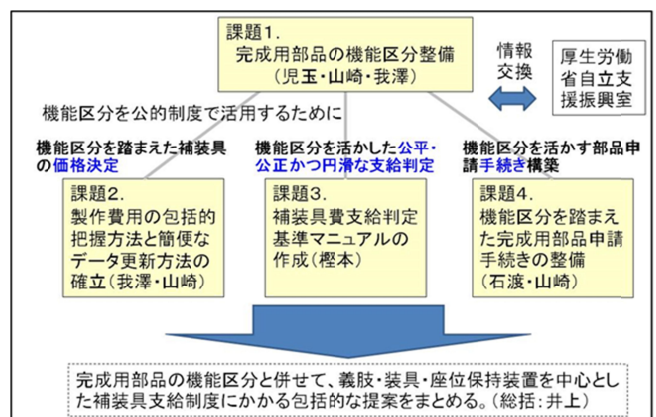


図 1 研究課題の関連性

B-1. 完成用部品の機能区分整備

1) 骨格構造義足用部品の機能区分暫定案作成

平成 26 年度版および平成 27 年度版「完成用部品の指定基準」に掲載の骨格構造義足用部品約 1200 点について機能の整理・定義付けを行い、機能区分暫定案を作成した。

2) 機能区分案の共通理解と内容の充実

作成した機能区分暫定案をベースに、部品供給事業者（7 社）との意見交換会を実施した。これによって得られた情報を参考として機能区分表を完成させた。

B-2. 製作費用の包括的把握方法と簡便なデータ更新方法の確立にかかる研究

1) 機能区分毎の価格状況についての検討

機能区分案毎に属する部品の価格について、標準偏差と平均価格の比を算出し、価格の散らばりの状況を確認した。ただし、本研究では、部品の属性が価格に与える影響を除去するため、区分に定められた基本的な機能のみを有するものを対象として価格のちらばりの状況を確認するものとし、下記のいずれかを満たす部品を除去して算出を行った。

- ・付加機能がある。
- ・主な材料として、チタンもしくはカーボン、マグネシウムを含む。
- ・使用者の身体機能について、メーカー推奨KレベルがK4に対応している、もしくは「活発な歩行」を想定している。
- ・製造中止もしくは削除の予定がある。

2) 機能区分に基づく価格制度の検討

完成用部品の価格制度について、補装具製作事業者から見た(a)完成用部品供給業者からの仕入価格と(b)補装具価格への加算価格の定め方の2点に着目し、考えられる制度の類型分けをし、前項の結果を踏まえてそれぞれの制度における特性をまとめた。

B-3. 補装具費支給判定基準マニュアルの作成

1) Q & Aの厳選・整理

平成26年度に行ったアンケート調査結果をもとに「補装具費支給判定Q & A暫定版2・アンケート調査結果」の151問を整理して掲載に相応しいものを厳選した。また、平成26年度、平成27年度に「全国身体障害者更生相談所長協議会補装具判定専門委員会」に寄せられた新たなQ & A(26年度32問、27年度途中まで28問)を厳選、加工して新たに追加できる質問を整理した。

2) 項目の追加

平成26年度アンケートの意見を参考に補装具費支給制度の基本事項を追加するとともに、骨格義足の完成用部品の機能区分表を盛り込むこととした。

以上をふまえて、更生相談所職員を対象とした限定版と医療関係者、市町村職員等支援者を対象とした公開版に分けてマニュアルを作成した。

B-4. 機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備

1) 新しい部品を機能区分に分類するために必要な情報と当該情報を集約する場合必要となる申請様式の改定案について

作成された骨格構造義足用部品の機能区分に掲載されている内容と、本研究で改訂した補装具等完成用部品の現行の申請様式について機能区分をとり入れることで、新しく追加が必要となる項目にを考慮し、改定案を作成した。

2) 機能区分案を取り入れた場合、運用していく上で考えられる事項

補装具等完成用部品の申請受付から新しい補装具等完成用部品の情報公開までの流れの中で、機能区分案を取り入れた場合に発生するであろう問題点を整理した。

C. 結果と考察

C-1. 完成用部品の機能区分整備

1) 骨格構造義足用部品の機能区分暫定案作成

骨格構造義足用部品約1200点について、機能区分の大枠として、切断者の失われた機能を代償するものとの観点から、人と義足のインターフェースの役割を補助する部品、膝関節など生体の各部分の機能を代償する部品、股継手・膝継手・足継手・足部等を繋ぐ部品、足の形状をつくる外装のための部品の4つに分類し、これらを更に構造(機構)、機能毎に分類した。更に、同一構造、同一機能間の差異について、使用者体重制限、主な使用材料、重量、メーカー推奨適応活動レベル(Kレベル)(前述の部品のみのみ)、特記事項(付加機能)等を記載した機能区分暫定案を作成した。

2) 機能区分案最終版の作成

作成した機能区分暫定版を基に、完成用部品供給事業者との意見交換会を開催した。意見交換会には、完成用部品供給事業者から7社9名、オブザーバーとして厚生労働省福祉用具専門官、そして研究班から6名が参加した。

参加者から多くの質問や意見が出されたが、機能区分案については概ね理解が得られた。ここで出された部品供給事業者からの意見を参考として機能区分を修正しの最終版をまとめた。また、部品の検索や今後の整理等に役立つようカテゴリー毎にコード付けを行った。

最終的に平成26年度および平成27年度版の完成用部品の指定基準に掲載の骨格構造義足部品1189点について機能区分を作成した。具体的には、インターフェースとしての役割を補助する部品178点を18のカテゴリーに、生体の股関節・膝関節・足部等の機能を代償する部品404点を67のカテゴリーに、股継手・膝継手・足継手・足部等を繋ぐ部品519点を41のカテゴリーに、足の形状をつくる外装のための部品88点を20のカテゴリーに分類しそれぞれにコード付けを行った。

C-2. 製作費用の包括的把握方法と簡便なデータ更新方法の確立にかかる研究

1) 機能区分毎の価格状況についての検討

全機能区分(148区分)のうち有効品目数が3以上の区分72について算出した「標準偏差÷平均」の値は最大値140.3%、平均48.0%、中位値42.4%、最小値8.5%であった。また「標準偏差÷平均」の値が50.0%以上である区分は29であった。この結果は、

現状において同一区分内にある程度の大きさの価格の散らばりが存在することを示している。

2) 機能区分に基づく価格制度の検討

個々の部品の機能区分が明示されることを前提とした部品価格制度について、機能区分補装具製作事業者から見た仕入価格、加算価格の区分に基づく価格制度の類型分けを行ったところ、仕入価格については固定価格制(年に1回申請に基づく更新機会)、オープン価格制の2種を、加算価格については部品毎の固定価格制、機能区分毎の固定価格制の2種を想定することができた。

以下、仕入価格についての特徴を述べ、ついで加算価格についての特徴ならびに参考とすべき類似制度を述べる。

仕入価格について

仕入価格については、現状固定価格制が採られている。これはどの補装具製作事業者も同じ部品は同じ価格で購入することになるため、補装具製作事業者の直面する完成用部品使用により得られる粗利(部品管理費を含む)の水準を厚労省がコントロールできる意味を持つとともに、大量の部品のまとめ買いが困難な比較的小規模の事業所の保護に役立つメリットがある。その反面、完成用部品供給事業者は次期価格改定が行われるまでの期間(現行、年度単位)価格変更ができないため、為替リスク等を踏まえた価格申請をせざるをえない面があり、これが部品価格を引き上げる方向に作用している可能性がある点デメリットと考えられる。

なお、加算価格が機能区分毎価格制の場合でかつ機能区分名での補装具処方方式が導入される場合は、仕入価格の更新間隔の短縮もしくはオープン価格制を検討する必要があると思われる。これは、完成用部品供給事業者間の価格競争にかかる点である。仮に同一機能区分における加算価格が同一の部品間で仕入価格の異なる部品があった場合、補装具製作事業者は、購入費用以外の部品の調整・管理等にかかる費用を考慮しつつ総合的により安価なものを選択することが考えられる。この状況で仕入価格が固定価格制であるとするれば、相対的に高い仕入価格を設定した完成用部品供給事業者は、次の仕入価格変更の機会まで部品がほとんど売れないという状況が生じることが想定される。仕入価格を長期間変更できないとするればこの点が問題になると思われる。

加算価格について

加算価格を機能区分毎に設定することは、同等機能の部品の価格平準化を進めるうえで極めて強い効果を示すと考えられる。これを制度化するためには、個々の部品の機能区分と仕入価格等に基づく価格設定・改定のルール、それらの根拠である仕入価格等市場調査方法、該当機能区分をより厳密に審査するための組織・仕組み作りの整備が必要となる。

区分別の部品価格(加算価格)のちらばりが大きい現状を踏まえると、当面は現行制度のまま機能区

分を表示することで、機能区分毎の価格がゆるやかに平準化していくのを見守るのが望ましいと考えられる。長期的には、前項制度を継続する選択肢の他、補装具への加算価格について機能区分毎価格を導入することも検討の余地がある。現状、アメリカ、フランスにおいては比較的安価な部品については機能区分別固定価格、高額部品については個別価格(米国保険制度では雑コードに相当)と両制度を併用している国もある。日本の薬価制度も両制度制と言える。

C-3. 補装具費支給判定基準マニュアルの作成

1) 限定版の構成

限定版に選出したQ & Aは189問となった。限定版は次のように構成した。

補装具費支給制度の基本事項

補装具制度の歴史概要、補装具判定における身体障害者更生相談所の役割、補装具判定・処方前の基礎知識

補装具費支給事務取扱指針にみる疑義解釈
制度適用、支給可能な個数、特例補装具など28問。

補装具費支給の算定に関する疑義解釈
装具、義肢、車椅子など種目別で77問。
基準の文言の解釈・補装具の適応・技術的な理解
に関する疑義解釈

種目別の理解、児童補装具の理解、難病の理解など84問。

厚生労働省事務連絡のQ & A(自立支援法以降)
計6回にわたる事務連絡の計51問。

技術編：義足完成用部品の理解

骨格構造義足判定における処方の理解、義足の継手、足部について機能区分表を掲載した。

2) 公開版の構成

公開版に選出したQ & Aは71問となった。公開版は次のように構成した。

補装具費支給制度の基本事項

限定版と同内容

補装具費支給制度の理解と疑義解釈

補装具の定義、更生相談所の補装具判定とは何か、治療用装具と更生用装具の違いなど補装具費支給制度の理解に関する基本的なQ & A24問。

医療関係者・市町村等支援者向けQ & A

医療関係者等中間ユーザーの理解を促すとともに市町村が補装具費の支給決定を行う際に参考となるようなQ & A47問。特に児童の補装具、難病患者等に関するQ & Aを掲載した。

厚生労働省事務連絡のQ & A(自立支援法以降)
計6回にわたる事務連絡の計51問。

技術編：義足完成用部品の理解

骨格構造義足判定における処方の理解、義足の継手、足部について機能区分表を掲載した。

3) マニュアルの特長

3年間の研究成果として作成した「補装具費支給判定基準マニュアル」の最大の特長は、その構成の核となる補装具に関するQ & Aが、実際に全国の身体障害者更生相談所の補装具判定において生じたQをアイデアにして作成されていることである。平成28年2月末までに241個のQ & Aが蓄積されている。個別の既製品に対するものを省いたQ & Aからアイデアをいただき、単刀直入にエッセンスだけを書き直したのが本マニュアルのQ & Aである。

本マニュアルには、技術編として義足完成用部品の理解を促す目的で骨格構造義足判定における処方の理解、義足の継手、足部について機能区分表を掲載したのも大きな特長である。その背景には、Q & A暫定版のアンケートの中に「義足完成用部品の選定の仕方が分からない」という声があった。この機能区分表は同じ研究グループで他の研究分担者である児玉らが既に機能区分が行われている米国のLコード等を参考にわが国の義足完成用部品について機能の整理・定義づけを行い、独自の機能区分をまとめたものである。本マニュアルにはそのうち股継手、膝継手、足継手・足部だけを抜粋して掲載している。この機能区分表が有効利用され、義足の判定、処方において根拠、自信のある完成用部品の選択、処方がなされるようになること、機能区分が医師、義肢装具士、リハ専門職、行政側の職員等の共通言語となり、完成用部品選択の共通理解の一助になることを期待している。

C-4. 機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備

- 1) 新しい部品を機能区分に分類するために必要な情報と当該情報を集約する場合必要となる申請様式の改定案について

現行の補装具等完成用部品の申請様式は、1つの様式で、義肢と装具、座位保持装置を網羅する形としている。しかし、本研究で機能区分案としてまとめたものは、骨格構造義足用部品のみである。今回の申請様式は、装具および座位保持装置については考慮せず、義肢用申請様式としてまとめた。

機能区分案の項目は、

- コード
- 新名称
- 機能区分
- 機能概要

- メーカー推奨適応活動レベル
- メーカー名
- メーカー品番
- メーカー部品名称等
- 使用者体重制限 (kg)
- 主な使用材料
- 重量 (g)
- 価格 (円) (基準価格)
- メーカー保証期間
- 特記事項

の14項目がある。新しい部品を機能区分に分類するためには、いずれの機能区分に該当するかにかかる情報(～、ただしの記載によりからは規定される)ならびにその他の属性にかかる情報(～)が必要となる。これらの項目を現行の申請様式に当てはめて整理し、現在の申請様式に記載箇所のない～、を様式に追加した。

- 2) 補装具等完成用部品の申請受付から新しい補装具等完成用部品の情報公開までの流れの中で、必要になる事項

機能区分についての周知

各メーカー、補装具評価検討会メンバー、国リハ補装具等完成用部品の事前評価メンバーに機能区分の分類について周知する。

機能区分の妥当性の検証

申請部品を各メーカーが独自に機能区分に割り当てたものが妥当であるか確認し、機能区分が適正に運用されるようにする。

平成27年度等新規収載部品の情報集約

現行機能区分案は平成26年度の部品に基づいている。今後部品申請のなかで区分のための情報集約が行われるようになったとして、少なくとも平成27、28両年度に新規収載となった部品については申請とは別に必要情報の集約を行う必要がある。

新しい機能の取り込み

新しい機能を持つ部品の申請があった場合、現行の機能区分に当てはめ特記事項に追加される機能を記入する。もしくは、新しい機能区分の枠を作るかを判断する。

新しい機能区分の作成ルール

新しく機能区分の枠を作成する場合、新しい機能の名前を誰がどのようにして付けるかルール作りが必要である。また、数年に一度、機能区分の整理に不適正な分類がされていないかを見直す機能が必要である。

C-5. 制度・仕組みの提案

課題1から4の成果を受け、補装具費支給制度、その仕組みに関して議論し、以下のような提案をとりまとめた。

- 1) 短期的な提案

➤ 機能区分表の公開により、補装具費支給制度に関わる関係者が、完成用部品に関する共通認識

を持つことができ、改めて価格に対する関心が高まることにより、価格の平準化を促進する。

- 定期的な価格調査を行い、現状をしっかりと把握した上で、価格の見直しを行う。
- マニュアルの活用により、更生相談所および市町村等の担当者の支給判定における質の向上が促される。
- 完成用部品指定申請の電子化により、事務手続の効率化を実現する。

2) 長期的な提案

- 継続的な機能区分に基づく完成用部品の整理を行う事で、共通認識を定着させる。
- 個別製品ごとの価格設定と機能区分ごとの価格設定の併用により、適正な価格設定を実現する。
- 部品の機能と人の機能の対応付けに基づき、適正な支給判定を促進する。

D. まとめ

完成用部品の機能区分を整備することを中心に据え、それと完成用部品の価格および利用者の機能との関連づけを行うことで、価格の決定や支給判定、申請手続きを適正かつ円滑に行う制度・仕組みを提案することを目指し、以下の4つの小課題を実施した。

- < 課題1 > 完成用部品の機能区分整備
- < 課題2 > 製作費用の包括的把握方法と簡便なデータ更新方法の確立にかかる研究
- < 課題3 > 補装具費支給判定基準マニュアルの作成
- < 課題4 > 機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備

今年度は、昨年度までの調査・分析結果を基に機能の定義付けとその妥当性を確認し、完成用部品の骨格構造義足について機能区分案を作成した。

それを基に、機能区分内の部品の価格を調べたところ、平均48.0%と、ある程度大きな差があることがわかった。また、将来的に、機能区分毎固定価格制を併用することで必要な部品を供給しつつ全体のコストを抑えられるとの推計が得られた。

また、更生相談所職員を対象とした限定版(Q&A189問)と医療関係者、市町村職員等支援者を対象とした公開版(Q&A71問)に分けてマニュアルを作成し、骨格義足完成用部品の機能区分表を盛り込んで義肢判定の際に役立つ「補装具費支給判定基準マニュアル」として完成させた。

さらに、機能区分の運用上必要な情報を整理するとともに、完成用部品登録申請を通じて集約することを想定した様式改訂案の作成、さらには、運用上の問題点についてまとめた。

以上の成果を受け、補装具費支給制度に関する短期的な提案として、機能区分表の公開による共通認識の促進と価格の平準化、長期的な提案として、機

能区分の整理に基づいた価格設定を案としてとりまとめた。これにより、完成用部品の機能と、利用者の機能、価格を結びつけた適正な支給判定の促進につながることを期待できる。

今後、骨格構造義足以外の完成用部品について、機能区分を作成すると共に、機能区分表の普及に向けた活動を実施する予定である。

最後に、本研究遂行にあたりご協力を頂いた日本福祉用具・生活支援用具協会 義肢装具部会、日本義肢協会、日本義肢装具士協会、一般社団法人日本車椅子シーティング協会、日本義肢装具学会等関係機関、およびご協力頂いた方々に、この場を借りて謝意を表す。また、兵庫県立総合リハビリテーション中央病院 名誉院長 澤村誠志先生には、公開研究会に、お忙しい中遠路お越し頂き、貴重なお話しを頂きました。深く感謝申し上げます。

E. 健康危険情報
なし

F. 研究発表

1. 論文発表
なし

2. 学会発表

- 1) 井上剛伸：「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」, 日本車椅子シーティング協会, 第8回定期総会併催研修会, 2015-6-13, 東京.
- 2) 樫本 修：【基調講演2】更生相談所における補装具費支給基準の理解と機能区分への期待」, 第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会. 2015-07-25, 所沢.
- 3) 井上剛伸, 我澤賢之, 山崎伸也, 石渡利奈, 樫本修, 児玉義弘：「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」, 第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会. 2015-07-25, 所沢.
- 4) 児玉義弘, 山崎伸也, 我澤賢之：第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会 - 完成用部品の機能区分整理がひらく公正・公平な判定と適正な価格 - 完成用部品の機能区分, 2015-7-25, 所沢.
- 5) 我澤賢之, 山崎伸也, 長瀬毅. 「義肢・装具・座位保持装置製作の費用・採算」, 第31回日本義肢装具学会, 2015-11-07, 横浜.
- 6) 山崎伸也, 我澤賢之. 「更生用補装具としての義肢・装具・座位保持装置の支給状況」, 第31回日本義肢装具学会, 2015-11-07, 横浜.
- 7) 井上剛伸：「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」, 特別レポート 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みを考える - 厚生労働省科学研究費補助金プロジェクト

ト報告 -、第 31 回日本義肢装具学会学術集会。
2015-11-08, 横浜.

- 8) 児玉義弘、山崎伸也、我澤賢之：特別レポート 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みを考える - 骨格構造義足完成用部品を対象とした機能区分作成 - . 2015-11-08, 横浜.
- 9) 樫本 修：「補装具費支給判定マニュアルの作成」、特別レポート 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みを考える - 厚生労働省科学研究費補助金プロジェクト報告 -、第 31 回日本義肢装具学会学術集会。2015-11-08, 横浜.

G . 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし

II . 分担研究報告書

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
分担研究報告書

完成用部品の機能区分整備

研究分担者	児玉 義弘	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 客員研究員（前、ナブテスコ株式会社）
研究分担者	山崎 伸也	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 義肢装具技術研究部 副義肢装具士長
研究分担者	我澤 賢之	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害福祉研究部 研究員
研究協力者	相川 孝訓	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 非常勤研究員

研究要旨 補装具のうち、義肢・装具・座位保持装置については、厚生労働省により認可された一定の機能を持つ構成部品、すなわち完成用部品を用いて製作される場合がある。完成用部品の選択はその補装具の機能・特性を定めるとともに、補装具の価格に大きく影響する。平成 27 年度現在、完成用部品の部品数は合わせて 3000 点以上に上る。中でも骨格構造義足についてはその数は約 1200 点におよんでおり、1981 年に現在の完成用部品の分類が出来て以降、技術の発展とともに開発が進み、電子制御膝継手など様々な機能・特性を持つ部品が供給されている。しかるに個々の部品の機能が必ずしも解りやすくなく、また利用者の機能レベルや生活様式に対し必要な機能の部品を適切に処方するための情報が十分でないことなどから適合判定時の判断に地域差が生じる、類似部品間で価格差が大きい場合がある等の問題がある。本研究では、利用者にとって必要な機能を適切に、適切な価格で提供できるよう、機能区分が行われている米国の L コード等を参考に完成用部品について機能の整理・定義づけを行い、機能区分をまとめると共に、部品毎に推奨される利用者の機能レベル、付加機能等の情報と併せてまとめる。

平成 25 年度は、米国の保険制度（L コード）の調査を行った。平成 26 年度は、完成用部品指定リストに記載の骨格構造義足について機能の整理を行うために、完成用部品申請事業者 13 社に対して調査票を送付し、それぞれの部品の構造・機能について調査を行った。平成 27 年度は、平成 25 年度および平成 26 年度に行った調査・分析結果を基に機能の定義付けとその妥当性を確認し、完成用部品の骨格構造義足について機能区分案を作成した。

A. 目的

補装具のうち、義肢（殻構造義手・義足、骨格構造義手・義足）・装具・座位保持装置については、厚生労働省により認可され「完成用部品等の指定基準」に掲載された一定の機能を持つ構成部品、すなわち完成用部品を用いて製作される場合がある。完成用部品の選択はその補装具の機能・特性を定めるとともに、補装具の価格に大きく影響する。その部品数は平成 27 年度現在、3000 点以上に上る。中でも骨格構造義足については、その数は約 1200 点にお

よんでおり、1981 年に現在の完成用部品の分類が出来て以降、技術の発展とともに開発が進み、電子制御膝継手など様々な機能・特性を持つ部品が供給されている。しかるに個々の部品の機能が必ずしも解りやすくなく、また利用者の機能レベルや生活様式に対し必要な機能の部品を適切に処方するための情報が十分でないことなどから適合判定時の判断に地域格差が生じる、類似部品間で価格差が大きい場合がある等の問題がある。本研究では、骨格構造義足を対象として適合判定時の部品選択の参考となるよ

うな完成用部品の機能区分案を纏めることを目的とする。

B．方法

B-1．骨格構造義足用部品の機能区分暫定案作成

米国のLコードや完成用部品供給事業者からの情報等を踏まえ検討を行い、平成26年度版および平成27年度版「完成用部品の指定基準」に掲載の骨格構造義足用部品約1200点について機能の整理・定義付けを行い、価格の妥当性評価および処方判定時の目安となる機能区分暫定案を作成する。

B-2．機能区分案の共通理解と内容の充実

作成した機能区分暫定案をベースに関係者相互の理解を深めるとともに、より充実した機能区分案に仕上げるべく部品供給事業者（骨格構造義足完成用部品供給事業者13社のうち7社）との意見交換会を開催する。これによって得られた情報を参考とし機能区分暫定案の修正、充実を図り最終の機能区分案を纏める。

C．結果

C-1．骨格構造義足用部品の機能区分暫定案作成

骨格構造義足用部品約1200点について、機能区分の大枠として、切断者の失われた機能を代償するものとの観点から、人と義足のインターフェースに役割を補助する部品（吸着バルブ、懸垂ベルト、ウェッジ、クラッチロック、ライナー）、膝関節など生体の各部分の機能を代償する部品（ターンテーブル、股継手、膝継手、膝継手補助機能部品、足継手・足部）、股継手・膝継手・足継手・足部等を繋ぐ部品（ブロック、コネクタ、チューブ、クランプアダプタ）、足の形状をつくる外装のための部品（コネクションプレート、フォームカバー、ストッキング等）の4つに分類し、これらを更に構造（機構）、機能毎に分類した。更に、同一構造、同一機能間の差異について、使用者体重制限、主な使用材料、重量、メーカー推奨適応活動レベル（Kレベル）

（前述の の部品のみ）、特記事項（付加機能）等を記載した機能区分暫定案を作成した。

機能区分の具体例として、骨格構造義足の中でも特に多くの機能を持つ膝継手の区分の場合、先ず軸の構造（単軸・多軸）により分類し、次に固定・荷重ブレーキ・バウンシング・イールディング等の立脚相制御方式とバネ・空圧・油圧等の遊脚相制御方式により分類し、これらの機能概要を記載したものを一つの 카테고리としてコード付けを行った。これらのカテゴリに該当する部品を当て嵌め、メーカー推奨適応活動レベル、メーカー名・型式、使用者体重制限、主な使用材料、単体重量、基準価格、メーカー保証期間、および特記事項として付加機能等を記載した機能区分案を作成した。なお、メーカー推奨適応活動レベルについては、米国保険制度（Lコード）で使用されているKレベル（表1参照）を使用した。

表1．利用者の機能レベル（Kレベル）

Kレベル	機能概要
K0	介助の有無にかかわらず、安全に歩行又は移動する能力がなく、義肢によってQOL又は可動性が向上しない。
K1	一定の歩調で平坦面を歩行又は移動するために義肢を使用する能力又は潜在能力がある。限定的又は制限のない家庭内歩行者。
K2	縁石、階段、又は凹凸のある面などの低い環境障壁を越えて歩行する能力又は潜在能力がある。限定的な地域内歩行者。
K3	種々の歩調での歩行能力又は潜在的な能力がある。殆どの環境障壁を越える能力又は潜在能力を有し、単純な運動以上の義肢を必要とする職業、治療、又は運動活動ができる。
K4	基本的な歩行能力を超える義肢歩行の能力又は潜在能力があり、高い衝撃、ストレス、又はエネルギーに耐える能力を呈する児童、活動的な成人、又は運動選手など。

C-2．機能区分案最終版の作成

平成27年7月17日に完成用部品供給事業者との間で機能区分に関する相互理解を深めるとともに、より充実した内容とするために、作成した機能区分

暫定版を基に意見交換会を開催した。意見交換会には、完成用部品供給事業者から7社9名、オブザーバーとして厚生労働省福祉用具専門官、そして研究班から6名が参加した。

参加者から多くの質問や意見が出されたが、機能区分案については概ね理解が得られた。ここで出された部品供給事業者からの意見を参考として機能区分を修正しの最終版をまとめた。また、部品の検索や今後の整理等に役立つようカテゴリー毎にコード付けを行った。

最終的に平成26年度および平成27年度版の完成用部品の指定基準に掲載の骨格構造義足部品1189点(販売中止または製造中止部品でも平成27年度、平成28年度、平成29年度まで修理対応可能な部品は含む)について機能区分を作成した。具体的には、

インターフェースとしての役割を補助する部品178点を18のカテゴリーに、生体の股関節・膝関節・足部等の機能を代償する部品404点を67のカテゴリーに、股継手・膝継手・足継手・足部等を繋ぐ部品519点を41のカテゴリーに、足の形状をつくる外装のための部品88点を20のカテゴリーに分類しそれぞれにコード付けを行った。なお、最終版についてはコード付けのルールと合わせて本分担研究報告書の末尾に掲載する。

D. 考察

骨格構造義足部品の機能区分作成により、同一構造・同一機能、或いは類似機能の部品が一つのカテゴリーに整理されたことと、各部品について、主な使用材料、重量、利用者体重制限、メーカー推奨の適応活動レベル(股継手・膝継手・足継手・足部のみ)、そして特記事項に付加機能等を記載したことにより処方判定時の部品の選定や、価格の妥当性評価が容易になるものと考ええる。

一方、利用者の機能区分、部品とのマッチングという点については、今回の機能区分案ではメーカーが推奨する適応活動レベルを採用したが、利用者の身体機能や生活様式、生活環境などいろいろの要件

が加わってくることからまだまだ不十分であり、今後の大きな課題であると考ええる。

E. まとめ

今回の研究では、完成用部品の中でも技術発展とともに開発が進み様々な機能の部品が供給されている骨格構造義足用部品に絞って機能区分を作成した。

これまでの構造による分類では全てが独立した部品として捉えられていたが、機能による分類とすることで、独立していた部品が同一機能として一つのカテゴリーの中に入ることになる。そうすることによって部品価格の妥当性評価や、処方判定時の部品選定を容易にするとともに、地域間格差の是正につながるものと考ええる。

補装具の支給判定は、利用者の日常生活、場合によっては人生を左右する重要なものである。判定の適切さをより高めるためには、補装具の機能・性能などの正確な情報を、判定に携わる医師、セラピスト、義肢装具士など異なる専門性を持つ人々の間で共有しやすくすることが重要と考える。我々はあくまで研究の立場に立つものであるが、本研究結果が処方判定時の部品選定の参考となり、地域間格差なく、必要な人に必要な部品が適切に使用されることを期待する。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

1) 児玉義弘, 山崎伸也, 我澤賢之: 第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会 - 完成用部品の機能区分整理がひらく公正・公平な判定と適正な価格 - 完成用部品の機能区分, 所沢, 2015年7月25日.

2) 児玉義弘, 山崎伸也, 我澤賢之: 特別レポート 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みを考える - 骨格構造義足完成用部品を対象と

した機能区分作成 - , 横浜, 2015 年 11 月 8
日 .

G . 知的財産権に出願・登録状況 (予定を含む)

1 . 特許取得

なし

2 . 実用新案登録

なし

完成用部品機能区分表

骨格構造義足

平成 26 年度既収載完成用部品に基づき作成

平成 28 年 3 月

平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究

研究代表者 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 井上 剛伸
研究分担者 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 児玉義弘
（元 ナブテスコ株式会社住環境カンパニー福祉事業推進部）
国立障害者リハビリテーションセンター研究所 山崎伸也
国立障害者リハビリテーションセンター研究所 我澤賢之

目次

機能区分表の使い方と完成用部品の選択 23

完成用部品機能区分表 — 骨格構造義足 —
平成 26 年度既収載完成用部品に基づき作成

1 . 人と義足のインターフェースとしての役割を補助する部品 26
【懸垂用部品】

2 . 生体の股関節、膝関節、足関節、足部の機能を代償する部品 32
【股継手、膝継手、足継手、足部ならびに関連部品】

3 . 股継手、膝継手、足継手、足部等を繋ぐ部品 54
【ブロック、コネクタ、チューブ、クランプアダプタ】

4 . 足の形状をつくる部品 74
【外装用部品】

機能区分表の使い方と完成用部品の選択

厚生労働省が告示する完成用部品の基準表は、名称、型式、構造による分類、並べ方がされており、どの部品を選んだらよいかを判断する根拠までは示されていないのが現状である。そこで、既に機能区分が実施されている米国のLコードや完成用部品供給事業者からの情報等を踏まえ検討を行い、厚生労働省が指定している義足の完成用部品の機能の整理・定義づけを行い日本版の機能区分表としてまとめた。この機能区分表が身体障害者更生相談所における更生用義足の判定や医療機関での治療用義足の処方の際に完成用部品の選択の一助になれば幸いである。また、この機能区分表が医師、リハ専門職、義肢装具士、リハエンジニア、更生相談所の事務職、市町村の担当職員等の共通言語となり、完成用部品選択が根拠に基づいてなされる ときの共通理解の一助になることを期待している。

機能区分表の見方

横軸にコード番号、機能区分、機能概要、メーカー推奨適応活動レベル（Kレベル表参照）、メーカー型式、部品名称、使用者体重制限、主な使用材料、重量（g）、基準価格（円）、メーカー保証期間、特記事項が示されている。厚生労働省の完成用部品の基準表と異なり、各完成用部品が機能区分ごとにならび、同一機能区分にあるものは価格が異なっても基本的な機能は同一の部品であることを示している。また、付加機能等がある場合は特記事項に記載されている。詳しい性能等の違いについては各メーカーのカタログ、義肢装具関係の成書を参考としていただきたい。

なお、コード番号については、将来新機能が出てくることを想定し、どの部品においても新コードの追加が可能となるよう1桁のアルファベットと7桁の数字の計8桁で構成している。但し、小児用については9桁目に“C”を表記する。コード各桁の意味については次ページの「利用者のKレベルと機能区分コード設定要領」を参照のこと。

義足処方時への活用

断端の機能、健側の機能、上肢機能、活動度、体重、義足使用の意欲などの医学的判断はもとより、生活・就労状況、使用環境、経済状況などを考慮してソケットタイプの選択、膝継手、足部を処方する。また、全体の義足重量や適応体重にも配慮して完成用部品を選択する。どのような機能の部品を選択すべきかを検討し、この機能区分表の同機能の部品の中から基準の価格にも配慮して部品を決定する。部品の決定が難しい場合は同機能のものをいくつかデモ機として用意して、試用評価を経て決定することが勧められる。

メーカー推奨の活動レベル

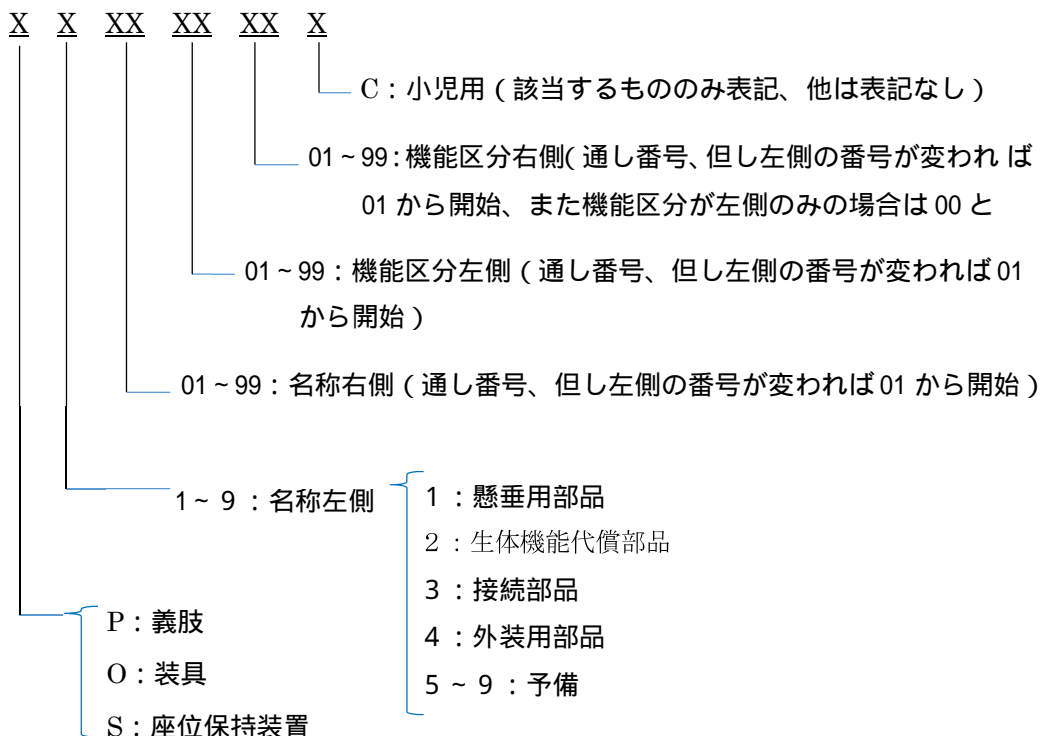
この機能区分表にはメーカーが推奨する活動度が示されている。医学的な面、生活状況から判断した対象者の機能レベルと選択する膝継手、足部に対してメーカーが推奨する活動度とを照らし合わせて部品選択の参考とする。ただし、メーカーが推奨する活動レベルと対象者の機能レベルが合わないから選択できないという意味ではなく、最終的には個別に判断することが大切である。メーカーが推奨する活動レベルはあくまでも参考として捉えていただきたい。

利用者のKレベルと機能区分コード設定要領

米国の支給制度で使用されているKレベル

K0	介助の有無にかかわらず、安全に歩行又は移動する能力がなく、義肢によってQOL又は可動性が向上しない。
K1	一定の歩調で平坦面を歩行又は移動するために義肢を使用する能力又は潜在能力がある。限定的又は制限のない家庭内歩行者。
K2	縁石、階段、又は凹凸のある面などの低い環境障壁を越えて歩行する能力又は潜在能力がある。限定的な地域内歩行者。
K3	種々の歩調での歩行能力又は潜在的な能力がある。殆どの環境障壁を越える能力又は潜在能力を有し、単純な運動以上の義肢を必要とする職業、治療、又は運動活動ができる。
K4	基本的な歩行能力を超える義肢歩行の能力又は潜在能力があり、高い衝撃、ストレス、又はエネルギーに耐える能力を呈する。児童、活動的な成人、又は運動選手など。

<機能区分コード設定要領> 以下に示す機能区分表のコード番号は下記の意味を表している。



完成用部品機能区分 (骨格構造義足用部品)

平成 26 年度既収載完成用部品に基づき作成

1. 人と義足のインターフェースとしての役割を補助する部品【懸垂用部品】

コード	名称	機能区分	機能概要	メーカー名	メーカー品番	
P1010100	懸垂用部品	吸着ハルブ	一方向自動排出機能	荷重によりソケット内の空気を外へ排出する。取り外し不可である。	オズール	L-551002
					オズール	L-641000
					オッターボック	4R140
					ラボック	M0261
					ラボック	M0262
P1010200			一方向自動排出、ハルブの脱着可能	弁としての機能ノ一方向排出機能(自動もしくは手動によりソケット内の空気を抜く)ノ付け外し可能な弁	ESP	LYN-PA0400
					ESP	LYN-PA0002
					オズール	L-552000
					オッターボック	21Y105
					オッターボック	21Y12
					オッターボック	21Y13
					オッターボック	21Y14
					オッターボック	21Y21
					オッターボック	21Y97
					セントリー	CTFV-CFS
					トゥルーライフ	P12-310-1000
					トゥルーライフ	P12-310-2000
					トゥルーライフ	P12-320-2000
					トゥルーライフ	P36110
					ラボック	M0255
					ラボック	M0256
					ラボック	M0257
ラボック	M0258					
啓愛	KI-BU-V1					
啓愛	KI-BU-V2					
啓愛	KI-BU-V3					
小原	37B-011					
小原	37B-021					
P1010300		吸着ポンプ	吸着ポンプ	強制空気排出機能(ポンプでソケット内の空気を排出する)	オッターボック	4R144
					オッターボック	4R147
					オッターボック	4R148
					オズール	UXX00-size/UTT0001
P1010400		吸着ポンプ	吸着ポンプ補助部品	吸着ポンプの付属品	オッターボック	2R117
P1010500	懸垂ベルト	保護(下腿用)		膝スリーブとライナーやソケット間の摩擦を小さくし、スリーブを保護する	オッターボック	454A11
					ストレイフェネダー	3S50
					ウィローウッド	LLC-SIZE
					ラボック	M1600
P1010600		密閉(下腿用)		懸垂機能(ソケットの中を密閉する)	オズール	FLX/BAL-SIZE
					オズール	FLX/END-SIZE
					オズール	F-2011-size
					オッターボック	453A3
					オッターボック	453A4
					オッターボック	454A7
					シリポス	18181 ~ 18194
					ウィローウッド	RLS-SIZE
					ストレイフェネダー	3S10
					ダウ	DGSLEV
					ラボック	M1601
ラボック	M1602					
ウィローウッド	LLS-SIZE					
P1010700		懸垂(下腿用)		懸垂機能(素材の力で義足を懸垂する)	オッターボック	453A2
					オッターボック	9101
					アルプス	SLE
					シリポス	130X5
					レイブ	NKS
					レイブ	RKS
P1010800		懸垂(股・大腿用)		懸垂機能(素材の力で義足を懸垂する)	オッターボック	21B37
					レイブ	AKS
P1020000		固定ベルト			その他ソケット固定バンド	
P1030100		KBM用ウェッジ	KBM用ウェッジ	KBMウェッジを脱着し固定する	フィラワー	1540
P1040100		ライナーロックアダプタ	ライナー固定	ライナーとソケットを機械的に接続する	フィラワー	125234
					オッターボック	4R160=1
					オッターボック	6A20
					オッターボック	6A30=10N

注) 表中の空白部分はメーカーの確認が取れていないもの、また「-」の入っているものは特に記載不要であることを示す。

メーカー部品名称	主な使用材料	価格(円) (基準価格)	特記事項
アイスロック 551(下腿用)		14,200	吸着式下腿義足に汎用可
アイスロック 641 パルプ式ロック		14,400	ソケット遠位端取り付け。簡易な排出バルブ
ワンウェイバルブ		6,100	
下腿用バルブ(組込式)(M0240へ組込可能)		6,400	
下腿用バルブ(貼付式)		4,950	
リンバルブ(挟み込み式)スライド		24,100	
リンバルブ(挟み込み式)		14,200	
アイスロック 552(大腿用)		10,900	吸着式大腿義足に汎用可
バルブ平ゴム 側面取付用		6,100	
バルブ真空成型用 ネジ式吸着バルブ		16,300	金属製。分解洗浄可
バルブラミネーション用 ネジ式吸着バルブ		12,700	
プッシュバルブ		11,600	
クリックバルブ		9,600	
バルブ二重ソケット用 PVC チューブ付		7,800	
CTFV-CFS バルブ		19,800	
グリーンバルブ プラスチック		9,100	
グリーンバルブ プラスティック調節式		9,100	
グリーンバルブ ステンレス調節式		6,700	販売中止 ただし平成28年度まで修理対応
BKバルブ		14,400	
ラミネーション用吸着バルブ・リングセット		8,500	
フレキシブルソケット用バルブ		11,500	
吸着バルブ(大腿吸着用 低圧自動開放/閉鎖設定可能)		18,500	
フレキシブルソケット用バルブ		22,700	
ブラックバルブ 押式		6,000	
ゴールドバルブ 引張		6,000	
TC バルブ		3,500	
大腿吸着バルブ(引く式)		6,100	
大腿吸着バルブ(押す式)		6,100	
ハーモニーP2		302,500	荷重でポンプを動かす
ハーモニーP3		229,900	荷重でポンプを動かす
ハーモニーEパルス		302,500	電動でモーターが動く
ユニティ パキュームシステム(FF 足部との組合せ)		352,300	歩行の踏み返しの動きでポンプを動かす
ソケットコネクター		2,800	ハーモニーP2用のチューブ。ハーモニーP3、インパルスには付属している
ゲイター (インナースリーブ)		1,200	
ニースリーブ プロテクター		6,600	
リムロジックシーリングカフ		9,900	
スリップシース (スリーブ保護)		6,100	
アイスフレックス バランス		17,700	伸縮性あり。主材料はシリコーン製で吸着を保つ
アイスフレックス エンデュランス		28,400	
ICEROSS スリーブ		37,900	蛇腹構造により膝屈曲伸展時の力を軽減す
デルマプロフレックス ニースリーブ		21,300	
デルマプロフレックスニースリーブ ショート		13,000	
ハーモニー ニースリーブ		31,200	
デュラゲルサスペンションスリーブ		20,300	
アルファスピリットサクションシール(吸着スリーブ)		22,700	
コンテックススリーブ		21,300	
G スリーブ		14,200	
i-Sleeve STD(薄型・高伸性・抗菌防臭フィルム加工ネオプレン)		9,200	
i-Sleeve μ (極薄・透湿性)		8,100	
リムロジックスリーブ		15,600	
デルマプロテクション ニースリーブ		12,400	
下腿用サスペンションスリーブ		7,400	
イージースリーブサスペンション		13,100	
BK サスペンションスリーブ		7,300	
ネオブレイン膝スリーブ		4,450	
ラテックス膝スリーブKBM		5,500	
大腿用サスペンションスリーブ		18,700	
大腿義足懸垂用ベルト		13,900	
		1,300	
KBM ウェッジ		7,200	
3S シャトルロック レギュラー		22,400	
キスキット		38,300	ライナーをソケットに固定するベルトである
シャトルロック		52,400	チタン製ピン付
シャトルロック ソケット直付用		35,500	チタン製ピン付

コード	名称		機能区分	機能概要		メーカー名	メーカー品番
						オットーボック	6A30=20
						オットーボック	6A40
						カスケイド	IRS-150-AK
						カスケイド	IRS-200-AK
						カスケイド	IRS-600-AK
						カスケイド	IRS-600-AKT
						カスケイド	IRS-650-AKL
						オズール	L-125000
						オズール	L-19200size
						オズール	L-211000
						オズール	L-214000
						オズール	L-214100
						オズール	L-2143XY
						オズール	L-29200size
						オズール	L-621000
						オズール	L-631000
						オズール	L-651000
						オズール	L-721000
						ラボック	M0291
						ウィローウッド	OWW-700-AIS480
						トゥルライフ	P-35501
						マインド	SIS740
P1050100		ライナーロックアダプタ専用コネクタ	コネクタ	ライナーロックアダプタ専用のコネクタ		オズール	L-773000
						オズール	L-673000
						オズール	L-273000
						オズール	L-672000
						オズール	L-272000
						オズール	L-774000
						オズール	L-661000
						オズール	L-180001
						カスケイド	IRS-200-MA
						カスケイド	IRS-200-PA
						マインド	SIS750
P1060100	懸垂用部品	ライナー	A クッション機能	クッション機能&断端形状に添って断端を保護する機能		オズール	COM/L-SIZE
						オズール	I-CL43-size
						オズール	I-CL63-size ICEROSS
						オズール	I-CT62-size ICEROSS
						オズール	I-CW43-size ICEROSS
						オズール	I-CW63-size ICEROSS
						オットーボック	6Y92
						オットーボック	6Y93=C
						啓愛	KI-PURE
						オットーボック	6Y400
						オットーボック	6Y510
						オットーボック	6Y512
						フリーダムイノベーションズ	FPL3C-size
						メディ	M893-SIZE
						メディ	MC99-SIZE
						ウィローウッド	H350-SIZE
						ダウ	DCLC-SIZE
						ウィローウッド	ALC-SIZE
						アルプス	ELFR20
						アルプス	ELFR24
						アルプス	ELFR28
						アルプス	ELPX20
						アルプス	ELPX24
						アルプス	ELPX28
						シリボス	18241 ~ 18248
						SHINDO	SC001N
						ラボック	M1515
P1060200		ライナー	B 吸着による懸垂機能	クッション材として断端の		オズール	I-3663-size

メーカー部品名称		主な使用材料		価格(円) (基準価格)	特記事項
シャトルロック プラスチック ソケット直付用				46,200	チタン製ピン付
シャトルロック マグノフレックス				55,400	マグネット内蔵。フレキシブルピン付
ICE-ATS(スモール)				25,800	
ICE-AT(ラチェット)				27,700	
ICE-ATC(クラッチロック)				32,700	
アルミボディ クラッチロック				47,500	
ICE-ATCM(クラッチモジュラー)				41,900	
アイスロック 125ラチェットスチールピラミッド				42,600	装着時のクリック音により装着確認可能
アイスロック ラチェット式ピン				10,000	
アイスロック 211 クラッチロック				39,900	装着時に音がしない。大腿切断にも向く
アイスロック 214 クラッチロック4穴				42,600	装着時に音がしない。下腿切断に向く
アイスロック 214 MSS 専用				42,600	基本機構は 214 と同様。モジュラーソケット専
Icelock214 AK オフセット				66,000	
アイスロック クラッチ式ピン				7,200	
アイスロック 621 ラチェット式ロック				30,300	装着時クリック音。高さ 15 ミリ、重量 59 グラムと薄型軽量
アイスロック 631 ヒモ式ロック				28,600	引き紐式。高さ 15 ミリ、重量 49 グラムと薄型軽
アイスロック 651 スムースロック				39,600	装着時無音。高さ 15 ミリ、重量 68 グラムと薄型軽量
アイスロック 721 ラチェット式ロック				39,600	上肢、小児下腿用。装着時ラチェット音
キャッチピン コネクタ				47,200	
アルファロック				44,900	
マスターロック				26,700	販売中止 ただし平成28年度まで修理対応
ロックデバイス				25,600	
Icelock773 ステンレスピラミッド				21,500	
アイスロック 600 用 ステンレスピラミッド				15,100	
アイスロック 212 用 ステンレスピラミッド				12,700	
アイスロック 600 シリーズ 672 チタン製ピラミッド				33,900	
アイスロック 211 用 チタンピラミッド 272				25,400	
Icelock774 アルミニウム 4 穴				15,300	義手用
アイスロック 600 用 アダプタ				29,600	
アイスロック 100 注型キット				23,200	
ICE-PL(プレート)				10,500	
ICE-PY(ピラミッドコネクタ)				15,600	
				5,200	
ICEROSS コンフォートクッションライナー		シリコーン		79,200	低～中活動者向け。シリコーン表面粘着性有
ICEROSS デルモクッションライナー		シリコーン		94,200	低～中(高)活動者向け。シリコーン表面粘着性無
シナジークッション		シリコーン		108,600	中～極高活動者向け。シリコーン表面粘着性無
アクティバ		シリコーン		143,700	高～極高活動者向け
デルモクッションライナーウェーブ		シリコーン		108,500	蛇腹構造により膝屈曲伸展時の力を軽減する
シナジークッションウェーブ		シリコーン		124,900	蛇腹構造により膝屈曲伸展時の力を軽減する
コポリマーライナー		ポリマー		28,800	
バランスクッションライナー コポリマー		ポリマー		41,100	
ピュアライナー ピンなし		ポリマー		49,100	
カスタムライナー		ウレタン		116,200	カスタムメイド
ポロファイルライナー		ウレタン		30,500	
ポリウレタン 3D ライナー		ウレタン		42,600	
				72,600	滅菌機能あり、防臭効果
センシティブ		シリコーン		67,100	
プロテクトケア		シリコーン		67,100	
アルファハイブリッドクッションライナー		ポリマー		66,000	
クールライナー		ポリマー		54,100	
アルファスピリットクッションライナー		ポリマー		66,000	
イージーライナー生地付		ポリマー		35,800	
イージーライナー生地付		ポリマー		35,600	
イージーライナー生地付		ポリマー		35,900	
イージーライナー		ポリマー		29,800	
イージーライナー		ポリマー		30,200	
イージーライナー		ポリマー		29,400	
デュラゲルライナー		ポリマー		36,200	
LIGHT FINE (ライトファイン)		シリコーンゴム スポンジ		56,700	抗菌機能あり、スポンジ構造で汗を吸う
SoftSkin S40 シリコーンライナー 下腿用(クッション)				66,500	
ICEROSS シールイン X5		シリコーン		110,200	低～極高活動 容積変化対応幅狭い

コード	名称		機能区分	機能概要		メーカー名	メーカー品番
				保護・吸着による懸垂		オズール	I-3664-size
						オズール	I-4613-Size
						オズール	I-7532-size
						オズール	I-7632-size
						オズール	I-8532/8632-SIZE
						オズール	I-TF673-size
						オズール	I-47-size
P1060300		ライナー	C 懸垂部品取付ネジあり	懸垂・クッション機能&断端形状に添って断端を保護する機能、ライナーの先に懸垂部品を取り付けて使用		シリボス	18201~18208
						オットーボック	6Y40
						オットーボック	6Y43
						オットーボック	6Y70
						オットーボック	6Y75
						オットーボック	6Y77
						オットーボック	6Y90
						マインド	AGS710
						ウィローウッド	ALL-SIZE
						ダウ	DCLP-SIZE
						フリーダムイノベ	FSL3P
						ウィローウッド	H352-SIZE
						オズール	I-0124-size
						オズール	I-1033-size
						オズール	I-4013-size
						オズール	I-4313-size
						オズール	I-4913-size
						オズール	I-5303-size
						オズール	I-5406-size
						オズール	I-6003-size
						オズール	I-6303-size
						オズール	ICE-SIZE
						啓愛	KI-PURE+P
						ラボック	M1510
						メディ	M892-SIZE
						メディ	M893-SIZE
						メディ	MC99-SIZE
						SHINDO	SC001P
						フィラワー	125256
						フィラワー	125272
						オットーボック	6Y80
						オットーボック	6Y85
						オズール	I-7032-SIZE
						オズール	I-7132-size
P1070100		ライナー補助部品	吸着による懸垂の補助	吸着用部品		オズール	I-SXF1-SIZE
P1080001	ソケット調整用部品		ソケット形状および容量調整	断端形状および断端容積を整える機能		オズール	DIS-SIZE
						オズール	I-610-size
						オットーボック	5D1
						オットーボック	5S1
						オットーボック	5S2
						ラボック	M1620
						ウィローウッド	ALA-VM
						ウィローウッド	ALA-C
						オズール	K-190100
P1010100C	懸垂用部品(小児用)	ライナー	ピンによる懸垂機能あり	懸垂&断端形状を整える機能(下腿用)		オズール	I-8301-size
						オズール	I-8302-size

メーカー部品名称		主な使用材料	価格(円) (基準価格)	特記事項
ICEROSS シールイン X5 ウェーブ		シリコーン	126,000	蛇腹構造により膝屈曲伸展時の力を軽減する
ICEROSS デルモシールイン・ライナー		シリコーン	109,900	
ICEROSS トランスフェモラルシールイン		シリコーン	116,500	低～極高活動 容積変化対応幅広い
ICEROSS トランスフェモラルシールイン コニカル		シリコーン	116,500	近位・遠位の周径差異の大きい断端に向く
Iceross 大腿用シールイン X		シリコーン	129,900	低～極高活動 シール位置を任意に変更可能
ICEROSS トランスフェモラルシールイン X5		シリコーン	116,500	低～極高活動 容積変化対応幅狭い
ICEROSS シールイン V ウェーブ		シリコーン	131,100	下腿 低～極高活動 X5 より容積変化対応幅広い
デュラゲルライナー		ポリマー	41,800	
シリコーンライナー 肌色 布なし		シリコーン	42,600	
シリコーンシーズルーライナー		シリコーン	45,500	
シリコーンジェルライナー 下腿用		シリコーン	66,000	
シリコーンジェルライナー 下腿用 抗菌加工		シリコーン	72,600	抗菌加工
シリコーン 3D ライナー 下腿用		シリコーン	84,700	
コポリマーライナー		ポリマー	28,800	
イージスサクションソケット		シリコーン	65,900	
アルファスピリットロックライナー		ポリマー	67,800	
クールロックライナー		ポリマー	58,000	
		シリコーン	67,800	滅菌機能あり、防臭効果
アルファハイブリッドロックングライナー		ポリマー	67,700	
ICEROSS オリジナルカバー マトリクス有		シリコーン	80,200	中～高活動向き、薄いシリコーンで懸垂性高
ICEROSS スポーツ		シリコーン	222,200	高～極高活動向き
ICEROSS デルモロックングライナー		シリコーン	91,100	低～中(高)活動向き
ICEROSS デルモウェーブ		シリコーン	104,900	蛇腹構造により膝屈曲伸展時の力を軽減する
ICEROSS デルモ TT コニカル		シリコーン	104,900	下腿切断で近位・遠位の周径差異の大きい方に対応
ICEROSS コンフォートウェーブ		シリコーン	101,000	低～中活動向き
ICEROSS コンフォートロックングライナー		シリコーン	87,800	低～中活動向き
ICEROSS シナジー		シリコーン	116,600	中～高活動向き、硬度の異なる2層シリコーン構造
ICEROSS シナジーウェーブ		シリコーン	136,100	蛇腹構造により膝屈曲伸展時の力を軽減する
ICEROSS オリジナル カバー無し		シリコーン	68,000	中～高活動向き、薄いシリコーンで懸垂性高
ポリマーゲルライナー ピン付		ポリマー	50,400	
SoftSkin S40 シリコーンライナー 下腿用(ピン)			67,700	
リラックスライナー		シリコーン	67,100	
センシティブ		シリコーン	67,100	
プロテクトケア		シリコーン	67,100	
LIGHT FINE (ライトファイン)		シリコーンゴム スポンジ	62,000	抗菌機能あり、スポンジ構造で汗を吸う
ラミネーションポスト			5,400	
ラミネーションポスト			5,400	
TF アダプトライナー 大腿用		シリコーン	77,400	
TF アダプトライナー 抗菌加工		シリコーン	77,400	抗菌加工
ICEROSS トランスフェモラル		シリコーン	112,700	低～極高活動 容積変化対応幅広い
ICEROSS トランスフェモラル コニカル		シリコーン	112,700	近位・遠位の周径差異の大きい断端に向く
Iceross 大腿用シールイン X 専用シール		シリコーン	47,700	
ディスタルカップ		シリコーン	18,000	不整断端形状をライナーに向くよう補正
ICEROSS パッド		シリコーン	9,500	圧痛部免荷、断端形状補正、容積調整
ポーリヒエアコンタクトシステム		プラスチック	25,200	
側面用空気枕		プラスチック	6,100	
断端末用空気枕		プラスチック	15,600	
SAKAGE ストラップタイプ			12,000	
アルファボリュームマネージメントパッド		ポリマー	5,200	
アルファゲルカップ		ポリマー	8,500	
プレッシャーパッドセット No1 大		シリコーン	17,000	全表面荷重環境を保ちながら、骨部など分圧免荷
Iceross スタビロジュニアウェーブ		シリコーン	69,500	小児切断者用 中～極高活動向き
Iceross デルモジュニアウェーブ		シリコーン	69,500	小児切断者用 低～中(高)活動向き

2. 生体の股関節、膝関節、足関節、足部の機能を代償する部品 【股継手、膝継手、足継手、足部ならびに関連部品】

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番		
		立脚相制御	遊脚相制御						
P2010101	生体機能代償部品	股継手	固定	固定	継手伸展時に屈曲しないよう固定される。座位をとる場合など、手動によりロックを解除する。	K1	オットーボック	7E5	
P2010201			-	ハネ(ゴム)式ストライドコントロール装置付	一軸遊動 (股継手の屈曲抵抗と伸展を補助)	K1-K2	徳林	TGH-01C	
						K1-K2	徳林	TH-01C	
						K2	オットーボック	7E4	
						K2以下	啓愛	A1-6-3	
						K1-K3	ラボック	M0110	
						K2-K3	オットーボック	7E7	
					特になし	啓愛	A1-6-1		
P2010202				-	ハー式ストライドコントロール装置付	一軸遊動 (股継手の屈曲伸展を補助) 歩幅は機械的に可動域を制限し、座位をとる場合など、可動域制限を解除する。	かなり活発な歩行	高崎義肢	TG1010
P2010301				油圧式制御	油圧式ストライドコントロール装置付	一軸遊動、股継手の立脚相の伸展抵抗、遊脚相の屈曲抵抗を独立して調整可	K2-K3	オットーボック	7E9
P2010101C	股継手(小児用)		遊動式	一軸遊動 (股継手の屈曲伸展を補助)	特になし	オットーボック	7E8		
P2010201C		固定	固定	継手伸展時に屈曲しないよう固定される。座位をとる場合など、手動によりロックを解除する。	K1-K2	徳林	TCH-01C		
							啓愛	A1-6	
						啓愛	A1-6-2		
P2020101	股関節補助部品	ターンテーブル		股関節の回内外の役割を行う		ラボック	M0620		
						ラボック	M0630		
						ラボック	M0680		
						ナブテスコ	N-R100		
						高崎	TG2014		
						徳林	TKR-01		
						ラボック	SL0250		
						ラボック	M0681		
						ラボック	M0640		
						ラボック	M0642		
						ホスマー	60762		
						オットーボック	4R57		
						啓愛	A2-12-1		
						啓愛	A2-13		
		ブラッチフォード	189123						
P2030101	生体機能代償部品	単軸膝継手	固定	固定	膝が完全伸展位で固定される。座位をとる場合などは手動で固定解除可	K1	ラボック	SL0702	
							オットーボック	3R40	
							ラボック	SL0701	
							ラボック	SL0710	
							オットーボック	3R41	
							オットーボック	3R17	
							オットーボック	3R33	
							啓愛	A3-1-1	
							啓愛	A3-1-2	
							啓愛	A3-2-1	
							啓愛	A3-2-2	
							K1-K2	ラボック	SL0708
								ラボック	SL0720-A
ブラッチフォード	019355								
K2	小原	34S-050							
K2-K3	ホスマー	60471							
K4	ラボック	SP0701							

注) 表中の空白部分はメーカーの確認が取れていないもの、また「-」の入っているものは該当しないことを示す。

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項	メーカー保証期間
マニュアルロック股継手	100	アルミ	890	73,800		1年
	100	カーボン	600	153,600	ストライド調整機能付	
	100	アルミ	760	66,000	ストライド調整機能付	
股継手 伸展補助装置付	100	アルミ	940	66,000		1年
股継手遊動式	特になし	アルミ	1,300	77,900	削除申請予定	1年
ヒップジョイント	100	アルミ	637	167,600		1年
股継手 伸展補助装置内蔵 チタン	100	チタン	875	175,500		1年
股継手遊動式	特になし	アルミ	1,100	76,700	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可	1年
股継手	80	アルミ	665	88,300		2年
股継手 油圧シリンダー内蔵	125	チタン	1,165	452,500	油圧による歩行速度追従、立脚相屈曲による衝撃吸収機能あり	1年
股継手 小児用	45	アルミ	215	167,000		1年
	55	アルミ	262	70,100		2年
股継手固定		アルミ	1,000	105,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可	1年
股継手固定		アルミ	1,300	80,000	製造中止予定	1年
ターンテーブル(チタン)	70	チタン	179	66,000		
ターンテーブル(ステンレス)	70	ステンレス	213	52,500		
ローター	70	ステンレス	330	66,000		
ターンテーブル ステンレス	100	ステンレス	180	66,000		1年
ターンテーブル				31,800		
ターンテーブル	100	アルミ	220	28,000		
皿受つき薄型ターンテーブル	100	アルミ	288	93,300		
ブラグつきローター	100	チタン	315	151,200		
ねじつきターンテーブル	100	チタン	170	67,000		
ブラグつきターンテーブル(チタン)	100	チタン	160	93,400		
AK ローター	135	アルミ	138	99,600		
ターンテーブル	150	ステンレス	170	69,700		
大腿正座用ターンテーブル		アルミ	360	25,600	製造中止予定	
A1-2-N用ターンテーブル		アルミ		28,600		
ターンテーブルキット ABOVE KNEE	100(K1-K4)/125(K1-K3)	アルミ	330	195,700		
軽量手動ロック膝(Mg)(マグネシウム)	80	マグネシウム	194	145,200		1年
マニュアルロック膝継手	100	アルミ	290	50,200		1年
軽量手動ロック膝	100	アルミ	284	59,400		1年
上下分離カバー用手動ロック膝	100	アルミ	385	95,200		1年
マニュアルロック膝継手 プラスチック	125	プラスチック	385	84,700		1年
マニュアルロック膝継手	150	ステンレス	695	76,500		1年
マニュアルロック膝継手 チタン	125	チタン	530	137,900		1年
固定膝(チューブアダプタ付)	100	ステンレス	690	59,400		1年
固定膝(ソケットアタッチメント付)	100	ステンレス	670	49,900		1年
固定膝あぐら付	100	ステンレス	960	68,000	ターンテーブル付	1年
固定膝あぐら付(チューブアダプタ付)	100	ステンレス	805	77,400	ターンテーブル付	1年
Beluga(ハウジングつき手動ロック膝)	80	アルミ	450	187,500		1年
半遊動膝継手	100	アルミ	458	181,500		1年
単軸膝・半自動固定 4-BOLT/SAKL UNIVERSAL	125	アルミ・カーボン	775	240,000		2年
前留式固定膝	80	アルミ	345	72,600		1年
単軸固定膝	135	アルミ	264	73,300		
ステップ用膝継手	80	アルミ	1020	432,500		1年

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
						高崎義肢	TG1023
						高崎義肢	TG1024
						高崎義肢	TG1014
						メディ	monolock
						啓愛	A1-16-10TI
P2030201			固定・遊動切替式	膝を完全伸展位で固定するか遊動にするかの選択可		高崎義肢	TG1005
P2030301			ハネ(ゴム)伸展補助装置	立脚相制御機能なし 遊脚相はバネまたはゴムで屈曲と伸展を制御する。バネ(ゴム)力は調整可	K2	ラボック	M0716
					K2-K3	ホスマー	60823
						ホスマー	60822
						ホスマー	60821
					活発な歩行	高崎義肢	TG1002
						高崎義肢	TG1003
P2030302			空圧制御	立脚相制御機能なし 遊脚相は空圧により屈曲と伸展を制御する。空圧は調整可	K1-K2	ブラッチフォード	019352
					K3-K4	ラボック	M0760
P2030303			油圧制御	立脚相制御機能なし 遊脚相は油圧により屈曲と伸展を制御する。油圧は調整可	K2-K3	Proteor	1P50-R
					K3-K4	オッターボック	3R95=1
						ラボック	M0703
						オッターボック	3R95
						ブラッチフォード	019350
					設定なし	オッターボック	3WR95
P2030401		荷重ブレーキ	定摩擦・ハネ(ゴム)伸展補助装置	立脚相は荷重時に軸摩擦によって膝の屈曲制動(ブレーキ)が働く。ブレーキ力は調整可 遊脚相はバネまたはゴムで屈曲と伸展を制御する。バネ(ゴム)力は調整可	K1-K2	ラボック	M0736
						オッターボック	3R15
						オッターボック	3R49
						メディ	OFM2
						オッターボック	3R90
						啓愛	A1-1
						啓愛	A1-2
						啓愛	A1-2-N
						啓愛	A2-1
						啓愛	A2-2
					K2-K3	ホスマー	60785
						ホスマー	60775
						ホスマー	60794
						ホスマー	60236
						フィラワー	124200
					活発な歩行	高崎義肢	TG1011
P2030402		荷重ブレーキ	空圧制御	立脚相は荷重時に軸摩擦によって膝の屈曲制動(ブレーキ)が働く。ブレーキ力は調整可 遊脚相は空圧で屈曲と伸展を制御する。空圧は調整可	K2-K3	メディ	OP4
						ナブテスコ	NK-1s
						ナブテスコ	NK-1
						オッターボック	3R92
					K2-K4	ラボック	M0770
						ラボック	M0771
P2030403		荷重ブレーキ	空圧電子制御	立脚相は荷重時に軸摩擦によって膝の屈曲制動(ブレーキ)が働く。ブレーキ力は調整可 遊脚相ではセンサーが速度を検知し、速度に合わせて空圧をマイコンで調整し屈曲と伸展を制御する。	K2-K4	ナブテスコ	NI-C111
						ナブテスコ	NI-C111t
						ナブテスコ	NI-C112
P2030501		油圧イールドイング	油圧制御	立脚相は荷重時に油圧によって屈曲抵抗が発生しイールドイングが働く。遊脚相は油圧により屈曲と伸展を制御する。油圧は調整可。	K1-K4	オズール	MKN01360
					K3-K4	オッターボック	3R80 +

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項	メーカー保証期間
固定膝軽量用		アルミ	233	48,000	パイプ径 25 mm用	
固定膝ライト	80	アルミ	270	66,000		
手動固定膝	80	アルミ	368	64,600		2年
単軸マニュアルロック膝継手 アルミ	125	アルミ	275	58,700		1年
単軸膝 ロック式 TI	100	チタン	390	157,300	製造中止 ただし平成 27 年度まで修理対応可	
遊動固定切替膝		アルミ	418	69,500		
皿受付単軸膝	70	アルミ	640	58,200		1年
アルミ単軸膝	100	アルミ	315	93,900		
ステンレス単軸膝	100	ステンレス	450	80,800		
チタン単軸膝	100	チタン	350	127,800		
単軸膝	80	アルミ	383	47,400		2年
単軸膝軽量用		アルミ	230	46,300	パイプ径 25 mm用	
単軸膝・空圧制御 4-BOLT PSPC UNIVERSAL	100	アルミ・ステンレス	不明	312,700		2年
空圧制御シリンド付単軸膝	100	アルミ・カーボン	577	260,200		1年
ハイドラケーデンス 2	100	カーボンファイバー	1850	732,500	足関節連動	
油圧単軸膝継手、体重制限 75kg	75	アルミ	340	266,200		1年
Dolphin (油圧単軸膝、アルミフレーム)	100	アルミ	495	260,200		1年
油圧単軸膝継手、体重制限 150kg	150	アルミ	360	266,200		1年
単軸膝・油圧制御 4-BOLT/CaSTANCE UNIVERSAL	100	アルミ・ステンレス	不明	576,600		2年
アクアニーウォーターブルーロック付	150	アルミ	400	322,500	防水加工	1年
荷重ブレーキ膝	100	アルミ	695	75,500		1年
荷重ブレーキ膝継手	100	ステンレス	490	63,800		1年
荷重ブレーキ膝継手 チタン	100	チタン	360	147,600		1年
単軸荷重ブレーキ付膝継手 (ロック切替機能付)	125	アルミ	495	108,900	ロック・遊動 切替機能付き	1年
荷重ブレーキ膝継手 バネ内臓チューブ付	125	アルミ	745	217,800	荷重応答型ブレーキ	1年
安全膝 (チューブアダプタ付)	100	ステンレス	790	70,300		1年
安全膝 (ソケットアライメント)	100	ステンレス	770	73,900		1年
安全膝 極長断端用	100	ステンレス	790	75,700		1年
安全膝あぐら付 (チューブアダプタ付)	100	ステンレス	1140	80,300		1年
安全膝あぐら付	100	ステンレス	880	71,200		1年
アルミ荷重ブレーキ膝	100	アルミ	316	102,900		
ステンレス荷重ブレーキ膝	100	ステンレス	450	84,600		
チタン荷重ブレーキ膝	135	チタン	350	127,000		
荷重ロック膝キット	100	チタン	453	119,800		
安全膝伸展補助付				84,700		
荷重ブレーキ膝	80	アルミ	510	79,100		3年
荷重ブレーキ付空圧膝継手	100	アルミ	680	217,800		1年
空圧膝継手・ピラミッド (伸展補助バネ)	125	チタン	910	294,600		1年
空圧膝継手・ピラミッド	125	チタン	910	288,000		1年
荷重ブレーキ膝 空圧式 チューブ付	125	アルミ	895	272,300		1年
BASS (空圧 荷重ブレーキ膝 カーボンフレーム)	100	カーボンファイバー	685	281,300		1年
P-BASS (空圧 荷重ブレーキ膝 カーボンフレーム)	100	カーボンファイバー	695	281,300		1年
安全膝	100	カーボンファイバー	1095	347,300		1年
単軸・荷重ブレーキ付・ピラミッド	100	カーボンファイバー	1095	341,500		1年
単軸・荷重ブレーキ付・インテリジェント膝継手	100	カーボンファイバー	1191	364,800		1年
マウクニー	136	カーボンファイバー	1,140	517,800	立脚相制御は完全固定とイーリング、抵抗なしの 3 つの切り替え機能あり。	2.5年
ロータリー油圧膝継手、チューブ付	150	アルミ	1,240	432,500	防水加工・チューブ付	1年

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番		
		立脚相制御	遊脚相制御						
P2030502		油圧イールディング	空圧電子制御	立脚相は荷重時に油圧によって屈曲抵抗が発生しイールディングが働く。遊脚相ではセンサーが速度を検知し、速度に合わせて空圧をマイコンで調整し屈曲と伸展を制御する。	K2-K4	ナプテスコ	NI-C311		
P2030601		油圧電子制御	油圧電子制御	立脚相と遊脚相両方においてセンサーが歩行状態を検知し、立脚相ではイールディングの、遊脚相では屈曲と伸展の油圧をそれぞれの状態に合わせてマイコンで制御する。	K3-K4	オットーボック	3C98		
P2040101	多軸膝継手	固定	固定	伸展状態で固定される。座位をとる場合などは手で固定解除が可能	K0-K2	オズール	BKN12511		
P2040201					ハネ(ゴム)伸展補助装置	立脚相はリンク機構により安定性を高める。遊脚相はバネまたはゴムで屈曲と伸展を制御する。バネ(ゴム)力は調整可	K1	オットーボック	3R23
	中程度	高崎義肢	TG1037						
					K1-K2	ラボック	M0781		
						オットーボック	3R36		
						オットーボック	3R20		
						徳林	TGK-4000		
						徳林	TK-4000S		
						オズール	BKN12500		
						オズール	BKN12501		
						オットーボック	3R21		
						メディ	OFM1		
						メディ	OM8		
						K3以下	啓愛	A2-10-2	
活発な歩行	高崎義肢	TG1008							
	高崎義肢	TG1006							
	高崎義肢	TG1009							
	啓愛	A2-10							
	啓愛	A2-10-1							
P2040202			空圧制御	立脚相はリンク機構により安定性を高める。遊脚相は空圧により屈曲と伸展を制御する。空圧は調整可	K2	オットーボック	3R78		
					油圧制御	立脚相はリンク機構により安定性を高める。遊脚相は油圧により屈曲と伸展を制御する。油圧は調整可	K1-K3	ブラッチフォード	019136
							K2-K3	徳林	TGK-4P01P
								オットーボック	3R106
								メディ	OHP3
								徳林	TGK-4P10
								徳林	TK-4P00S
								ラボック	M0750-A
								ラボック	M0755-A
徳林					TGK-4P00				
メディ					OP5				
活発な歩行	高崎義肢	TG1017							
P2040203			油圧制御	立脚相はリンク機構により安定性を高める。遊脚相は油圧により屈曲と伸展を制御する。油圧は調整可	K2-K3	徳林	X60		
プロテオール						1P110			
K3-K4					オットーボック	3R55			
					オットーボック	3R46			
	活発な歩行	高崎義肢	TG1027						

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項	メーカー保証期間
ハイブリッドニー	125	カーボンファイバー	1,380	836,500	MRS(床反力センシングシステム)による油圧の ON-OFF 動作 電池寿命約 2 年、充電不要	3 年
Cレグ	136	カーボンファイバー	1,143	1,652,500	専用パイプアダプター、専用充電器、専用 AC アダプターと組合わせて使用。スタンスエクステンションダンピング機構(調整可)任意角度でのロック、モード切替(一定角度でのロック、フリー)、置き転倒防止機能	3 年
バランスニー ロックタイプ	125	アルミ	590	194,600	立脚相制御は軸位調整によりほぼ固定状態から遊動状態まで設定可能。	2 年
膝離断用膝継手 マニュアルロック	125	ステンレス	880	160,900		1 年
手動固定 4 リンク	80	アルミ	520	113,700		2 年
SwanS	75	アルミ	668	254,100		1 年
ハーベルマン膝継手 チタン	100	チタン	445	158,500	幾何学的ロック	1 年
ハーベルマン膝継手	100	ステンレス	820	94,400	幾何学的ロック	1 年
四軸膝継手	100	カーボンファイバー	655	129,400		2 年
Hy-Stan 四軸膝継手	100	アルミ	835	58,000		2 年
バランスニー(伸展補助バネ)	125	アルミ	590	159,100	立脚相制御は軸位調整によりほぼ固定状態から遊動状態まで設定可能	2 年
バランスニー(伸展補助バネ強)	125	アルミ	590	158,500	立脚相制御は軸位調整によりほぼ固定状態から遊動状態まで設定可能	2 年
膝離断用多軸膝継手 伸展補助	125	ステンレス	1010	146,400		1 年
四軸膝継手(ロック切替機構付)	136	アルミ	590	145,200	30 ロック・遊動 切替機能付き * ピラミッド位置 全方位 360 度スライド可	1 年
四軸膝継手(回転中心位置調整機構付)	136	アルミ	450	84,700	回転中心位置調整機構付	1 年
四軸膝ターンテーブル付	100	アルミ	796	67,200	削除申請予定	1 年
4 軸膝(2)	80	アルミ	688	112,300		2 年
4 軸膝継手	80	アルミ	668	94,800		2 年
6 軸膝		アルミ		165,300		
4 軸膝(膝離断用)				103,000	製造中止、ただし平成 27 年度まで修理対応可	
4 軸膝(膝離断用)	100	アルミ	605	80,500	製造中止、ただし平成 27 年度まで修理対応可	1 年
多軸空圧膝継手 低活動用	100	アルミ	750	175,400		1 年
四軸膝離断空圧 4-BAR KNEE DISARTICULATION/PSPC SWING	100	アルミ・カーボン	888	526,100		2 年
空圧式四軸膝継手(ミニ)	80	カーボンファイバー	780	211,700		2 年
四節リンク空圧膝継手 チューブ付	100	アルミ	760	242,000		1 年
四軸空圧膝継手(回転中心位置調整機構付)	100	アルミ	875	242,000	* ピラミッド位置 全方位 360 度スライド可 * 専用ウェッジ組込でリンク形状変更可	1 年
空圧式四軸膝継手(膝離断用)	100	カーボンファイバー	1100	225,000		2 年
Hy-Stan 空圧式四軸膝継手	100	アルミ	1150	100,400		2 年
HRC4 本リンク膝(大腿切断用)(アルミフレーム カarbonリンク)	100	アルミ・カーボン	685	179,500		1 年
HRC4 本リンク膝(膝離断用)(アルミフレーム カarbonリンク)	100	アルミ・カーボン	668	179,500		1 年
空圧式四軸膝継手	125	カーボンファイバー	920	211,700		2 年
四軸空圧膝継手	125	アルミ	765	193,600	* ピラミッド位置 全方位 360 度スライド可 * 伸展補助バネ 標準(硬)、弱(柔)あり 使用者の活動度により、使い分ける	1 年
四軸空圧膝	80	アルミ	650	126,900		2 年
油圧式四軸膝継手	125	アルミ	1060	412,500		2 年
ハイディール	100	アルミ・チタン	1850	372,460		
多軸油圧膝継手	125	チタン	720	332,500		1 年
膝離断用油圧膝継手	125	チタン	740	296,400		1 年
四軸油圧膝	80	アルミ	750	136,200		2 年

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
P2040204			空圧電子制御	立脚相はリリク機構により安定性を高める。遊脚相ではセンサーが速度を検知し、速度に合わせて空圧をマイコンで調整し屈曲と伸展を制御する。	K2-K3	ナブテスコ	NI-C411
						ナブテスコ	NI-C412
						ナブテスコ	NI-C414
P2040301		ハウジング	ポリマー定摩擦・ゴム伸展補助装置	立脚相では踵接地時に膝を完全固定した状態で膝が軽度屈曲(バウンス)する。遊脚相はポリマー定摩擦・ゴムで屈曲と伸展を制御する。摩擦力は調整可	K1-K2	オズール	TK-1900
P2040302		ハウジング	空圧制御	立脚相では踵荷重時に膝が軽度屈曲(バウンス)する。遊脚相は空圧により屈曲と伸展を制御する。空圧は調整可	K2-K3	徳林	TGK-5PS0
P2040303		ハウジング	油圧制御	立脚相では踵荷重時に膝が軽度屈曲(バウンス)する。遊脚相は油圧により屈曲と伸展を制御する。油圧は調整可	K2-K3	ラポック	M0780
						オズール	TK2000
						ナブテスコ	NK-6
						ナブテスコ	NK-6+L
						オットーボック	3R60-EBS
						ラポック	M0786
					オットーボック	3R60-PRO	
K2-K4	オズール	TK2100					
P2040304		ハウジング	空圧電子制御	立脚相では踵荷重時に膝が軽度屈曲(バウンス)する。遊脚相ではセンサーが速度を検知し、速度に合わせて空圧をマイコンで調整し屈曲と伸展を制御する。	K2-K3	徳林	TGK-5PSOIC
P2050100	膝継手用部品	保護カバー		膝継手の専用保護カバー		オズール	2145
						オズール	2150
						オズール	2151
						オズール	BKN12550
						センチュリー25	TK-2047
						オズール	TK-2052
						オズール	TK-2053
						オットーボック	4X160
Proteor	1P50194-R						
Proteor	1P11090						
P2050200		伸展補助装置		膝継手の専用伸展補助		オズール	TK-2070
						啓愛	A1-1-1
						啓愛	A1-1-2
						ラポック	M07-001
P2050300		制御部品		膝継手のロック・アンロックの切り替えを行う。		高崎	TG2017
						オットーボック	4F34

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項	メーカー保証期間
4 節リンク機構ピラミッド	100	カーボンファイバー	1015	356,500		1 年
4 節リンク機構十字滑り子式	100	カーボンファイバー	1060	365,500	すべりこによるスライド調整可	1 年
4 節リンク機構皿タイプ	100	カーボンファイバー	915	356,500		1 年
トータルニー1900(ポリマー摩擦)	100	アルミ	675	314,600	立脚後期のつま先荷重により、屈曲可能状態に切り替わる。補助的制御装置として伸展補助バンパーを備える	2 年
空圧式五軸膝継手	100	カーボンファイバー	1,005	254,100		2 年
Swan(油圧バウンシング機構 5 軸安全膝体重上限 75kg)	75	アルミ	670	323,500		1 年
トータルニー2000(油圧)	100	アルミ	690	430,600	立脚後期のつま先荷重により、屈曲可能状態に切り替わる。遊脚相の油圧抵抗は、伸展位から屈曲 60 度、60 度から最大屈曲、最大屈曲から伸展位を別々に調整できる。補助的制御装置として伸展補助バンパーを備える	2 年
バウンシング機構	125	チタン	890	372,500	幾何学的ロック	1 年
ロック付バウンシング膝継手	125	チタン	940	397,500	幾何学的ロック、固定と遊動切替機能あり	1 年
EBS 多軸膝継手 バウンシング機構	125	アルミ	845	472,500	幾何学的ロック・油圧式バウンシング機構	1 年
Swan100(油圧バウンシング機構 5 軸安全膝体重上限 125kg)	125	アルミ	840	370,500		1 年
小型 EBS 多軸膝継手 バウンシング機構	75	アルミ	770	492,500	幾何学的ロック・油圧式バウンシング機構	1 年
トータルニー2100(油圧)	125	アルミ	900	838,800	立脚後期のつま先荷重により、屈曲可能状態に切り替わる。遊脚相の油圧抵抗は、伸展位から屈曲 60 度、60 度から最大屈曲、最大屈曲から伸展位を別々に調整できる。補助的制御装置として伸展補助バンパーを備える	2 年
空圧式五軸膝継手(オートパイロット)	100	カーボンファイバー	1150	612,500		2 年
トータルニー2100 用外装用脛骨フェルレル				9,500	フォームカバー取付・膝継手保護	
トータルニー2100 用外装用膝キャップ小				12,400		
トータルニー2100 用外装用膝キャップ大				24,400		
バランスニー用コスメティックカバー				5,900	膝継手保護	
トータルニー1900・2000 用外装用脛骨フェルレル				9,000	フォームカバー取付・膝継手保護	
トータルニー1900・2000 用外装用膝キャップ				12,400		
トータルニー1900・2000 用外装用膝キャップ				24,400		
ニープロテクター C レッグ用				101,600	下腿部の形状をしている。充電用スライドカバー付	
ニーキャップ				19,900	膝継手保護	
ニーキャップ				15,000	膝継手保護	
トータルニー用伸展補助バネ				22,700		
リング(膝伸展用)				1,950		
膝伸展用ゴム				2,050		
Swan ばね調節キット				14,200		
ウレタンベルト(伸展補助用)				1,550		
ロックコントロールユニット				5,500		

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番	
		立脚相制御	遊脚相制御					
P2050400				充電器		オットーボック	4E50	
P2050500						オットーボック	757L16	
P2050500				バッテリーキット		ナブテスコ	N-B002	
						徳林	LI179	
P2060101C	単軸膝継手 (小児用)	固定	固定	膝が完全伸展位で固定される。座位をとる場合などは手で固定解除可	K1-K2	徳林	TK-1C1	
						特になし	オットーボック	3R39
							ラボック	C0720
P2060201C			ハネ(ゴム)伸展補助装置	立脚相を制御機能はない。遊脚相はバネまたはゴムで屈曲と伸展を制御する。バネ(ゴム)力は調整可	特になし	オットーボック	3R38	
						ラボック	C0700	
P2060202C			油圧制御	立脚相を制御する機能はない。遊脚相は油圧により屈曲と伸展を制御する。油圧は調整可		オットーボック	3R65	
P2060301C			固定・遊動切替式	膝を完全伸展位で固定するか遊動にするかの選択可		高崎義肢	TG1013	
P2070101C	多軸膝継手 (小児用)		ハネ(ゴム)伸展補助装置	立脚相はリンク機構により安定性を高める。遊脚相はバネ或いはゴムで屈曲と伸展を制御する。バネ(ゴム)力は調整可	K1-K4	ブラッチフォード	019245	
						オズール	TK-1100	
						徳林	TK-40C	
						特になし	オットーボック	3R66
P2080100C	膝継手用部品 (小児用)	保護カバー		膝継手の専用保護カバー		センチュリー22	TK-1145	
						センチュリー23	TK-1150	
						センチュリー24	TK-1151	
P2080200C			伸展補助装置	膝継手の専用伸展補助		オズール	TK-1170	
P2090100	足継手・足部一体型	単軸継手(底背屈)		他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。底背屈の動きあり。足の形状をしている。	K2 以下	啓愛	A1-8	
						啓愛	A1-8-N	
P2090200		多軸継手(底背屈・内外反)		他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。底背屈と内外反の動きあり。足の形状をしている。	K1-K2	オットーボック	1M10	
	オズール					FBP0-size		
	K2				フリーダムイノベーションズ	VS3000		
	K2-K3				オットーボック	1A30		
P2090301		固定接続	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。足の形状をしている。	K1-K2	オズール	JBPExyyL/R	
						オズール	ASPFs-SIZE	
					K1~K3	ラボック	M1170	
						徳林	TSF-TR01	
					K2-K3	オズール	FAP0-size	
						フリーダムイノベーションズ	VS1000	
					K2~K4	ラボック	M1172	
	K3-K4	Proteor	1A400 DynaC					

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項	メーカー保証期間
バッテリーチャージャー				67,700	C-Leg の充電状況を表示	
ACアダプター				32,600	4E50 に接続	
バッテリーキット (NI-C シリーズ用)				7,100	電池寿命約 2 年	
グラファイト空圧式五軸膝継手(オートパイロット)用バッテリー				14,100		
小児用単軸膝継手	55	アルミ	310	52,800		2 年
マニュアルロック膝継手 小児用	45	アルミ	145	132,700		1 年
手動ロック膝(小児用)	45	アルミ	181	115,000		1 年
単軸膝継手 小児用	45	アルミ	160	111,300		1 年
単軸膝 (小児用)	45	アルミ	159	115,000		1 年
油圧単軸膝継手 小児用	45	アルミ	315	243,200		1 年
遊動固定切替膝軽量用 (小児用)		アルミ	252	66,000	パイプ径 25 mm用	
四軸膝子供用 CHILD'S AK 4 BAR	60	アルミ	435	302,300		2 年
小児用トータルニー膝継手	45	アルミ	395	293,700	立脚後期のつま先荷重により、屈曲可能状態に切り替わる。補助的制御装置として伸展補助バンパーを備える	2 年
小児用四軸膝継手	55	アルミ	370	66,000	10	
多軸膝継手 小児用	35	アルミ	310	130,600	足部回旋機構	1 年
トータルニー1100 用外装用フェルルール				9,000	フォームカバー取付・膝継手保護	
トータルニー1100 用膝キャップ小				12,400		
トータルニー1100 用膝キャップ大				24,400		
トータルニー1100 用伸展補助ハネ				22,700		
一軸足部	100	ウレタン/木	290 ~ 450	17,500		
一軸足部	100	ウレタン/木	290 ~ 400	27,500		
アジャスト	80/100/125	強化プラスチック	465 (24cm)	70,100	体重制限: サイズによる	
フレックスフットバランス	136	カーボン	490	66,000		
サイズウォークテック(指股選択可,ふっとカバーセット)	136	カーボン FRP	490 ~ 630	90,700	指又仕様 選択可, 21-25 490g,26-28 630g	
グライシンガープラスフット 指股あり	75/100	ウレタン	620 (24cm)	66,000	体重制限: サイズによる	
バランスフット J	136	カーボン	632	121,900		
アンピシャス	80	カーボン	660g	121,100		
J-Foot	80 27cm のみ 100		445 ~ 660	97,200		
トルネードダイナミックフット	125	Fiber enforced synthetic polymers	300 (28cm)	66,000		
アシュア	136	カーボン	620	137,900		
セネター	136	カーボン	520 ~ 780	99,200	22-25: 520g,26-28: 655g, 29-30: 780g	
J-Foot Plus *24、25cm のみの展開	80		490 ~ 520	112,500		
DynaC	125	コンポジット素材	420	165,900		

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
					特になし	オットーボック	1WR95=P
P2090401		固定接続(鉛直方向の衝撃吸収)	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。鉛直方向の衝撃を吸収する。足の形状をしている。	K2-K3	フリーダムイノベーションズ	RS4000
					K3-K4	フリーダムイノベーションズ	RS1000
P2090501		固定接続(内外反の動き)	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。内外反の動きあり。足の形状をしている。	K2	カレッジパークインダストリー	CPI-03
					K2-K3	オズール	LAPO-size
						オズール	TLPO-size
						オットーボック	1C30
						オットーボック	1D35
						フリーダムイノベーションズ	FS1000
						フリーダムイノベーションズ	FS2000
						フリーダムイノベーションズ	FS3000
					フリーダムイノベーションズ	FS4000	
					フリーダムイノベーションズ	F10	
					K3	カレッジパークインダストリー	CPI-01
						カレッジパークインダストリー	CPI-02
					K3-K4	オットーボック	1E50
						ウィーローウッド	TBMA-SIZE
						オットーボック	1E58
フレックスフット	F・F-M -SP						
オットーボック	1C40						
オットーボック	1C60						
オットーボック	1C63						
オットーボック	1C64						
オットーボック	1E56						
オットーボック	1E57						
オズール	Vari-Flex Evo						
オズール	LP Vari-Flex Ev						

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項
アクアフット ウォータープルーフ アダプタ付	150	木材・ウレタン	437 (24cm)	52,800	防水加工。活動レベル:設定ないが、日常で併用する場合は K1-2 対象
シルエット	166	カーボン	525 ~ 785	317,500	(メスアダプター付)22-25: 525g,26-28: 645g, 29-31: 785g
レネゲイド	166	カーボン	625 ~ 945	447,500	指又仕様 選択可, 22-25 625g,26-28 765g, 29-31 945g
トリビュートフット	99	ステンレス/ウレタン他	502 (26cm)	110,600	
フレックスフットアクシア	140	カーボン	566	262,800	左右非対称設計のカーボンプレートにより、足底圧中心の流れを整える機能を持つ
タラックス	147	カーボン	740	388,700	左右非対称設計のカーボンプレートにより、足底圧中心の流れを整える機能を持つ
トライアス	80/ 95/ 110/ 125	カーボン	468 (24cm)	116,200	体重制限: サイズ、カテゴリによる
ダイナミックモーション 指股付 22~30cm	75/ 100	強化プラスチック	510 (24cm)	92,000	体重制限: サイズによる
シエラ	166	カーボン	515 ~ 750	229,900	指又仕様 選択可, 22-25 515g,26-28 640g, 29-31 750g
パシフィカ	166	カーボン	485 ~ 720	217,800	指又仕様 選択可, 22-25 485g,26-28 610g, 29-31 720g
ハイランダー	166	カーボン	470 ~ 750	223,800	指又仕様 選択可, 22-25 470g,26-28 590g, 29-31 750g
パシフィカ LP	166	カーボン	465 ~ 760	217,800	指又仕様 選択可, 22-25 465g,26-28 570g, 29-31 760g
ダイナダブト	100	カーボン	535 ~ 750	242,000	指又仕様 選択可, 22-25 535g,26-28 635g, 29-31 750g
カレッジパークフット	136	ステンレス/ウレタン他	641 (26cm)	234,300	
ベンチャーフット	113	ステンレス/ウレタン他	585 (26cm)	259,400	
ドバンテージ DP 22~31cm	150	カーボン	360 (24cm)	350,500	ダイナミックパイロン仕様 体重制限: カテゴリによる
トレイスブレイザーMA	115	カーボンコンポジット材	460 (30cm)	199,600	
アクション DP	125	カーボン	385 (24cm)	205,700	ダイナミックパイロン仕様 体重制限: カテゴリによる
モジュラー スプリットーあり	227	カーボン	885	416,500	
C ウォーク 24~30 cm	75/ 100	カーボン	405 (24cm)	248,000	体重制限: サイズによる
トリトンフット	100/ 125/ 150	カーボン	590 (24cm)	229,900	体重制限: サイズ、カテゴリによる
トリトン LP	100/ 125/ 150	カーボン	560 (24cm)	211,700	防水加工。体重制限: サイズ、カテゴリによる
トリトン HD	100/ 150	カーボン	590 (24cm)	254,100	防水加工。体重制限: サイズ、カテゴリによる
アクション	125	カーボン	515 (24cm)	205,700	体重制限: サイズ、カテゴリによる
ローライダー 22~31cm	100/ 136	カーボン	465 (24cm)	350,500	体重制限: 活動レベルによる
バリフレックス EVO	166	カーボン	700	360,300	
LP バリフレックス EVO	166	カーボン	540	315,400	

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番		
		立脚相制御	遊脚相制御						
P2090601			固定接続(内外反、鉛直、ねじれの動き)	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。内外反の動き、足の形状をしている。鉛直方向の高い衝撃やねじれを吸収する。	K3-K4	オズール	RSPE-size	
							オズール	VLXE/LRP-size	
							オットーボック	1C61	
							オットーボック	1C62	
P2090701			固定接続(内外反、鉛直の動き)	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。内外反の動き、鉛直方向の高い衝撃を吸収する。	K3-K4	オズール	XCPE-size	
							フレックスフット	F・F-RE-SP	
						K1,K2,K3,K4	ウィローウッド	PFDR-SIZE	
P2090801			固定接続、踵高調整	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている踵高調整機能がある。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。足の形状をしている。	K2-K3	オズール	ELPO-SIZE	
							フリーダムイノベーションズ	RS2000	
						K3-K4	オズール	VFQE-size	
P2090901			固定接続、自動踵高調整	エネルギー蓄積を考慮したキール、	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている自動で踵高調整を行う。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。足の形状をしてい		ブラッチフォード	EC 22-30 L/R	
							フリーダムイノベーションズ	ROM	
P2091000			サイム用				ラボック	M1112-R	
							ラボック	M1112-L	
							K2-K3	オットーボック	1C20
								マインド	SVF175
							K3-K4	フリーダムイノベーションズ	LP2000
								フレックスフット	F・F-LPS-SP
								啓愛	A1-7-1
	啓愛	A1-19							
P2100100	組合わせて使う足部		多軸(底背屈・内外反)フットカバーなし		他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。底背屈と内外反の動きあり	K2	ウィローウッド	DWF-SIZE	
P2100200			継手機能なし		足継手と組み合わせて使用する。足の形状をしている。	K1	Proteor	1A200	
							オットーボック	1H38	
							ラボック	SL1160	
							オットーボック	1D10	
							オットーボック	1D11	
							オットーボック	1S49	
オットーボック	1S66								

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項
リフレックスローテート EVO	147	カーボン	1136	578,300	
LP ローテート EVO	147	カーボン	870	495,000	
トリトン VS	100/ 125/ 150	カーボン	900 (24cm)	284,300	体重制限: サイズ、カテゴリによる
トリトンハーモニー	100/ 125/ 150	カーボン	890 (24cm)	402,500	体重制限: サイズ、カテゴリによる。ハーモニーポンプ内蔵
パリフレックス XC	166	カーボン	712	441,400	
リフレックスショック EVO スプリットーあり	166	カーボン	1048	658,300	
バスファインダー	160 For K1,K2,K3 135 For K4	カーボンコンポジット材	817 (27cm)	402,500	
イレーション雄ピラミッド	100		710	304,600	0~50ミリの範囲で無段階で差高調整できる油圧調整機構を備える
ランウェイ	116	カーボン	620~ 735	347,500	22-25: 620g,26-28: 735g
パリフレックス EVO(クイックアライン付)	166	カーボン	1084	457,900	0~30ミリの範囲で差高調整できる機構を組み合わせている
エシュロン	125	アルミ・ステンレス・カーボン	688	607,800	
キンテラ (油圧足継手付き足部)	125	カーボン	795~ 992	542,500	指又仕様 選択可、22-25: 795g,26-28: 897g,29-30:992g
サイム用足部 (24 cm右)	70		330	21,500	
サイム用足部 (24 cm左)	70		330	21,500	
プロサイム フットカバー付 25~28cm	100/ 125	カーボン	655 (25cm)	186,300	体重制限: サイズによる
ボイジャーフット サイム用	136		580	296,500	
LP サイム	166	カーボン	420~ 670	220,200	指又仕様 選択可、22-25 420g,26-28 545g,29-31 670g
ロープロファイル サイム スプリットーあり	166	カーボン	602	415,400	踵部と前支部からなるカーボン製プレートに、A・P・M・L方向でのアライメント調整可能な接続部を組み合わせている
サイム用足部		ウレタン/木	285~ 445	17,300	
SF フット		ウレタン/木		33,100	製造中止ただし平成 27 年度まで修理対応可
デュラウォーク	160	GFRP (強化ガラス繊維)	502 (26cm)	62,000	
ジェリーフット	100	EVA、ステンレス	380	44,800	継手一体型
単軸足部 指付 21~28cm	100	木材・ウレタン	335 (24cm)	23,000	
Ai SACH	80		310~ 390	28,400	
ダイナミックフット 男性用 指股付 22~30cm	125	木材・ウレタン	350 (24cm)	36,400	
ダイナミックフット 女性用 指股付 22~28cm	100/ 125	木材・ウレタン	345 (24cm)	36,400	体重制限: サイズによる
SACH フット 指付 21~28cm	100/ 125	木材・ウレタン	365 (24cm)	18,500	
SACH フット 指付 差高 18mm 22~30cm	100/ 125	木材・ウレタン	365 (24cm)	12,400	

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
					K1-K2	啓愛	A1-7
						啓愛	A1-7-N
						ウィローウッド	SAF-SIZE
						ブラッチフォード	519119 ~ 51913
						ブラッチフォード	519141 ~ 51914
						ラボック	M1100
					K2	マインド	SNF150
						Proteor	1A101
					K2~K3	ラボック	M1150
					特になし	オッターボック	1S70
					特になし	オッターボック	1WR95=W
						高崎	TG-3001
						高崎	TG-3021
						高崎	TG3022
						その他のSACH	
P2100300		エネルギー蓄積を考慮したキール		足継手と組み合わせて使用する。キールにカーボン等の弾性素材を使用しエネルギー蓄積の機能あり。足の形状をしている。	K2以下	啓愛	A2-8
					K2	マインド	SFH110
						マインド	SFH120
						マインド	SLF135
					K2-K3	ブラッチフォード	529120 ~ 52913
						マインド	SCF185
						マインド	SCF195
					K2~K4	ラボック	M1180
					K3,K4	ウィローウッド	IMP-SIZE
P2110100	組合わせて使う足継手	固定接続		SACH用足継手、他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている	K1-K2	オッターボック	2R8
						オッターボック	2R31
						オッターボック	2R54
						啓愛	A1-15-1AL
						啓愛	A1-15-1SS
						啓愛	A1-15-1TI
						啓愛	A1-4
						啓愛	A1-13
					K1-K3	ハウアーファインド	G-025-M10
						オズール	A-833100
						オズール	A-835100
					K2-K3	ホスマー	60273
						ホスマー	60405
						マインド	SCA240
						マインド	SCA241
						マインド	SCA242
						マインド	SCA280
					K3	ピー・オー・テック	POTECSA-1
						フィラワー	124160
						高崎	TG3023
						高崎	TG2075
						ウィローウッド	2LTC-1208
						ラボック	M1305
						ラボック	M1308
						啓愛	K-AL69SS
						啓愛	K-AL69TI
						徳林	FA156

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項
SACH 足部	100	ウレタン / 木	320 ~ 470	16,400	
SACH 足部	100	ウレタン / POM	290 ~ 460	26,100	
オハイオ単軸足部	115	ファイバーガラスコンポジット	451 (29cm)	25,600	
20mm 差高 MULTIFLEX 4 FOOT	125	アルミ・ステンレス・プラスチック・ゴム	375	35,300	
マルチ足部爪付 25mm	125	アルミ・ステンレス・プラスチック・ゴム	375	35,600	
単軸用足部	70		275 ~ 390	18,200	
シートルナチュラルフット	130		380	30,100	
ダイナステップフット	80-100		440	54,400	
スーパーフット	100		295 ~ 410	30,300	
SACH フット 指なし 22 ~ 29cm				12,400	販売中止、ただし平成 29 年度まで修理対応
アクアフット ウォータープルーフ	150	木材・ウレタン	437 (24cm)	42,600	防水加工
SACH 足ジュラコンキール (耐水性)				21,400	
SACH (木製キール)				14,200	
単軸足				18,400	
その他の SACH				13,800	
F.J.足部	100	ウレタン / アルミ	290 ~ 450	15,900	
シートルフット (男性用)	100		380	50,100	
シートルフット (女性用)	100		380	50,100	
シートルライトフット	100		360	50,100	
20mm 差高 DR MK2 FOOT	125	アルミ・ステンレス・プラスチック・ゴム	430	66,500	
カーボンライトフット	124		400	49,500	
カーボンライトフット	124		400	49,500	
J-Foot L	100		305 ~ 445	63,400	
インパルス	160	カーボンコンポジット材	453 (26cm)	62,000	
SACH フット用アダプター ステンレス	125	鉄	125	6,700	適用レベルは対応する足部のもの/サイズによって重量・体重制限は異なる
SACH フット用アダプター チタン	125	チタン	70	16,500	適用レベルは対応する足部のもの/サイズによって重量・体重制限は異なる
SACH フット用アダプター アルミ	100	アルミ	80	15,200	適用レベルは対応する足部のもの/サイズによって重量・体重制限は異なる
SACH アダプター アルミ	100	アルミ	105	12,200	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
SACH アダプター ステンレス	100	ステンレス	110	5,400	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
SACH アダプター チタン	100	チタン	80	13,800	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
SACH 用アダプター	100	鉄	250	17,900	
下腿極長断端用アダプター	100	鉄	260	15,700	
SACH フットアダプタ チタン M10	100	チタン	173	14,900	
SACH 足部アダプタ ステン アルミ	100	アルミ	105	14,400	
SACH フットアダプタ	166	チタン	110	26,400	
チタン SACH アダプター	135	チタン	100	19,600	
ステン SACH アダプター	135	ステンレス	142	8,800	
チタン SACH アダプター	166	チタン	47	20,800	
新サッチアダプター	136	チタン	120	15,600	
チタンフットアダプター	136	チタン	46	19,400	
ステンレスサッチアダプター	136	ステンレス	84	9,200	
チタン製サッチフットアダプター	80	チタン	48	25,400	
足部アタッチメントピラミッド付				12,800	
SACH アダプター				6,700	
SACH 用受け皿				5,700	
CC2L-TAJ 足継手	100	チタン	26	12,700	
SACH アダプタ	100	ステンレス	138	5,700	
SACH アダプタ (J-Foot L 用)	100	ステンレス	120	8,000	
サッチアダプター ステンレス				6,500	
サッチアダプター チタン				16,300	
足継手	100	ステンレス	120	4,500	

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
P2110201		固定接続	踵高調整機能付	踵の高さを選択・調整できる。他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている	K1-K3	オズール	QAP125-size
					K2-K3	ラボック	M1085
						高崎	TG3025
P2110301		単軸継手(底背屈)	踵高調整機能付	踵の高さを選択・調整でき、底背屈機能を有する。他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている	K1~K2	ラボック	M1002
P2110300		単軸継手(底背屈)		底背屈機能を有する。他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている	K1	オッターボック	2R10
						オッターボック	2R33
						オッターボック	2R51
					K1~K2	ラボック	M1011
						ラボック	SL1010-A
						啓愛	A1-5
						啓愛	A2-5
					K2~K3	啓愛	A2-5-TI
						ラボック	M1035
						ラボック	M1055
						ウィローウッド	SAF-00100
						啓愛	A2-5-AL
						高崎	TG3026
	マインド	SCS200S1					
	マインド	SCS200S2					
	マインド	SCS200S3					
P2110100		多軸継手(底背屈、内外反、回旋)		底背屈、内外反、回旋の機能を有する。他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている	K1-K3	ブラッチフォード	MFAST30
						ブラッチフォード	379538 ~ 379541
						ブラッチフォード	409125 ~ 409127
					100kg まで K1-K4 120kg まで K1-K2~K3	ブラッチフォード	409121 ~ 409123
						ラボック	M1025
						高崎	TG2065
P2120100	組合わせて使う足部用部品	バンパー		遊動継手や緩衝器に用いられる緩衝材		ウィローウッド	SAF-00128
						ウィローウッド	SAF-00132
						ウィローウッド	SAF-00134
						ウィローウッド	SAF-00140
						ウィローウッド	SAF-00142
						ウィローウッド	SAF-00144
						カレッジパークインダストリー	FB CPI-01
						カレッジパークインダストリー	HB CPI-01
						カレッジパークインダストリー	MP CPI-01
						カレッジパークインダストリー	AB CPI-01
						カレッジパークインダストリー	AB CPI-02
						カレッジパークインダストリー	FHB CPI-02
						ブラッチフォード	409002 ~ 409004
						ブラッチフォード	409007 ~ 409009
						ラボック	M10-005
						ラボック	M10-006
						ラボック	M10-007
	ラボック	M10-008					

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項
クイックアライン	125	アルミ	384	148,100	0～30ミリの範囲で差高調整できる。パリアレックスやタラックスに組み合わせて使用できる
ピッチアジャスター (M1180 J-Foot L 専用部品)	100	アルミ	392	208,100	
踵高調節継手その他				27,900	
踵高調節型足継手	70	アルミ	241	28,100	
足継手 単軸フット用 ステンレス	100	鉄	325	13,300	適用レベルは対応する足部のもの/サイズによって重量・体重制限は異なる
足継手 単軸フット用 チタン	100	チタン	200	42,600	適用レベルは対応する足部のもの/サイズによって重量・体重制限は異なる
足継手 単軸フット用 アルミ	100	アルミ	230	30,100	適用レベルは対応する足部のもの/サイズによって重量・体重制限は異なる
単軸足継手	70	アルミ	235	17,400	
輪ゴム式足継手	100	アルミ	183	60,700	
軸足関節	100	鉄	405	27,700	
F.J.足継手(アライメント・アダプター)	100	鉄	500	36,900	
F.J.足継手チタン(アライメント・アダプター)	100	チタン	367	42,600	
ブラグつきスーパーアングル	70	アルミ	300	67,200	
ブラグつき正座用足継手	70	アルミ	347	101,500	
オハイオ単軸足部用 足継手	100	カーボン	103	27,000	
F.J.足継手アルミ(アライメント・アダプター)		アルミ		31,500	製造中止 ただし平成27年度まで修理対応
単軸足継手ピラミッド				23,300	
シースタンス足関節 50kgまで	50			122,200	
シースタンス足関節 72kgまで	72			122,200	
シースタンス足関節 100kgまで	100			122,200	
マルチ足関節重労用 30mm	125	アルミ・ステンレス・ゴム	201	15,400	
足関節軽労用 MULTIFLEX ANKLE LD 30mm	100	アルミ・ステンレス・ゴム	216	25,500	
マルチ足関節標準用 MULTIFLEX ANKLE 35mm	125	アルミ・ステンレス・ゴム	213	26,600	
足関節軽労用 MULTIFLEX ANKLE LD 35mm	100 (K1-K4) 120 (K1-K3)	アルミ・ステンレス・ゴム	216	26,100	
ブラグつきゴム座式足継手	80	アルミ	274	69,000	
足関節用アライメント受け皿				5,700	
TG2065 軽量用				5,700	
オハイオ単軸足部用 バンパー (青)前柔	113	ウレタン	12	2,100	足部サイズと体重により選択の目安あり
オハイオ単軸足部用 バンパー (黒)前普通	113	ウレタン	12	2,100	足部サイズと体重により選択の目安あり
オハイオ単軸足部用 バンパー (白)前硬	113	ウレタン	12	2,100	足部サイズと体重により選択の目安あり
オハイオ単軸足部用 バンパー (黄)後柔	113	ウレタン	10	2,100	足部サイズと体重により選択の目安あり
オハイオ単軸足部用 バンパー (緑)後普通	113	ウレタン	10	2,100	足部サイズと体重により選択の目安あり
オハイオ単軸足部用 バンパー (赤)後硬	113	ウレタン	10	2,100	足部サイズと体重により選択の目安あり
カレッジパークフット用フロントバンパー		ウレタンゴム		1,500	
カレッジパークフット用ヒールバンパー		ネオブレン		1,600	
カレッジパークフット用ミッドスタンドパット		ウレタン		1,000	
カレッジパークフット用アングルブッシュ		ウレタン		1,000	
ベンチャーフット・トリビューットフット用アングルブッシュ		ウレタン		900	
ベンチャーフット・トリビューットフット用バンパー		ネオブレン		1,800	
軽労用スヌーパーキット L.D.M/F SNUBBER	100	ゴム・プラスチック・フェルト	約 30	2,200	
標準用スヌーパーキット STD.M/F SNUBBER	125	ゴム・プラスチック・フェルト	約 30	2,800	
踵高調節用キット(10mm)	70			4,600	
踵高調節用キット(20mm)	70			4,600	
踵高調節用キット(30mm)	70			4,600	
踵高調節用キット(40mm)	70			4,600	

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
						ラボック	M10-013
						ラボック	M10-014
						ラボック	M10-015
						ラボック	M10-016
						ラボック	M10-050
						ラボック	M10-060
						ラボック	M10-070
						ラボック	M10-080
						ラボック	M10-094
						ラボック	M10-095
						ラボック	SL10-010
						ラボック	SL10-020
						ラボック	SL10-040
						ラボック	SL10-050
						ラボック	SL10-060
						ラボック	SL10-100
						ラボック	SL10-110
						ラボック	SL10-140
						ラボック	SL10-150
						ラボック	SL10-170
						ラボック	SL10-250
						ラボック	SL10-260
						ラボック	SL10-270
						啓愛	A2-5-1
						高崎	TG4031
						高崎	TG4034
P2120200			ボルト			高崎	TG4033
							その他のSACH足部用ボルト
P2120300			フットカバー	足部キールに取り付け足部形状を整える足部形状をしたカバー		オットーボック	2C4
						オットーボック	2C5
						ウィローウッド	FSHA-SIZE
						カレッジパークインダストリー	FS-01
						ウィローウッド	FSDW-SIZE
						オズール	FCE0xxy
						フレックスフット	F・F-083
P2120400			足部ソックス	足部の中の摩擦による音を消すための靴下状の袋		オットーボック	SL=SPECTRA-SOCK
						ウィローウッド	700-SS001
						カレッジパークインダストリー	FTS-167
						フレックスフット	FCX6300-size
P2130100	足継手・足部補助用品		緩衝器(トルクアブソーバー)(回旋)	回旋に対する衝撃緩和		オットーボック	4R39
						オットーボック	4R40
						オットーボック	4R85
						オットーボック	4R86
P2130200			緩衝器(トルクアブソーバー・ショックアブソーバ)(回旋、鉛直)	回旋と長軸方向に対する衝撃緩和の組合せ		オズール	4400
						オットーボック	4R120

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項
ヒールバンパーキット(硬度 3)	70			1,250	
ヒールバンパーキット(硬度 4)	70			1,250	
ヒールバンパーキット(硬度 5)	70			1,250	
ヒールバンパーキット(硬度 6)	70			1,250	
底屈バンパー(硬度 50° 度)	70			1,150	
底屈バンパー(硬度 60° 度)	70			1,150	
底屈バンパー(硬度 70° 度)	70			1,150	
底屈バンパー(硬度 80° 度)	70			1,150	
背屈バンパー40 度	70			2,550	
背屈バンパー40 度 H	70			2,550	
輪ゴム (SL1010-A 用)	100			2,550	
底屈補助バンパー (SL1010-A 用)	80			3,550	
底屈バンパー(硬度 40°) (M1025 用)	80			2,150	
底屈バンパー(硬度 50°) (M1025 用)	80			2,150	
底屈バンパー(硬度 60°) (M1025 用)	80			2,150	
アンテリアバンパー(踵高 0 mm)	100			3,550	
アンテリアバンパー(踵高 10 mm)	100			3,550	
背屈バンパー(硬度 40°) (M1025 用)	80			3,100	
背屈バンパー(硬度 50°) (M1025 用)	80			3,100	
背屈バンパー(硬度 70°) (M1025 用)	80			3,100	
ゴム座バンパー(硬度 50°) (M1025 用)	80			6,000	
ゴム座バンパー(硬度 60°) (M1025 用)	80			6,000	
ゴム座バンパー(硬度 70°) (M1025 用)	80			6,000	
F.J.足継手ゴム		NR ゴム	15	1,350	
ヒールバンパー				780	
ヒールアジャストカム				2,450	
球面ナット				800	
				500	
フットシェル 1C40 専用 修理交換用	特になし	ウレタン	185 (24cm)	11,600	
フットシェル 修理交換用	特になし	ウレタン	195 (24cm)	14,900	
オハイオ社フットカバー	160	Self Skinning Polyurethane foam	142 (23)	23,000	
フットシェル		イソシアナート / ポリウレタン		18,900	
デュラウォーク用フットカバー	160	Self Skinning Polyurethane foam	210 (25cm)	21,300	
EVO 専用フットカバー	166	ウレタン	180	27,200	
フレックスフットカバー	166	ウレタン	180	25,500	
スペクトラソックス	特になし	ガラス繊維		2,500	
オハイオ社スペクトラソックス			20	3,600	
スペクトラソック・カレッジパークフット用		ポリエチレン		3,000	
スペクトラソックス	166	ガラス繊維	31 サイズ 22-25	2,800	
トーションアダプター チューブ付	125	ステンレス	500	63,200	
トーションアダプター ソケットアダプター型	125	ステンレス	340	50,000	
トーションアダプター チューブクランプ 30 mm	100	ステンレス	350	56,400	
トーションアダプター チューブクランプ 34 mm	110	チタン	340	53,300	
トータルショック	100	アルミニウム合金	270	179,200	4 種の異なる硬度の鉛直方向、回旋方向のバンパーにより、装着者の体重、活動度に適した縦方向、ねじれ方向の力を緩衝する機能を有する
デルタツイスト	100	アルミ	340	296,500	

コード	名称	機能区分		機能概要	メーカー推奨適応活動レベル	メーカー名	メーカー品番
		立脚相制御	遊脚相制御				
P2130300				ターンテーブル下腿用	正座用回旋装置	啓愛	A2-12
P2130401C	足継手・足部一体型(小児用)	足継手・足部一体型	エネルギー蓄積を考慮したキール	他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている。足の形状をしている。	K3-K4	オズール	JRP0-size
						ラボック	C1170
						オットーボック	1E66
P2130501C	組合わせて使う足部(小児用)	足部	継手機能なし	足の形状をしている。	特になし	オットーボック	1K10
					特になし	オットーボック	1S30
						ラボック	C1100
P2130601C	組合わせて使う足継手(小児用)	足継手	固定継手	小児用足継手、他のコネクタやチューブなどと接続可能になっている	K2以下	啓愛	A1-15-1P
					K1-K3	オズール	AJ-833100
						ラボック	C1305
					特になし	オットーボック	2R40=1 及び 2R40=2
						ウィローウッド	PPF-1208
						徳林	TAC-00
	高崎	TG2075S					

メーカー部品名称等	使用者体重制限 (kg)	主な使用材料	重量 (g)	価格 (円) (基準価格)	特記事項
下腿正座用ターンテーブル		アルミ	290	25,600	製造中止予定
フレックスフットジュニア	45	カーボン	288	169,400	体重 45 キロまでの切断児に対応できる。構造的高さも 50 ミリ弱と低い
J・J(小児用 J-Foot 18～21cm)	45		225～305	94,400	
スプリングライト 小児用 13～21cm		カーボン	315 (15cm)	123,400	ダイナミックパイロン仕様 活動レベル:小児用の為設定なし
ダイナミックフット 小児用 14～21cm	35/45	木材・ウレタン	130 (15cm)	31,500	活動レベル:小児用の為設定なし、体重制限:サイズによる
SACH フット 小児用 指なし 12～13cm	35	木材・ウレタン	90 (12cm)	12,900	活動レベル:小児用の為設定なし
VIP(小児用足部 12～17cm)	30		85～165	56,800	
小児用(22mm 径チューブ仕様)SACH アダプター アルミ	40	アルミ	55	12,900	削除申請予定
小児用 SACH 足アダプタ	45	ステンレス・アルミ	54	17,400	
SACH アダプタ(小児用)	45	ステンレス	60	10,300	
SACH フット用アダプター小児用	35/45	アルミ・スチール	80/45	9,900	サイズによって重量・体重制限は異なる
小児用足継手	60	チタン	15	11,100	
小児用 SACH 足継手	70	アルミ	90	10,900	
TG2075 軽量用小児用				5,700	

3. 股継手、膝継手、足継手、足部等を繋ぐ部品 【ブロック、コネクタ、チューブ、クランプアダプタ】

コード	名称		機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
P3010101	接続部品	ブロック	ブロック	四つ穴取り付け	木やウレタンソケット埋め込み部と四つのネジ取付け穴の組み合わせ	オッターボック	5R1
						ウィローウッド	700-200
						ウィローウッド	700-250
						ホスマー	60267
						マインド	SLB210
						マインド	SLB220
						マインド	SLB230
						啓愛	A1-11
						高崎徳林	TG2113
						パワーファインド	TWB-4
						ブラッチフォード	189113
		フィラワー	124109				
P3020101	ソケットアダプタ	ソケット直結	ソケット直結	ピラミッドタイプ(オス)	ソケットに直結取り付ける部分とピラミッド(オス)による接続	ビー・オー・テック	POTEC DA-1
						啓愛	A-1-14-2SS
						啓愛	A-1-14-2TI
						啓愛	A-1-14-3TI
						啓愛	A-1-14-2AL
						ウィローウッド	FND-268001
						パワーファインド	G-018S
						オッターボック	4R68
						オッターボック	4R89
						オッターボック	4R63
						オッターボック	4R42
						オッターボック	4R100
						オッターボック	4R116
						オッターボック	4WR95=2
						オズール	A-135100
						ホスマー	60312
						ホスマー	60324
						ホスマー	60325
						ホスマー	60457
						ホスマー	60576
啓愛	K-CN14TI						
啓愛	K-CN14SS						
啓愛	K-CN14AL						
フィラワー	124181						
ラボック	M0240						
P3020102		ソケット直結	ソケット直結	ピラミッドタイプ(メス)	ソケット直結とピラミッド(メス)による接続	ウィローウッド	FND-268000
						オッターボック	4R41
						オッターボック	4R111
						オッターボック	4R119
オッターボック	4WR95=1						
P3020103		ソケット直結	36	ネジ	ソケット直結と36のメスネジによる接続	ラボック	M0232
						ラボック	M0233
						オズール	A-114030
						オズール	A-114040
						啓愛	K-CN13FTI
						啓愛	K-CN13SS
						ラボック	M0231-A
啓愛	A1-14-1FTI						

注) 表中の空白部分はメーカーの確認が取れていないもの

メーカー部品名称	使用者体 重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
ソケット取付用ブロック(大腿・下腿用)	125/150	木	155 -445	9,200	
ソケットブロック(発泡フォーム付)	115	コンポジット材	124	6,900	
ソケットブロック(発泡フォーム無し)	160	コンポジット材	67	6,900	
	136				
ソケットブロック	136	木	301	10,700	
ラミネートブロックスタンダード	136	樹脂	326	10,100	
ラミネートブロック凹型	136	樹脂	279	16,800	
ラミネートブロック薄型	136	樹脂	135	10,100	
ソケット取付用板	100	木	250	11,200	±6°の角度、360°の回転、±6mmの平行移動調節が可能 製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ソケット取付プレート(木製ブロック)		木		3,700	
木ブロック	100	木	620	7,500	
ソケット取付用ブロック	100	木	280	7,900	
アライメントアダプタ積層ソケット用 FOR LAM.SKT.	100 (K1-K4) 125 (K1-K3)	アルミ/木	612	56,700	
ソケット取付プレート(木製)				3,830	
チタン製ソケット直結用アダプター	80	チタン	55	36,500	
4長羽 穴あり ピラミッド ステンレス	100	ステンレス	95	8,800	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4短羽 穴あり ピラミッド チタン	100	チタン	55	19,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4短羽 穴なし ピラミッド チタン	100	チタン	60	19,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4短羽 穴あり ピラミッド アルミ	100	チタン・アルミ	65	14,200	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ソケット直結回旋付ピラミッドアダプタ(オス)	115	ステンレス	198	19,800	
ソケット直結アダプタ 回旋式メス	125	ステンレス	135	23,900	
下腿義足用ソケットアダプター アルミ	100	アルミ	70	17,800	
ラミネーションアンカーピラミッド回旋機構付	125	ステンレス	180	25,800	
下腿義足用ソケットアダプター ステンレス	136	ステンレス	85	10,900	
ソケットアダプター(ピラミッド付)	150	ステンレス	130	17,400	
下腿義足用ソケットアダプター チタン	100	チタン	40	24,700	
ラミネーションアンカーピラミッド回旋機構付	150	ステンレス	165	25,800	
ラミネーションアンカー ウォーターブルーフピラミッド	150	ステンレス	165	22,000	防水加工
雄ピラミッドソケット アダプタ	166	チタン	58	22,700	
AK 回旋付ソケットアダプター ピラミッドレシーバー	135	ステンレス	187	24,100	
BK ソケットアダプター	100	ステンレス	97	14,100	
AK ソケットアダプター ピラミッド	135	ステンレス	129	17,500	
BK ソケットアダプター 穴付き	100	ステンレス	93	14,800	
AK 回旋付ソケットアダプター	135	ステンレス	198	28,400	
4短羽コネクター穴明ピラミッド付 チタン	100	チタン	56	21,200	
4短羽コネクター穴明ピラミッド付 ステンレ	100	ステンレス	96	8,700	
4短羽コネクター穴明ピラミッド付 アルミ	100	アルミ	73	12,400	
ソケット取付台 BK 用				9,900	
支柱付ブラグ(M0261)を組込むことで吸着可	100	アルミ	150	27,000	
ソケット直結回旋付ピラミッドアダプタ(メス)	115	ステンレス	191	19,800	
ラミネーションアンカー(回旋機構付)	125	ステンレス	170	29,700	
ラミネーションアンカー調節ネジ・回旋機構付	150	ステンレス	155	29,700	
屈曲羽付きラミネーションアンカー回旋機構付	150	ステンレス	160	15,600	
ラミネーションアンカー ウォーターブルーフピラミッドレシーバー	150	ステンレス	165	23,400	防水加工
支柱つきねじ受金(薄型)(ステンレス)	100	アルミ	88	31,200	
強支柱つきねじ受金	100	ステンレス	192	42,600	
3長羽ソケット直結アダプタ	166	ステンレス	124	23,500	
4羽ソケット 直結アダプタ	166	チタン	158	23,500	
3長羽フレキシブル回旋ベース チタン	100	チタン	66	20,300	
3長羽回旋ベース ステンレス	100	ステンレス	120	19,000	
支柱つきねじ受金(薄型)(ステンレス)	100	ステンレス	130	38,300	
3長羽フレキシブル 回旋ベース チタン				14,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可

コード	名称	機能区分(構造)	機能概要	メーカー名		
P3020104		ソケット直結	四つ穴	ソケット直結と四穴による接続	啓愛	A1-14-1SS
					オズール	A-122100
					オットーボック	5R2
					オットーボック	5R6=1
					オットーボック	5R6=2
					オットーボック	5R6=3
					マインド	SSA230
					ラボック	M0275
					ラボック	M0290
					オズール	A-125100
オズール	M-100101					
	その他の TC 型 ソケット取付器 具					
P3020105		ソケット直結	皿受け接続	ソケット直結と受け皿タイプによる接続	ラボック	M0205
					ラボック	M0206
					ラボック	M0225
					ラボック	M0215
					ラボック	M0207
					ラボック	M0280
					ラボック	M0218
P3020106		ソケット直結	ボルト	ソケット直結とボルトによる接続	ブラッチフォード	189117
					ブラッチフォード	189118
					ブラッチフォード	189805
					ブラッチフォード	189807
					ブラッチフォード	189808
					ブラッチフォード	189907
P3020107		ソケット直結	その他	ソケット直結とその他の接続	啓愛	A1-11-1
					啓愛	A1-11-2
					啓愛	A1-11-3
					啓愛	A1-11-4
					徳林	TSC-A
					徳林	TSC-KD
					オットーボック	2G120
					オットーボック	4G70
					マインド	SLC300
					マインド	SSA210
					オットーボック	4R173
					フィラワー	124105
					ブラッチフォード	339140
					ブラッチフォード	019914
					高崎	TG2011
高崎	TG2012					
高崎	TG2013					

メーカー部品名称	使用者体 重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
3 長羽 回旋ベース ステンレス				20,700	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
4 穴ソケットアダプタ アルミ	100	ステンレス	70	13,700	
ラミネーションデスク	150	アルミ	70	4,900	
真空成型用ソケットアダプタ 大	100	アルミ	160	11,300	
真空成型用ソケットアダプタ 中	100	アルミ	135	11,300	
真空成型用ソケットアダプタ 小	100	アルミ	115	11,300	
	136	アルミ	49	6,200	
4 穴プレート	100	ステンレス	89	4,850	
ラミネーションアンカー	100	アルミ	55	20,100	
4 穴ソケットアダプタ チタン	166	アルミ	112	25,400	
MSS 専用コネクター	160	チタン	420	53,700	
				1,200	
支柱つき皿(8mm ボルト)	100	アルミ	217	9,500	
支柱つき皿(8mm ボルト)	100	アルミ	185	9,500	
支柱つき皿(膝離断用)	100	ステンレス	226	12,700	
サイム用支柱つき皿用(10mm ボルト)	100	ステンレス	100	10,600	
軽量支柱つき皿(チタン)	100	チタン	149	22,700	
サーモプラスチックソケットキット	100	ステンレス	S:119 M:133 L:148	9,500	
サイム用支柱つき皿用(J-Foot L)	100	ステンレス	166	15,600	
アライメントアダプタ・メタルソケット用 MET.SKT.100mm	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ	466	66,000	
アライメントアダプタ・メタルソケット用 MET.SKT.115mm	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ	528	66,000	
AK アライメントキット・短縮用 SHORTENING KIT 10mm	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ	61	13,700	
AK アライメントキット・伸張用 LENGTHENING KIT 10mm	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ	93	16,600	
AK アライメントキット・短縮用 SHORTENING KIT 5mm	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ	81	17,600	
BK アライメントキット・伸張用 LENGTHENING KIT 10mm	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ・チタン	122	16,600	
大腿 P.S.アダプター	100	ステンレス	170	9,500	
下腿 P.S.アダプター	100	ステンレス	150	9,500	
PP アダプター		ステンレス		15,600	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
PW アダプター		ステンレス		15,900	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
ワイヤーソケットコネクタ(大腿用)	100	アルミ	120	7,900	
L 字型ソケットコネクタ	100	アルミ	105	11,700	
ラミネーションアンカー1C20 用	125	ステンレス	120	33,300	
膝義足用ラミネーションアンカー	125	ステンレス	110	21,700	
Laminating Core	136	樹脂	160	9,700	
	136	チタン	71	31,200	
ピラミッドレシーバー 4R170 用	150	ステンレス	220	6300	
ユニバーサルカブリング付トッププレート				12,100	
下腿部中断端用アダプター 35mm BK STUMP ADAPTOR	100 (K1-K4) /125 (K1-K3)	アルミ	185	33,600	
股継手ソケットフィッティングキット・ポリプロ 用 E4BHD/POLYPROP	100	プラスチック	30 未満	66,000	
ソケット取付プレート膝直付け				3,450	
ソケット取付プレート(丸型)				4,700	
ソケット取付カップ				3,400	

コード	名称	機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
P3030101	コネクタ	四つ穴	ピラミッド(オス)	四つのネジ取付け穴とピラミッド(オス)による接続	高崎	TG2022
					高崎	TG2085
					高崎	TG2085S
					高崎	TG2112
					トゥルーライフ	P15122
					マインド	SCA290
					ラボック	M0273
					オズール	A-233100
					オットーボック	4R74
					啓愛	A1-14-5SS
					ダウ	GUPT-M4H
					ラボック	M0292
					啓愛	A1-14-5AL
					啓愛	A1-14-5TI
					啓愛	A1-14-6TI
					ウィローウッド	700 - SP471
					ウィローウッド	FND-227014
					ウィローウッド	FND-134125
					ウィローウッド	FND-134150
					ウィローウッド	FND-228003
					ウィローウッド	FND-994000
ウィローウッド	FND-994100					
ウィローウッド	FND-994105					
ウィローウッド	FND-994110					
オットーボック	4R23					
マインド	SCA216					
ホスマー	60254					
マインド	SCA210					
マインド	SCA214					
マインド	SCA260					
オットーボック	4R54					
オットーボック	4R73=A					
オットーボック	4R73=D					
オットーボック	4R77					
オズール	A-235100					
オズール	A-235300					
オズール	A-235400					
ホスマー	60416					
啓愛	K-CN24TI					
フィラワー	124180					
高崎	TG2201					
P3030102		四つ穴	ピラミッド(メス)	四つのネジ取付け穴とピラミッド(メス)による接続	ウィローウッド	FND-228002
					ウィローウッド	FND-227004
					オズール	A-242100
					オズール	A-245100
					オズール	A-245300
					オズール	A-242500
					オットーボック	4R22
					オットーボック	4R95
					オットーボック	4R55
					オットーボック	4R37
					オットーボック	4R51
					フィラワー	124108
					フィラワー	124107
					フィラワー	124114
					ホスマー	60435
					ホスマー	60293
					啓愛	A1-14-4TI
P3030103		四つ穴	その他	四つのネジ取付け穴とその他の接続	高崎	TG2202
					徳林	TSC-PSDC
					徳林	TSC-T
					オズール	A-322100
					徳林	TKC-S
					ラボック	M0270
ラボック	M0271					

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
ソケット取付プレート(あり溝用ラボック互換)				5,900	
角度付き受け皿(股離断用前傾角度付き)				6,200	
TG2085 軽量用				6,200	
ソケット取付プレート(羽根型)				7,000	
回転コネクターアジャスタブルハサミコミ(T1)				37,900	
	54	チタン	48	16,300	
4 穴プラグ	100	アルミ	64	14,200	
4 穴雄ピラミッド	100	アルミ	62	9,000	
ソケットアダプター ピラミッド付	100	アルミ	55	7,100	
4 穴 穴あり ピラミッド ステンレス	100	ステンレス	106	6,000	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4 ホールピラミッド(オス)	100	チタン	53	11,100	
回旋プラグつき 4 穴コネクタ	100	チタン	80	34,000	(M02-001 の使用で吸着可能)
4 穴 穴あり ピラミッド アルミ	100	チタン・アルミ	63	9,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4 穴 穴あり ピラミッド チタン	100	チタン	70	13,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4 穴 穴なし ピラミッド チタン	100	チタン	72	14,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
サクシオンピラミッド	115	チタン	64	21,500	
4 ホールピラミッド(オス)	115	チタン	56	14,400	
4 ホールスライドピラミッドアダプタ	115	チタン・アルミ	98	36,200	
4 ホールスライド回旋機能付ピラミッド	115	チタン・アルミ	99	41,100	
4 ホール回旋付ピラミッド(オス)	115	チタン・アルミ	57	17,400	
ラミネーション用 4 ホールピラミッド(オス)	115	チタン・カーボン	84	14,000	
4 ホールピラミッド(オス)	115	チタン・カーボン	68	12,600	
4 ホールピラミッド(オス) 5mm オフセット	115	チタン・カーボン	70	12,600	
4 ホールピラミッド(オス) 10mm オフセット	115	チタン・カーボン	71	12,600	
ソケットアダプター (ピラミッド付)	125	ステンレス	85	4,800	
チタンソケットピラミッド回旋機構付	136	ステンレス	134	29,800	
チタン 4 ホールピラミッド	135	チタン	50	19,600	
シヤトルソケットピラミッド	136	チタン	71	21,300	
ソケットアダプター	136	チタン	142	28,400	
シヤトルソケットピラミッド ステンレス	136	チタン	140	14,900	
ソケットアダプター (ピラミッド付) チタン	150	チタン	50	11,200	
オフセットソケットアダプター ピラミッド付	150	チタン	60	18,700	
オフセットソケットアダプター ピラミッド付	150	チタン	60	18,700	
ソケットアダプター ピラミッド回旋機構付	150	チタン	70	27,300	
4 穴オスピラミッド チタン	166	チタン	54	18,100	
四穴雄ピラミッド回旋式 チタン	166	チタン	72	34,500	
四穴雄ピラミッド 8mm オフセット	166	チタン	65	26,600	
ステン 4 ホールピラミッド	135	ステンレス	104	10,900	
4 穴コネクター 穴明ピラミッド付 チタン	100	チタン	71	13,900	
ソケット取付台ピラミッド付				9,900	
PY4 本ネジ				12,800	
4 ホール回旋付ピラミッド(メス)	115	チタン・アルミ	103	17,400	
4 ホールピラミッド(メス)	115	チタン	70	14,400	
4 穴雌ピラミッド アルミ	100	アルミ	46	10,500	
4 穴メスピラミッド チタン	166	チタン	64	24,900	
四穴雌ピラミッド回旋式チタン	166	チタン	76	29,200	
4 穴雌ピラミッド 20/20 オフセットアダプタ	100	アルミ	118	46,500	
ソケットアダプター (調節ネジ付)	125	ステンレス	85	6,100	
ソケットアダプター調節ネジ付 アルミ	100	アルミ	50	6,800	
ソケットアダプター (調節ネジ付) チタン	150	チタン	50	15,600	
ソケットアダプター (調節ネジ・回旋調節)	125	ステンレス	140	19,500	
ソケットアダプター (調節ネジ・回旋機構)	150	チタン	80	29,800	
ピラミッド取付台ネジ無				13,300	
ピラミッド取付台ネジ有				13,600	
回転台付ソケット取付台				15,600	
ステン回旋付アダプター	135	ステンレス	126	17,800	
チタン回旋付アダプター	135	チタン	82	19,600	
4 穴ピラミッドレシーバー チタン	100	チタン	81	17,800	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
PY 受け 4 本ネジ				12,800	
C.4 ホールソケットコネクタ	55	アルミ	40	6,200	
熱可塑性ソケットコネクタ	100	アルミ	55	4,600	
4 穴チューブクランプ	100	アルミ	52	13,200	
スライドコネクタ	100	アルミ	120	12,200	
4 穴すべり子	100	ステンレス	87	15,000	
4 穴ネジ受金	100	アルミ	43	14,200	

コード	名称	機能区分(構造)		機能概要	メーカー名		
					啓愛	A1-14-7TI	
					オズール	A-325100	
					フィラワー	124106	
					フィラワー	125298	
					フィラワー	124142	
					フィラワー	124141	
					フィラワー	124143	
					フィラワー	124140	
P3030201			ピラミッド(オス)	ピラミッド(オス)	ダブルアダプタ(オス-オス)	啓愛	K-CN23TI
						オットーボック	6A53
						オットーボック	4R76
						ラボック	M0550
						オットーボック	4R78
						オズール	A-533100
P3030202			ピラミッド(オス)	ピラミッド(メス)	ダブルアダプタ(オス-メス)	啓愛	A1-14-23SS
						啓愛	A1-14-23TI
						ラボック	M0545-34
						ラボック	M0545-38
						オットーボック	4R84
						ナブテスコ	N-D114
						オットーボック	6A54
						オズール	A-554700
P3030301			ピラミッド(メス)	ピラミッド(メス)	ダブルアダプタ(メス-メス)	高崎	TG2203
						啓愛	A1-14-16SS
						啓愛	A1-14-17SS
						啓愛	A1-14-18SS
						啓愛	A1-14-19SS
						ラボック	M0540-32
						ラボック	M0540-35
						ラボック	M0540-40
						ラボック	M0540-45
						ラボック	M0540-50
						ラボック	M0540-55
						ラボック	M0540-60
						啓愛	A1-14-16TI
						啓愛	A1-14-18TI
						啓愛	A1-14-19TI
						啓愛	A1-14-17TI
						ウィローウッド	FND-228032
						ウィローウッド	FND-228045
						ウィローウッド	FND-228060
						ウィローウッド	FND-228075
						オットーボック	4R72=32
オットーボック	4R72=45						
オットーボック	4R72=75						
オットーボック	4R72=60						
ホスマー	60306						
ホスマー	60439						
ホスマー	60440						
ホスマー	60441						
マインド	SCA221						
マインド	SCA222						
マインド	SCA223						
マインド	SCA224						

メーカー部品名称	使用者体 重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
4穴回旋ベース チタン	100	チタン	68	23,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
4穴チューブクランプ チタン	166	チタン	68	24,400	
接続プレートネジ付				8,500	
ソケット取付台ブラスチックソケット用				9,900	
APML スライドユニット トッププレート付				43,600	
APML スライドユニット ピラミッド付				44,900	
APML スライドユニット レシーバー付ユニッ				46,200	
APML スライドユニット ピラミッドトッププレ				50,200	
ト付					
4穴回旋ベース チタン	100	チタン	72	23,000	
スライドアダプター ピラミッド/ピラミッド	125	アルミ	180	32,600	一方向平行移動
ダブルピラミッドアダプター	150	ステンレス	95	9,000	
ダブルブラグ (Ti)	100	チタン	75	42,600	角度(両側)
ダブルピラミッドアダプター	150	ステンレス	115	7,800	
雄ピラミッドダブルアダプタ	100	ステンレス・ アルミ	84	19,700	
オスダブルアダプタ チタン	166	チタン	98	28,100	
ピラミッド付ピラミッドレシーバーSS	100	ステンレス	124	11,200	角度(両側) 製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ピラミッド付ピラミッドレシーバーTi	100	チタン	75	30,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ブラグつきジャック 34(Ti)	100	チタン	90	50,200	
ブラグつきジャック 38(Ti)	100	チタン	94	52,800	
ダブルアダプター ピラミッド調整ネジ付	150	チタン	115	16,800	
スライドコネクター	100	チタン	200	47,500	二方向平行移動
スライドアダプター ピラミッド/ピラミッドレ	150	アルミ	180	32,600	一方向平行移動
シーバー					
オスメスダブルアダプタオフセット付	100	ステンレス	153	44,800	
PY 十字アライメントアダプタ				29,800	
ダブルピラミッドレシーバー 32 SS	100	ステンレス	148	9,800	角度(両側) 製造中止 ただし平成28年度 まで修理対応可
ダブルピラミッドレシーバー 45 SS	100	ステンレス	164	10,800	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルピラミッドレシーバー 60 SS	100	ステンレス	193	11,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルピラミッドレシーバー 75 SS	100	ステンレス	209	13,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルジャック 32mm	100	アルミ	88	24,100	
ダブルジャック 35mm	100	アルミ	93	24,100	
ダブルジャック 40mm	100	アルミ	99	24,100	
ダブルジャック 45mm	100	アルミ	100	28,400	
ダブルジャック 50mm	100	アルミ	103	28,400	
ダブルジャック 55mm	100	アルミ	106	28,400	
ダブルジャック 60mm	100	アルミ	110	28,400	
ダブルピラミッドレシーバー 32mm チタン	100	チタン	88	25,800	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルピラミッドレシーバー 60mm チタン	100	チタン	112	26,800	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルピラミッドレシーバー 75mm チタン	100	チタン	128	27,300	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルピラミッドレシーバー 45mm Ti	100	チタン	100	30,500	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ダブルアダプタ(チタン) 32mm	136	チタン	82	18,400	
ダブルアダプタ(チタン) 45mm	136	チタン	92	19,400	
ダブルアダプタ(チタン) 60mm	136	チタン	107	20,400	
ダブルアダプタ(チタン) 75mm	136	チタン	126	21,300	
ダブルアダプター チタン 32mm	150	チタン	85	32,200	
ダブルアダプター チタン 45mm	150	チタン	95	32,200	
ダブルアダプター チタン 75mm	150	チタン	125	33,900	
ダブルアダプター チタン 60mm	150	チタン	110	33,500	
デュアルアダプター	136	チタン	80	39,900	高さ調整
デュアルアダプター	136	チタン	91	40,600	
デュアルアダプター	136	チタン	102	41,500	
デュアルアダプター	136	チタン	118	41,700	
ダブルクランプピラミッド 32mm	136	チタン	76	27,000	
ダブルクランプピラミッド 45mm	136	チタン	93	27,700	
ダブルクランプピラミッド 60mm	136	チタン	106	31,200	
ダブルクランプピラミッド 72mm	136	チタン	130	32,700	

コード	名称	機能区分(構造)	機能概要	メーカー名	
				ナブテスコ	N-D231
				オットーボック	4R104=60
				オットーボック	4R104=75
				オズール	A-542110
				オズール	A-542120
				オズール	A-542130
				オズール	A-542140
				オズール	A-545110
				オズール	A-545120
				オズール	A-545130
				オズール	A-545140
				啓愛	K-CN55H32TI
				啓愛	K-CN55H45TI
				啓愛	K-CN55H60TI
				啓愛	K-CN55H75TI
P3030401		36 オスネジピラミッドオス	36 オスネジピラミッドオス	啓愛	A1-14-8TI
				啓愛	A1-14-9TI
				ラボック	M0450
				ホスマー	60544
				オズール	A-134300
				オズール	A-135300
				啓愛	K-CN46TI
P3030402		36 オスネジピラミッドメス	36 オスネジピラミッドメス	ラボック	M0460
				オズール	A-145300
				オズール	A-144300
				オットーボック	4R44=L
				啓愛	A1-14-10SS
				啓愛	A1-14-10TI
				啓愛	K-CN45SS
				啓愛	K-CN45TI
P3030501		36 メスネジその他	36 メスネジとその他の接続	オズール	A-834300
				オットーボック	4R50
				オズール	A-845300
				オズール	A-122300
P3030601		すべり子	すべり子	ナブテスコ	N-S201
				ラボック	M0500-0
				ラボック	M0500-10 ~ 50
				ラボック	M0515
P3030701		ボルト	ボルト	徳林	TAH-1
				徳林	TAH-1 1/2
				徳林	TAH-1/2
				徳林	TAH-2
P3030801		その他	その他	徳林	TPS-M6
				オットーボック	4R170=1
				オットーボック	4R170=2
				ラボック	M0306
				ラボック	M02-001
				ラボック	M0310
				ラボック	M0328
				ラボック	M0320
				ラボック	M0462
				オットーボック	4R101
				ブラッチフォード	239017
				ブラッチフォード	189127

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
調整式デュアルコネクタ 60~75mm	100	チタン	170	47,500	高さ・回旋調整
スライド式ダブルアダプター 60mm チタン	100	チタン	215	30,200	一方向平行移動
スライド式ダブルアダプター 75mm チタン	100	チタン	225	31,200	一方向平行移動
ダブルアダプタ 32mm アルミ	100	アルミ	66	21,400	
ダブルアダプタ 45mm アルミ	100	アルミ	76	23,000	
ダブルアダプタ 60mm アルミ	100	アルミ	88	24,200	
ダブルアダプタ 75mm アルミ	100	アルミ	100	25,900	
メスダブルアダプタ 32mm チタン	166	チタン	90	41,000	
メスダブルアダプタ 45mm チタン	166	チタン	102	42,600	
メスダブルアダプタ 60mm チタン	166	チタン	119	42,600	
メスダブルアダプタ 75mm チタン	166	チタン	135	42,600	
ダブルピラミッドレシーバー 32mm チタン	100	チタン	93	26,300	
ダブルピラミッドレシーバー 45mm チタン	100	チタン	105	28,100	
ダブルピラミッドレシーバー 60mm チタン	100	チタン	115	30,100	
ダブルピラミッドレシーバー 75mm チタン	100	チタン	135	31,900	
回旋 穴あり ピラミッド チタン	100	チタン	38	12,500	角度(片側のみ)・回旋調整 製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
回旋 穴なし ピラミッド チタン	100	チタン	46	12,500	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ねじつきプラグ	100	チタン	100	14,200	
ステンソケット用ピラミッドアダプタ	136	ステンレス	90	23,600	高さ調整
直結アダプタ用ピラミッド ステンレス	100	ステンレス・アルミ	94	10,900	
ソケット直結オスピラミッド チタン	166	チタン	56	25,400	
回旋穴明ピラミッド チタン	100	チタン	38	16,100	
ねじつきジャック	100	チタン	46	17,800	
直結アダプタ用ピラミッド チタン	166	チタン	53	29,900	
ソケット直結メスピラミッド	100	ステンレス	38	45,000	
ピラミッドレシーバー ネジ式	150	ステンレス	210	11,700	角度(片側のみ)・回旋・高さ調整
回旋ピラミッドレシーバー ステンレス	100	ステンレス	106	15,600	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
回旋ピラミッドレシーバー チタン	100	チタン	70	23,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
回旋ピラミッドレシーバー ステンレス	100	ステンレス	76	13,700	
回旋ピラミッドレシーバー チタン	100	チタン	50	22,000	
トータルニール用近位ステンレスピラミッド	100	ステンレス	111	28,400	
ピラミッドアダプター ネジ式	150	チタン	70	26,900	回旋調整
トータルニール用近位メスピラミッド チタン	166	チタン	80	26,400	
ユーロ4穴アダプタ	100	アルミ	70	15,000	
スライディングプレート	100	チタン	39	15,300	
十字すべり子(0mm)	70	アルミ	24	3,000	
十字すべり子(10、20、30、40、50mm)	70	アルミ	10 - 49g 20-87g 30-98g 40-111g 50-121g	9,500	
十字すべり子延長継手(50mm)	70	アルミ	142	9,500	
スペーサー(1インチ)	100	アルミ	95	2,500	
スペーサー(1 1/2インチ)	100	アルミ	105	3,600	
スペーサー(1/2インチ)	100	アルミ	85	1,800	
スペーサー(2インチ)	100	アルミ	160	3,600	
ピラミッドアダプタ凸	100	アルミ	100	9,600	回旋調整
ソケットスライドアダプター 大	150	ステンレス	550	24,100	角度・一方向の移動
ソケットスライドアダプター 小	150	ステンレス	440	24,100	
すべり溝つき皿受	70	アルミ	102	7,700	角度(片側のみ)・回旋調整・一方向平行移動
M0292 用吸着ピラミッドキット	100			9,900	
パイプ継手つき皿受	100	アルミ	83	6,400	
サイム用皿受(J-Foot L)	100	アルミ	46	5,400	
サイム用皿受	70	アルミ	54	2,800	
すべり溝つきピラミッドジャック	80	アルミ	96	17,800	角度(片側のみ)・一方向平行移動
スライディングアダプター アルミ	100	アルミ	205	25,800	二方向平行移動
膝継手上部取付ピラミッド PYRAMID ADAPTOR CaSTANCE SHIN	166	アルミ・ステンレス	50	22,100	
膝継手上部取付ピラミッド FULL ALIGN. PYRAMID	100(K1-K4)/125(K1-K3)	アルミ・ステンレス	103	37,900	

コード	名称		機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
						ラボック	M0452
						ホスマー	60950
						ホスマー	60951
						ホスマー	60952
						ホスマー	60953
						ホスマー	60955
						ホスマー	60956
						ホスマー	60954
						オッターボックス	6A41
						マインド	SCA211
						マインド	SCA215
						マインド	SCA233
						マインド	SFS210
						マインド	SFS220
						マインド	SFS221
						Proteor	1K160
						ウィロウウッド	FND-135105
						ウィロウウッド	FND-135107
						オズール	L-180001
						徳林	TWP-A2
						徳林	TWP-AP2
						ナブテスコ	N-J201
						フリーダムイノ ベーションズ	AC124
						オズール	A-342430
						高崎	TG2025
						高崎	TG2025S
						高崎	TG2026
						高崎	TG2026S
						高崎	TG2030
						高崎	TG2031
						高崎	TG2032
						高崎	TG2035
						高崎	TG2035S
						高崎	TG2036
						高崎	TG2036S
						高崎	TG2045
						高崎	TG2045S
						高崎	TG2055
						高崎	TG2055S
						高崎	TG2116
						高崎	TG3027
P3040101	接続部品	チューブ	30 チューブ	ピラミッド(メ ス)	30 チューブと他端か ピラミッド(メス)による接 続	オッターボックス	2R2
						オッターボックス	2R3
						オッターボックス	2R37
						オッターボックス	2R38
						オッターボックス	2R49
						オッターボックス	2R50
						オッターボックス	4R72=D
						ラボック	M0870
						ラボック	M0871
						ラボック	M0463
						ラボック	M0860
						オズール	A-442100
						オズール	A-742010
						オズール	A-742020
						ナブテスコ	N-P221
						マインド	SPA200-B
						ホスマー	60429
						ホスマー	60430
						マインド	SSL250-BX
						マインド	SSL260-B1
						マインド	SSL260-B2
						マインド	SSL260-B3
						マインド	SSL250-AX
						ホスマー	60245
						ホスマー	60246
						ホスマー	60558

メーカー部品名称	使用者体 重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
すべり子つきピラミッドブラグ	100	ステンレス	101	15,600	
ピラミッドレシーバー凹溝付	100	ステンレス	76	22,400	
ピラミッドレシーバー凸溝付	100	ステンレス	73	20,900	
ピラミッド凹溝付	100	ステンレス	65	22,400	
ピラミッド凸溝付	100	ステンレス	144	20,900	
凸凹アダプター	100	ステンレス	74	20,900	
4ホールプレート凸溝付	100	ステンレス	54	20,900	
30mmチューブクランプアダプター凹溝付	100	アルミ	82	22,400	
スライディングプレート	125	アルミ	105	15,600	一方向平行移動
	136	チタン	71	4,250	高さ調整
ALS アダプター				42,300	製造中止のため次回申請時削除
チタンラミネーションアダプター	136	チタン	52	24,700	
フットスペーサー	136	樹脂	111	6,100	
フットスペーサー	136	樹脂	111	6,400	
フットスペーサー	136	樹脂	111	6,800	
ニューコネクタ	100	ステンレス・ アルミ	70	13,900	
フォワードアングルオフセットプレート	115	アルミ	53	11,400	
リバースアングルオフセットプレート	115	アルミ	54	11,400	
アイスロック 100 注型キット	-	アルミ	98	23,200	
ウェッジプレート(金属製・大腿用)	100	アルミ	65	1,400	
ウェッジプレート(プラスチック・大腿用)	100	プラスチック	30	700	
アッパージョイント	100	ステンレス	199	17,000	
シルエット用インサート		ナイロン樹脂	50	17,800	
固定式 14.5mm オフセットアダプタ				60,300	
ターンテーブル上受け皿				5,800	
TG2025 軽量用				5,700	
パイプクランプアダプタ斜面円盤用球面付き				6,800	
TG2026 軽量用				6,800	
アライメントアダプタ十字スライド付き				25,200	
コンパクトアライメントアダプタ(軽量主に下 腿用)				16,100	
TG2031 用ソケットプレート				4,400	
膝直付け用アライメント受け皿				4,600	
TG2035 軽量用				4,600	
パイプ内部型アダプタ(ターンテーブルとパ イプを結合)				4,600	
TG2036 軽量用				4,600	
パイプ直付け受け皿				5,400	
TG2045 軽量用				5,400	
ソケット用受け皿				10,300	
TG2055 軽量用				10,300	
十字スライダアタッチメント				5,900	
下腿用球面アダプター				7,300	
ショートチューブアダプター(200mm)	100	ステンレス	195	12,500	
ロングチューブアダプター(400mm)	100	ステンレス	315	13,100	
ショートチューブアダプター チタン	100	チタン	160	21,400	
ロングチューブアダプター チタン	100	チタン	275	22,600	
チューブクランプアダプター ロング アルミ	100	アルミ	240	21,600	
チューブアダプター ショート アルミ	100	アルミ	155	19,300	
コネクションアダプター 30mm 調整ネジ付	150	ステンレス・ チタン	70/150	20,300	
ジャック付パイプ(250mm)	100	チタン・アルミ	190	62,000	角度・高さ
ジャック付パイプ(500mm)	100	チタン・アルミ	308	66,600	角度・高さ
パイロンジャック	100	アルミ	75	14,200	角度・高さ
ジャック付カーボンパイプ	100	アルミ・カーボン	213	44,900	角度・高さ
雌シングルアダプタ アルミ	100	アルミ	86	31,300	
雌パイロン 250mm アルミ	100	アルミ	199	16,400	
雌パイロン 400mm アルミ	100	アルミ	280	18,000	
アダプタ付パイプ 30	100	チタン・アルミ	255	22,700	
アルミパイロン	136	アルミ	280	19,900	
400mm チューブアダプター スチール	136	ステンレス	350	17,000	
300mm チューブアダプター スチール	136	ステンレス	286	16,600	
セレクトパイロン クランプ付パイプ	166	ステンレス	186	42,300	コソシット素材
セレクトパイロン	18	ステンレス	186	22,700	コソシット素材
セレクトパイロン	34	ステンレス	186	22,700	コソシット素材
セレクトパイロン	54	ステンレス	186	22,700	コソシット素材
セレクトパイロン フレア付パイプ	136	ステンレス	186	36,600	端部:特殊形状、コソシット素材
400mm チューブアダプター チタン	136	チタン	321	28,500	
300mm チューブクランプアダプター チタン	136	チタン	258	28,100	
ショートチューブアダプター チタン	136	チタン	110	40,900	

コード	名称		機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
						オズール	A-746010
						オズール	A-746020
						オズール	A-445100
						マインド	SPA200-M
						オットーボック	2R38=10
						啓愛	K-TB58SS
						啓愛	K-TB58AL
						啓愛	K-TB58TI
						啓愛	K-TB58H100TI
						フィラワー	124119
						フィラワー	124121
						フィラワー	124127
						フィラワー	124137
						啓愛	A1-14-15AL
啓愛	A1-14-15SS						
啓愛	A1-14-15TI						
啓愛	A1-14-20TI						
P3040102			30 チューブ	ピラミッド(メオ)	30 チューブと他端がピラミッド(オス)による接続	オットーボック	4R84=D
						ラボック	M0451
						ラボック	M0453
						ラボック	M0451-40
						オズール	A-433110
						オズール	A-733020
						オズール	A-433120
						オズール	A-435110
						オズール	A-435120
P3040103			30 チューブ	30 チューブ	両端チューブのまま	啓愛	A1-12-1
						啓愛	A1-12-2
						啓愛	A1-14-21AL
						啓愛	A1-14-22AL
						ラボック	M0820
						ラボック	M0821
						ラボック	SL0810
						ラボック	SL0811
						徳林	TTG-14
						徳林	TTT-17
						ホスマー	60550
						マインド	SSL250-PX
						マインド	SPA200-P
						オズール	A-712010
						オズール	A-712020
						高崎	TG2018
						高崎	TG2019
						高崎	TG2020
						高崎	TG2119
						啓愛	K-TB88AL
						フィラワー	125032
						フィラワー	238024
P3040104			30 チューブ	その他	チューブと他端は様々な接続	ラボック	M0330
						ラボック	M0333
						ラボック	M0520
						オズール	A-421100
						マインド	SPA200-F
						マインド	SAS210
P3040201			34 チューブ	ピラミッド(メス)	34 チューブと他端がピラミッド(メス)による接続	オットーボック	4R75=D-70
						オットーボック	2R57
						オットーボック	2R58
						オットーボック	2R82
						オットーボック	2R81
						オットーボック	2WR95
						オットーボック	2WR95 = 1

メーカー部品名称	使用者体 重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
メスパイロン ショート チタン製 チューブク ランプ / カーボンチューブ	166	チタン	250	28,100	
メスパイロン ロング チタン製 チューブク ランプ / カーボンチューブ	166	チタン		29,800	
メスシングルアダプタ チタン	166	チタン	118	40,600	
アルミパイロン	136	アルミ	272	25,600	コンポジット素材
傾斜角付チューブアダプター	100	チタン	275	21,800	
チューブクランプアダプター ステンレス	100	ステンレス/アルミ	334	12,900	
チューブクランプアダプター アルミ	100	アルミ	300	16,800	
チューブクランプアダプター チタン	100	チタン/アルミ	302	22,400	
ピラミッドレシーバー付アダプター 100mm 長 チタン	100	チタン	132	28,400	
パイロンチューブ 250mm チタンアダプタ付				23,000	
パイロンチューブ 250mm アルミアダプタ付				15,600	
パイロンチューブ 430mm アルミアダプタ付				16,300	
パイロンチューブ 430mm チタンアダプタ付				23,400	
アルミピラミッドレシーバー付 30mm 径アル ミチューブ	100	アルミ	300	17,300	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応 可
ステンレスピラミッドレシーバー付 30mm 径 アルミチューブ	100	ステンレス/ アルミ	334	10,500	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応 可
チタンピラミッドレシーバー付 30mm 径アル ミチューブ	100	チタン/アルミ	302	18,200	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応 可
チタンピラミッドレシーバー付 30mm 径チタ ンチューブ	100	チタン	132	28,400	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応 可
ピラミッドパイプ	150	チタン	65	18,400	
ピラミッドブラグ	100	アルミ	61	11,400	
パイロンブラグ	100	アルミ	87	15,600	
ブラグ(M1002 用)	100	アルミ	73	11,400	
雄シングルアダプタ 50mm アルミ	100	アルミ	60	20,300	
雄パイロン 400mm アルミ	100	アルミ		15,300	
雄シングルアダプタ 77mm アルミ	100	アルミ	86	24,200	
オスシングルアダプタショート チタン	166	チタン	80	38,100	
オスシングルアダプタロング チタン	166	チタン	103	41,600	
30mm 径アルミチューブ 200mm 長	100	アルミ	94	900	
30mm 径アルミチューブ 400mm 長	100	アルミ	186	1,750	
30mm 径アルミチューブ 385mm 長	100	アルミ	233	8,800	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応 可
30mm 径アルミチューブ 910mm 長	100	アルミ	537	11,800	製造中止 ただし平成 28 年度まで修理対応 可
パイプ(L=250mm)	100	アルミ	122	4,100	
パイプ(L=500mm)	100	アルミ	244	8,300	
チタンフィルム入りカーボンパイプ	100	カーボン	90	21,400	
チタンフィルム入りカーボンパイプ	100	カーボン	163	35,600	
グラファイトパイプ	100	カーボン	131	20,700	
チューブ	100	アルミ	260	3,400	
チューブ	136	ステンレス	572	9,700	
セレクトパイロン ストレートパイプ	136	コンポジット 素材	126	25,300	
アルミパイロン	136	コンポジット 素材	219	3,400	
パイロンチューブショート	100	アルミ		15,600	
パイロンチューブロング	100	アルミ	204	16,300	
パイプ(長さ = 300mm)				2,250	
パイプ(長さ = 400mm)				3,000	
パイプ 25 (長さ = 400mm)				2,300	
パイプ(長さ = 250mm)				2,250	
チューブ アルミ	100	アルミ	233	8,000	
パイロンチューブ 250mm				2,150	
パイロンチューブ 900mm				6,800	
皿受つきパイプ(L=200mm)	70	アルミ	133	7,100	
皿受つきカーボンパイプ	100	アルミ・カーボン	105	25,600	
すべり子つきパイプ(L=200mm)	70	アルミ	150	7,200	
4 穴シングルアダプタ アルミ	100	アルミ		23,100	
アルミパイロン	102	アルミ	317	22,700	コンポジット素材
アングルパイプ	136	樹脂	294	38,400	
コネクションアダプター 34mm	150	ステンレス	170	13,400	
チューブアダプター 34mm ショート	150	チタン	220	25,600	
チューブアダプター 34mm ロング	150	チタン	330	23,200	
チューブアダプター C レッグ用	150	チタン	178-256	205,700	センサー内蔵
トーションアダプター C レッグ用	150	チタン	438-482	242,000	センサー内蔵
チューブアダプター ウォーターブルーフ 34	150	チタン	330	22,000	防水加工
傾斜角付チューブアダプター ウォーターブ ルーフ 34	150	チタン	330	23,400	防水加工

コード	名称		機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
						ナブテスコ	N-P113
						ナブテスコ	N-P112
						プロテオール	N-P444
P3040202			34 チューブ	30 チューブ	34 チューブと 3 チューブ	ナブテスコ	N-P233
P3040203					両端 34 チューブ	オットーボック	2R36
						ナブテスコ	N-P135
						プロテオール	N-P465
P3050101	接続部品	クランプアダプタ	30 チューブ クランプアダプタ	ピラミッド(オス)	30 チューブ用のクランプアダプタ、他端はピラミッド(オス)接続	オズール	A-335100
						オズール	A-333100
						オズール	A-342100
						ラボック	M0455
						啓愛	A1-14-24SS
						啓愛	A1-14-24TI
P3050102			30 チューブ クランプアダプタ	ピラミッド(メス)	30 チューブ用のクランプアダプタ、他端はピラミッド(メス)接続	啓愛	A1-14-14AL
						啓愛	A1-14-14SS
						啓愛	A1-14-14TI
						ウィローウッド	FND-130030
						ウィローウッド	FND-220030
						ダウ	GUPT-FCLAMP
						ナブテスコ	N-D222
						ピー・オー・テック	POTEC CA-1
						ラボック	M0468
						オズール	A-345100
						オットーボック	4R21
						オットーボック	4R52
						オットーボック	4R69
						ラボック	M0461
						ラボック	M0471
						マインド	SCA270
						啓愛	K-CA75AL
						啓愛	K-CA75SS
						啓愛	K-CA75TI
						マインド	SCA220
						マインド	SCA225
						マインド	SCA232
						ホスマー	60247
						ホスマー	60400
						徳林	TKC-01BK
						オットーボック	4R56
						オットーボック	4R98
						オットーボック	4R103
						啓愛	A1-14-11TI
						啓愛	A1-14-12TI
						啓愛	A1-14-13TI
						啓愛	K-CA75A10TI
						啓愛	K-CA75O5TI
啓愛	K-CA75SLTI						
高崎	TG2200						
P3050103			30 チューブ クランプアダプタ	その他	30 チューブ用のクランプアダプタ、その他の接続	啓愛	A1-3
						ラボック	M0900
						ラボック	M0412
						高崎	TG2005
						高崎	TG2006
						高崎	TG2016

メーカー部品名称	使用者体 重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
アダプタ付パイプ 34	100	アルミ	111	24,100	
アダプタ付パイプ 34	100	ステンレス ・アルミ	298	15,900	
アダプタ付パイプ 34 アルミ 125kg 対応	125	アルミ	121	29,800	
段付パイプ(34- 30)	100	アルミ	144	15,900	
大腿用チューブ 34mm 150kg 対応	150	アルミ	210	10,600	
ストレートパイプ(34)	100	アルミ	159	2,800	
ストレートパイプ 34 420mm アルミ 125kg 対応	125	アルミ	235	13,400	
オスピラミッド付チューブクランプ チタン	166	チタン	82	21,300	
雄ピラミッド付チューブクランプ アルミ	100	アルミ	62	13,700	
チューブクランプ アルミ	100	アルミ	64	26,400	
パイプ継手つきブラグ	100	アルミ	74	24,100	
チューブクランプ SS(ピラミッド付)	100	ステンレス	95	14,800	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
チューブクランプ TI(ピラミッド付)	100	チタン	58	30,700	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ピラミッドレシーバー 30mm チューブクランプ アルミ	100	アルミ	85	20,200	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ピラミッドレシーバー 31mm チューブクランプ ステンレス	100	ステンレス	126	8,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ピラミッドレシーバー 32mm チューブクランプ チタン	100	チタン	80	23,900	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
クランプアダプタ アルミ	115	アルミ	86	8,900	
クランプアダプタ	115	チタン	100	18,400	
クランプアダプタ	100	チタン	81	13,500	
パイプアダプタ(30)チタン合金	100	チタン	78	29,800	
チタン製クランプアダプター	80	チタン	75	42,100	
傾斜つきピラミッドジャック(8°)	100	アルミ	114	26,300	
メスピラミッド付チューブクランプ チタン	166	チタン	78	26,500	
チューブクランプアダプター	100	ステンレス	130	11,100	
チューブクランプアダプター チタン	100	チタン	75	29,700	
チューブクランプアダプター アルミ	100	アルミ	75	25,100	
パイプ継手つきピラミッドジャック(アルミクランプアダプタ)	100	アルミ	70	23,800	
パイプ継手付ジャック(Ti)(チタンクランプアダプタ)	100	チタン	73	46,200	
ステンレスチューブクランプ	136	ステンレス	109	16,000	
チューブクランプ 30mm アルミ	100	アルミ	85	17,300	
チューブクランプ 30mm ステンレス	100	ステンレス	138	10,900	
チューブクランプ 30mm チタン	100	チタン	81	26,100	
チタンチューブクランプ	136	チタン	77	35,500	
チューブクランプ アルミクランプ付	136	チタン	69	28,700	次回申請時部品名称変更
チタンラミネーションアダプター	100	チタン	53	24,700	
チタンチューブアダプター	135	チタン	61	32,200	
ステンチューブアダプター	135	ステンレス	108	15,200	
グラファイトピラミッドクランプアダプタ	100	アルミ	78	13,400	
傾斜角付クランプアダプター チタン	100	チタン	85/100	35,500	傾斜付き
スライド式クランプアダプター 30mm	75	アルミ	150	32,700	スライド機能付き
スライド式クランプアダプター チタン	85	チタン	185	42,600	スライド機能付き
ピラミッドレシーバー30mm チューブクランプ 5mm オフセット チタン	100	チタン	100	25,600	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可 オフセット付き
ピラミッドレシーバー30mm チューブクランプ 10° 傾斜 チタン	100	チタン	82	28,400	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可 傾斜付き
ピラミッドレシーバー30mm チューブクランプ スライド機構 チタン	100	チタン	82	42,600	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可 スライド機能付き
チューブクランプ 10° 傾斜 チタン	100	チタン	83	35,200	傾斜付き
チューブクランプ 5mm オフセット チタン	100	チタン	102	32,600	オフセット付き
スライドチューブクランプ 30mm チタン	100	チタン	179	52,700	スライド機能付き
PY アライメントアダプタ上部			74	19,200	
ソケットアタッチメント	100	アルミ /ステンレス	194	18,700	
アライメントスリーブ(メタル)	100	アルミ	56	5,800	
すべり子つきパイプ継手	70	ステンレス	176	24,400	
アライメントアダプタ(角度調製用パイプアダプタ)			98	17,800	
パイプクランプアダプタ(アライメント調製無十字スライダーアタッチメント(ラロック滑り子結合))			61	7,400	
			81	9,700	

コード	名称		機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	
						高崎	TG2086
						高崎	TG3024
P3050201			34 チューブ クランプアダ プタ	ピラミッド(オ ス)	34 用・ピラミッド(オス)	オッターボックス	4R82=P
P3050202			34 チューブ クランプアダ プタ	ピラミッド(メ ス)	34 用・ピラミッド(メス)	ハウアーファインド	G-017
						オッターボックス	4R156
						オッターボックス	4R156=1
						オッターボックス	4R156=2
						オッターボックス	4R82
						オッターボックス	4R91
						オッターボックス	4WR95=3
						ナブテスコ	N-D111
						フリーダムイノ ベーションズ	AC123
						プロテオール	N-D431
						オッターボックス	4R88
P3050301			25 チューブ クランプアダ プタ	その他	25 チューブ用のクラン プアダプタ、その他の接 続	高崎	TG2005S
						高崎	TG2006S
						高崎	TG2016S
						高崎	TG2086S
P3030101C	接続部品 (小児用)	ブロック	ブロック	四つ穴取り付 け	木やウレタンのソケット埋 め込み部と四つのネジ取 付け穴	オッターボックス	5R9
						ウィローウッド	PPF-700-250
						ウィローウッド	700-250
						マインド	SLB240
						徳林	TWB-C
P3030201C		ソケットアダ プタ	ソケットアダ プタ	その他	ソケットアダプタ・四つの ネジ取付け穴	オズール	AJ-122100
						啓愛	A1-14-2PAL
						ラボック	C0200
						オズール	AJ-114040
						オッターボックス	4R110
P3030301C		コネクタ	その他	その他	ボルト ピラミッドオス	ラボック	C0300
						ラボック	C0350
						オッターボックス	4R60
						オズール	AJ-133300
						オズール	AJ-233100
						オズール	AJ-142300
						オズール	AJ-242100
						オズール	AJ-11404
						オズール	AJ-831300
						徳林	TSC-WC
						ウィローウッド	PPF-137004
						ウィローウッド	PPF-GKIT
						ウィローウッド	PPF-138027
						ウィローウッド	PPF-138051
						ウィローウッド	PPF-227014
						ウィローウッド	PPF-SP471
						徳林	TWP-C2
						ブラッチフォード	019145
P3040101C		チューブ	20 チューブ	ピラミッド(メ ス)	チューブと他端が - ピラ ミッド(メス) による接続	オッターボックス	2R41=1 及び 2R4
						オッターボックス	2R48
						啓愛	A1-14-15PAL
						ラボック	C0463
P3040102C			20 チューブ	ピラミッド(オ ス)	チューブと他端が ピラ ミッド(オス) による接続	オズール	AJ-712010
P3040103C			20 チューブ	チューブ	両側チューブ	ラボック	C0801
						ウィローウッド	PPF-130030
						徳林	TTC-15
P3040104C			20 チューブ	その他	チューブと他端は様々な 接続	ブラッチフォード	330129
						ブラッチフォード	330130
P3050100C		クランプアダ プタ	22 チューブクランプアダ プタ		小児用	オッターボックス	4R66
						オズール	AJ-342100

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
パイプクランプバンド型 斜面円盤(軽量アライメント調整用)			20	3,300 2,200	
ピラミッド付チューブクランプアダプター 34mm チタン	150	チタン	90	24,200	
クランプアダプター チタン製 30	100	チタン	69	20,800	
傾斜角付クランプアダプター 34mm 10°	150	チタン	140	53,300	傾斜付き
傾斜角付クランプアダプター 34mm 20°	150	チタン	165	53,300	傾斜付き
傾斜角付クランプアダプター 34mm 30°	150	チタン	175	53,300	傾斜付き
チューブクランプアダプター 34mm チタン	150	チタン	95	33,100	
チューブクランプアダプター 34mm ステンレス	150	ステンレス	140	8,000	
クランプアダプター ウォーターブルーフ 34	150	チタン	105	26,900	防水加工
パイプアダプター(34) ステンレス合金	100	ステンレス	151	12,400	
シルエット用コネクタ	100	チタン	100	26,300	
パイプアダプター 34 アルミ 125kg 対応	125	アルミ	120	26,900	
スライド式クランプアダプター 34mm	100	チタン	185	31,200	スライド機能あり
アライメントアダプター 25mmパイプ用				15,700	
パイプクランプアダプター(25mmパイプ用)				7,400	
TG2016 軽量用				9,700	
TG2086 軽量用				3,300	
ソケット取り付けブロック 小児用	45	プラスチック	125	3,800	
小児用ソケットブロック	60	コンボジット	33	6,900	
小児用ソケットブロック				6,900	
ラミネートブロック子供用	65	樹脂	93	9,900	
小児用木ブロック	100	木	76	3,100	
ジュニア用 4 穴ソケットアダプター				9,900	
小児用(22mm 径チューブ仕様) 4 短羽穴あり ピラミッド アルミ	40	チタン・アルミ	39	12,900	高さ調整 製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
ソケットホルダ(小児用)	45	ステンレス	73	12,700	回旋調整
小児用ソケットコネクタ(長断端用)	45	ステンレス	79	18,300	
ソケットアダプター 小児用回旋機構付	45	アルミ	55	31,900	
ソケットプラグ(小児用)	45	ステンレス	55	19,900	角度(片側のみ)・回旋調整
ソケットジャック(小児用)	45	ステンレス	43	19,900	
ソケットアダプター(調整ネジ付)小児用	45	アルミ	45	9,600	角度(片側のみ)調整
ジュニア用ソケット直結オスピラミッド	45	ステンレス ・アルミ	36	14,200	
ジュニア用 4 穴オスピラミッド	45	ステンレス ・アルミ	39	14,200	
ジュニア用ソケット直結メスピラミッド	45	アルミ	36	9,500	
小児用 4 穴雌ピラミッド	45	アルミ	34	14,200	
小児用ソケットコネクタ(長断端用)	45	ステンレス	79	18,300	
小児用ピラミッドアダプター	45	チタン・アルミ	41	24,100	
小児用ワイヤーソケットコネクタ(大腿用)	55	アルミ	65	7,900	
小児用 4 ホールピラミッド(メス)	60	アルミ	30	14,300	
小児用グロウスキット	60	アルミ	18.2	17,500	
小児用ダブルアダプター(27mm)	60	アルミ	44	15,900	
小児用ダブルアダプター(51mm)	60	アルミ	65	17,500	
小児用 4 ホールピラミッド(オス)	60	チタン	30	14,300	
小児用サクションピラミッド	60	チタン	33	14,900	
小児用ウェッジプレート	100		10	600	
ソケットアダプター-BK 子供用 DEMOUNTABLE BK 25mm	60	アルミ・カーボン	225	66,000	
チューブアダプター 小児用	45/35	アルミ	140 /125	9,900	
傾斜角付チューブアダプター	45	アルミ	105	9,700	
小児用(22mm 径チューブ仕様)アルミピラミッド ドレーパー付 22mm 径アルミチューブ	40	アルミ	60	12,900	角度・回旋
パイロンジャック(小児用)	45	アルミ	46	14,200	角度・高さ
小児用チューブ	45	アルミ	104	24,100	
パイプ(L=400mm)(小児用 22)	45	アルミ	140	4,250	
小児用チューブ	60	アルミ	119	5,700	
小児用チューブ	55	アルミ	140	2,100	
カーボンパイプ子供用 25×180 mm C/FIBRE TUBE	60	カーボン	不明	14,200	
カーボンパイプ子供用 25×300 mm T-F SYSTEM CARBON TUBE	60	カーボン	不明	31,300	
チューブクランプアダプター小児用	45	アルミ	45	9,200	
小児用クランプアダプター	45	アルミ	48	17,000	

コード	名称		機能区分(構造)	機能概要		メーカー名	
						啓愛	A1-14-14PAL
						オハイオ	PPF-130000
						徳林	TBC-0
						ラボック	C0461
						ラボック	C0464
						ラボック	C0468
						ラボック	C0900
						フィラワー	124170
						フィラワー	125101
						フィラワー	125106
						マインド	SCA292

メーカー部品名称	使用者体重制限	主な使用材料	重量(g)	価格(円) (基準価格)	特記事項
小児用(22mm径チューブ仕様)ピラミッドレシーバー22mm径クランプアルミ	40	アルミ	31	12,100	製造中止 ただし平成28年度まで修理対応可
小児用クランプアダプタ	60	アルミ	45	12,800	
C.小児用クランプアダプタ	60	アルミ	90	7,200	
パイプジャック(小児用)	45	アルミ	37	23,800	
パイプジャック(30-小児用プラグ)	45	アルミ	46	23,800	
傾斜ジャック(小児用)	45	アルミ	42	26,300	
スリーブ(小児用 22- 30)	45	アルミ	30	6,050	
パイロンチューブクランプピラミッド取付台				11,600	
パイロンチューブクランプ足部取付台付				11,900	
パイロンチューブクランプ				12,800	
チタン子供用クランプアダプタ-	54	チタン	35	26,400	

4. 足の形状をつくる外装のための部品 【外装用部品】

コード	名称	機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	メーカー品番
P4010100	外装用部品 コネクション プレート	コネクションプレート		足部とフォームカハラの 接続を容易にする	オッターボック	2R14
					オッターボック	2R22
					啓愛	A1-15-3
					ホスマー	60260
					ウィローウッド	CC2L-CP CC2L
					ラボック	M12-001
					ラボック	M12-005
					ラボック	M12-007
					ラボック	M12-008
					ブラッチフォード	AFST20
					ブラッチフォード	561041
ブラッチフォード	561042					
ブラッチフォード	561045					
ブラッチフォード	561046					
P4010201	フォームカ バー	下腿用フォー ム	軟質フォーム	下腿部用軟質フォームカ バー	川村義肢	JK-F110
					オッターボック	6R6
					ラボック	M1210
					ラボック	M1211
P4010202		下腿用フォー ム	硬質フォーム	下腿部用硬質フォームカ バー	高崎	TG4036
					オッターボック	6R8
					ウィローウッド	OWW-700BK
					ウィローウッド	CFB-1BK
P4010203		下腿用フォー ム	硬質フォーム 脚の形状に削 り出しあり	硬質フォーム 脚の形状に削り出してあ る	ブラッチフォード	561014/56101 5/561012
					オズール	FCX0002
					オッターボック	6R18
					マインド	SEC201
P4010301	股・大腿用 フォーム	軟質フォーム	軟質フォーム		マインド	SEC202
					ラボック	M1207
					徳林	TFC-0A
					ラボック	M1201
P4010302	股・大腿用 フォーム	軟質フォーム 脚の形状に削 り出しあり	軟質フォーム	軟質フォーム 脚の形状に削り出してあ る	ラボック	M1202
					オッターボック	3R6
					オッターボック	3R24
					オッターボック	3S26
					オッターボック	3S27
					オッターボック	3S106
					オッターボック	3S107
					オハイオ	OWW-700AK
					高崎	TG4035
					ブラッチフォード	560029
					ブラッチフォード	561020
					ナブコ	N-F111
					ラボック	M1203-R
					ラボック	M1203-L
ブラッチフォード	561016					
ブラッチフォード	561017					
ブラッチフォード	561018					
ブラッチフォード	561019					
ブラッチフォード	561079					
P4010303	股・大腿用 フォーム	硬質フォーム (大腿部の み)	大腿部用の硬質フォーム		ブラッチフォード	561001
					ブラッチフォード	561004
					ブラッチフォード	561051
					ブラッチフォード	561052
P4010304	股・大腿用 フォーム	硬質フォーム (下腿部の み)	下腿部の硬質フォーム		ブラッチフォード	579819
					ブラッチフォード	579919

部品名称			価格(円) (基準価格)	特記事項
コネクションプレート 2R8/2R31/2R54 用			900	
コネクションキャップ 2R10/2R51/2R33 用			2,050	
コネクションキャップ			1,400	
コネクター			1,550	
コネクションプレート			2,900	
ジョイントカバー(単軸足部用)			1,550	
ジョイントカバー(スーパーフット用)			6,700	
コネクションプレート(J-Foot 用)			1,900	
コネクションプレート(J-Foot L 用)			3,200	
アングルフォーム 20 mm 差高 22 ~ 30			3,300	
アングルフォーム左 22/23 45mm 差高 FAIRING ANKLE			5,600	
アングルフォーム右 22/23 45mm 差高 FAIRING ANKLE			5,600	
アングルフォーム左 24/25 45mm 差高 FAIRING ANKLE			5,600	
アングルフォーム右 24/25 45mm 差高 FAIRING ANKLE			5,600	
JK フォームカバー			7,700	硬質のスポンジ製
フォームカバー 下腿用 軟性			8,800	
フォームカバー(下腿用・角型)			8,800	
フォームカバー(下腿用・丸型)			8,900	
フォームカバー(下腿用)			7,400	
フォームカバー 下腿用 硬性			7,900	
パスファインダー用 BK フォーム			12,500	
BK 用フォーム			9,900	
下腿用コーンフォーム 470mm TT FAIRING PTB 85x135x27/85x155x27/85x175x27			9,200	
フォームカバー(下腿用・角型・硬性)			8,200	
デュアルシティフォーム			19,100	
フォームカバー 下腿用 成形済			6,900	
下腿フォーム			20,000	
下腿フォーム			20,500	
フォームカバー(膝離断用)			16,400	
フォームカバー(空圧膝用・角型)			19,900	
フォームカバー(大腿用)			26,400	
フォームカバー(大腿義足用・角形)			19,900	
フォームカバー(大腿用、股離断用・角形)			19,900	
フォームカバー			19,500	
フォームカバー			20,700	
フォームカバー			18,700	
フォームカバー 股義足・大型膝継手用			25,500	
フォームカバー			20,100	ソケット収納用の削り加工
フォームカバー			20,700	
パスファインダー用 AK フォーム			20,900	
フォームカバー(大腿用)			16,500	
四軸股離断用フォームカバー			28,700	
大腿用フォームカバー FAIRING KNEE UNSHAPED			30,300	
フォームカバー(大腿用)			22,700	
フォームカバー(大腿用、股離断用)			22,700	
フォームカバー(大腿用、股離断用)			22,700	
大腿用フォームカバー-S 左			24,700	
大腿用フォームカバー-S 右			24,700	
大腿用フォームカバー-L 左			26,800	
大腿用フォームカバー-L 右			26,800	
フォームカバー AK 子供用			19,600	
大腿用コーンフォーム 420 mm x 25 mm厚			11,200	
大腿用コーンフォーム 490 mm x 25 mm厚			11,200	
大腿用コーンフォーム 450mm FAIRING THIGH-140x190x12			6,500	
大腿用コーンフォーム 450mm FAIRING THIGH-100x150x12			5,500	
ESK 大腿義足用 DISCONTINUOUS COSMESIS			130,100	ニーカバー含むキット
SFESK 大腿義足用 DISCON. COSMESIS EUK 160H			110,900	ニーカバー含むキット

コード	名称	機能区分(構造)		機能概要	メーカー名	メーカー品番	
P4010305		股・大腿用 フォーム	硬質フォーム (下腿部のみ) 脚の形状に削り出しあり	硬質フォーム 脚の形状に削り出してある	Proteor	1G25-R	
Proteor					1G28		
センチュリー22 (オズール)					TK-2075		
P4010306		股・大腿用 フォーム	硬質フォーム (下腿部と大腿部を含む) 脚の形状に削り出しあり		徳林	TFC-DF	
P4020100		カバー	下腿用カバー	下腿部用カバー	ラボック	M1244	
P4030100		ストッキング	縁取り用	フォームカバーの近位側を固定する	オットーボック	99B15	
ラボック					M1200		
オットーボック					99B15		
ラボック					M1200		
P4030200		股・大腿用		股・大腿用ストッキング	オットーボック	4R32	
オットーボック	99B14						
徳林	TCS-XA						
ラボック	M1220						
P4030300	下腿用		下腿用ストッキング	高崎	TTG4037		
オットーボック				99B16			
徳林				TCS-XB			
ラボック				M1230			
P4040100	リアルソックス	下腿用	足先から膝周辺までの外装を足の質感に近づける	佐藤	佐藤 8-3		
佐藤				佐藤 8-4			
RSL スティーパー				SKY-SIZE			
オルソヨーロッパ				U-950G			
ダウ				DSK-BK			
ダウ				DSST-BK			
P4040200	股・大腿用		足先から大腿部までの外装を足の質感に近づける	佐藤	佐藤 8-5		
オルソヨーロッパ				U-920G			
P4010101C	外装用部品 (小児用)	フォームカバー	下腿用フォー	軟質フォーム	軟質フォーム	ラボック	C1210
P4010201C		股・大腿用 フォーム	軟質フォーム	軟質フォーム	軟質フォーム	ラボック	C1201
P4010301C		股・大腿用 フォーム	軟質フォーム 脚の形状に削り出しあり	軟質フォーム 脚の形状に削り出しあり	オットーボック	3R48	
P4020100C		ストッキング	股・大腿用	股・大腿用ストッキング	オットーボック	99B22	

部品名称				価格(円) (基準価格)	特記事項
コスメティックカバー				23,400	膝継手 1P50-R 用1P50194-R と組み合わせて使用
コスメティックカバー				20,300	膝継手 1P110 用
トータルニー外装用フォームカバー				18,400	2145 と組み合わせて使用
EVA				17,000	
インスタントカバー				19,100	
縁取り用(オットーボック 99B14 と併用可)				1,400	
縁取り用バンド(大腿・下腿兼用)				2,200	
縁取り用(オットーボック 99B16 と併用可)				1,400	
縁取り用バンド(大腿・下腿兼用)				2,200	
仕上キット股義足用 2枚				6,300	股義足用フォームカバー固定部品含む
コスメチックストッキング 2枚				2,150	
大腿用ストッキングコンビネーション(厚手 1枚+薄手 2枚)				1,500	
ストッキング(大腿用)2枚				2,000	
ストッキング(大腿用)2枚(踵あり)(ダブルカバーリングヤーン糸)				3,400	
ストッキング(下腿用)2枚				1,300	
コスメチックストッキング(下腿義足用)2枚				1,300	
下腿用ストッキングコンビネーション(厚手 1枚+薄手 2枚)				1,500	
ストッキング(下腿用)2枚				1,700	
ストッキング(下腿用)(ダブルカバーリングヤーン糸)				2,100	
下腿リアルカバー				36,400	塩化ビニール、長さ・周径調整:720min
下腿リアルカバー(指なしタイプ)				36,400	塩化ビニール、長さ・周径調整:720min
スキナジー				58,000	シリコーン
足用シリコンカバー				11,500	販売中止 平成 28 年度まで修理対応
DAW SKIN (下腿用)				35,500	
DAW SKIN 指又付(下腿用)				48,200	
足先リアルソックス				14,300	塩化ビニール、長さ・周径調整:720min
大腿シルスキン				25,500	シリコーン 販売中止 ただし平成 28 年度まで修理対応可
Jカバー(小児下腿義足用)				8,800	
Jカバー(小児大腿義足用)				19,900	
フォームカバー 小児用				16,000	
コスメチックストッキング 小児用				900	

完成用部品機能区分に基づく部品価格制度案

研究分担者 我澤 賢之（国立障害者リハビリテーションセンター）
山崎 伸也（国立障害者リハビリテーションセンター）
研究協力者 長瀬 毅（流通経済大学経済学部）

研究要旨： 骨格構造義足完成用部品機能区分案を踏まえ、機能区分内の価格のちらばり等現況を調べるとともに、補装具製作事業者から見た完成用部品の仕入価格および補装具への加算価格に着目し、価格制度案について検討をおこなった。

主な結論は下記の3点である。

- ・現状では、区分内の部品の価格のちらばりがある程度大きい（平均48.0%）。
- ・仕入価格については、現行制度の固定価格制度が望ましいと考えられる。ただし、加算価格が機能区分毎価格制の場合でかつ機能区分名での補装具処方方式が導入される場合は、仕入価格の更新間隔の短縮もしくはオープン価格制を検討する必要があると思われる。
- ・価格のちらばり等を考慮すると、加算価格については、部品毎に属する機能区分を明らかに示すと共に当面部品毎固定価格を採ることで、機能区分内の価格の平準化をゆるやかにもたらすことが期待できる。
- ・長期的には、機能区分毎固定価格制を併用することで必要な部品を供給しつつ全体のコストを抑えられると考えられる。
- ・ただし機能区分毎固定価格制を用いるためには、今後完成用部品価格をどのように推移させていくかステークホルダー間の議論を重ねたうえで、価格算定制度、価格改定制度を定める必要がある。

A．研究目的

本研究プロジェクトにおいて補装具完成用部品について機能区分を作することを提唱した背景には、個々の部品の機能が必ずしも解りやすくなく、また利用者の機能レベルや生活様式に対し必要な機能の部品を適切に処方するための情報が十分でないことなどから適合判定時の判断に地域差が生じる、類似部品間で価格差が大きい場合がある等の問題がある、といった認識があった。本研究の目的は、作成した完成用部品機能区分案に基づき、類似部品間で価格差を縮小させるための制度にかかる提案を示すことである。

具体的には、別項の分担研究報告書「完成用部品の機能区分整備」に示された骨格構造義足

完成用部品の機能区分案に基づき、(1)区分毎の価格の散らばり具合等が実際どのような状況かをまとめるとともに、(2)価格状況を踏まえ、機能区分に基づく価格制度について考えられる案を検討し提示する。

B．研究方法

B-1. 機能区分毎の価格状況についての検討

機能区分案毎に属する部品の価格について、標準偏差と平均価格の比を算出し、価格の散らばりの状況を確認する。ただし、同一区分の部品であっても、付加機能がある、主な材料としてカーボン等高価な材料を使用している場合、そうでない部品と比べ価格が高いことが考えられる。また、メーカーの推奨する使用者の身体

機能レベル(Kレベル)が高い場合、そうでないものに比べ価格が高い傾向が見受けられる。製造中止が予定されている部品も、一定期間修理等対応は継続されるにしても、持続的な供給が予定されているわけではない。本項では、こうした部品の属性が価格に与える影響を除去するため、区分に定められた基本的な機能のみを有するものを対象として価格のちらばりの状況を確認するものとし、下記のいずれかを満たす部品を除去して算出を行った。

- ・付加機能がある。
- ・主な材料として、チタンもしくはカーボン、マグネシウムを含む。
- ・使用者の身体機能について、メーカー推奨KレベルがK4に対応している、もしくは「活発な歩行」を想定している。
- ・製造中止もしくは削除の予定がある。

B-2. 機能区分に基づく価格制度の検討

完成用部品の価格制度について、補装具製作事業者から見た(a)完成用部品供給業者からの仕入価格と(b)補装具価格への加算価格の定め方の2点に着目し、考えられる制度の類型分けをしたうえで、前項の結果を踏まえてそれぞれの制度における特性をまとめる。

C. 研究結果

C-1. 機能区分毎の価格状況についての検討

表1に区分毎の価格の平均、標準偏差ならびに「標準偏差÷平均」(区分内の有効品目数が3以上の場合のみ算出)、有効品目数を示す。全区分(148区分)のうち有効品目数が3以上の区分72について算出した「標準偏差÷平均」の値は最大値140.3%、平均48.0%、中位値42.4%、最小値8.5%であった。また「標準偏差÷平均」の値が50.0%以上である区分は29であった。これは現状において、区分内にある程度の大きさの価格の散らばりが存在することを示している。

また有効品目数が0、すなわち区分内の全ての部品がB-1の末尾に示した条件のいずれかを満たした区分が31あった。これは、区分に定

められた基本的な機能のみを持つ部品がないことを示している。さらに分担研究報告書「完成用部品の機能区分整備」に示された骨格構造義足完成用部品の機能区分案を眺めると、当該機能区分に属する部品が1つしかなかったり、ある付加機能を持つ部品が1つしかない場合があることが確認できる。仮に、区分毎、付加機能毎の平均価格(あるいは一定パーセント点でもよいが)に基づき区分・付加機能の価格を設定しようとした際、当該部品の価格しか参照すべき情報がないことになる。

C-2. 機能区分に基づく価格制度の検討

個々の部品の機能区分が明示されることを前提とした部品価格制度について、表2に機能区分補装具製作事業者から見た仕入価格、加算価格の区分に基づく価格制度の類型分けを行い、それぞれの特徴をまとめた。仕入価格については固定価格制(年に1回申請に基づく更新機会)とオープン価格制の2種を、加算価格については部品毎の固定価格制、機能区分毎の固定価格制の2種を想定している。

現行制度は、ほとんど表の左上(仕入価格:固定価格制-加算価格:部品毎の固定価格制)と同じであり、唯一の違いは機能区分の明示の有無である。

以下、仕入価格についての特徴を簡単に述べ、ついで加算価格についての特徴ならびに参考とすべき類似制度を述べる。

仕入価格について

仕入価格については、現状固定価格制が採られている。これはどの補装具製作事業者も同じ部品は同じ価格で購入することになるため、補装具製作事業者の直面する完成用部品使用により得られる粗利(部品管理費を含む)の水準を厚労省がコントロールできる意味を持つとともに、大量の部品のまとめ買いが困難な比較的小規模の事業所の保護に役立つメリットがある。その反面、完成用部品供給事業者は次期価格改定が行われるまでの期間(現行、年度単位)価格変更ができないため、為替リスク等を踏まえ

た価格申請をせざるをえない面があり、これが部品価格を引き上げる方向に作用している可能性がある点デメリットと考えられる。

オープン価格制に変更した場合、長短が入れ替わる。

加算価格について

加算価格を機能区分毎に設定することは、同等機能の部品の価格平準化を進めるうえで極めて強い効果を示すと考えられる。これを制度化するためには、個々の部品の機能区分と仕入価格等に基づく価格設定・改定のルール、それらの根拠である仕入価格等市場調査方法、該当機能区分をより厳密に審査するための組織・仕組み作りの整備が必要となる。

一方の、部品毎固定価格制のもとでも、機能区分を表示することで部品間の機能と価格の比較をしやすくなることから、部品価格が平準化していくことが考えられるものの、その価格変化の速度は機能区分毎固定価格制に較べゆるやかであることが考えられる。

区分別の部品価格(加算価格)のちらばりが大きい現状を踏まえると、当面は現行制度のまま機能区分を表示することで、機能区分毎の価格がゆるやかに平準化していくのを見守るのが望ましいと考えられる。

長期的には、前項制度を継続する選択肢の他、補装具への加算価格について機能区分毎価格を導入することも検討の余地がある。現状、アメリカ、フランスにおいては比較的安価な部品については機能区分別固定価格、高額部品については個別価格(米国保険制度では雑コードに相当)と両制度を併用している国もある。

日本の薬価制度も両制度制と言える。この分担研究所巻末の資料1に示す通り、薬価制度では、現在銘柄別収載と統一(名)収載が併存している。両者は、それぞれ、部品毎固定価格制、機能価格毎固定価格制に対応する制度である。ただし薬価の場合は、元々統一(名)収載(一般名称・成分名)による薬価収載であった。これは薬剤の場合、成分・剤形・規格により機能が類似であるかどうかを判断しやすいというこ

とが背景にあったと考えられる。しかし後発医薬品の登場もあり価格表に掲載された薬価と病院・薬局による仕入価格(実勢価格)との差額(いわゆる薬価差)が大きく開く状況が生じることとなった。これは製薬会社による価格競争の恩恵が、医療費負担者に及びにくい状況が生じることを示している。これを踏まえ、昭和52年(1977年)11月、銘柄別収載が導入されることとなった。この点、先に部品毎固定価格制が導入されているなかで、加算価格のばらつきが問題と考えられている完成用部品とは事情が異なるものの、参考となりうる。

また日本の薬価制度の各種加算制度(資料2参照)や薬価調査に基づく薬価改定計算

新薬価

$$= (\text{実勢価格(仕入価格)}) \times \text{加重平均} \\ + \text{消費税}) \times \text{調整幅(2\%)}$$

なども機能区分毎固定価格制の検討するうえでは参考になると考えられる。

D. 考察

仕入価格について

現状固定価格制であるが、これには一定のメリットがあり、加算価格が部品毎価格制の場合、総合的に見てオープン価格制のメリットを上回ると考えられる。1年間据え置き固定価格を用いることで為替リスク等を踏まえ高めの価格設定をもたらしている部分もあるかもしれないが、補装具製作事業者の直面する完成用部品使用により得られる粗利(部品管理費を含む)の水準を厚労省がコントロールできることは納税者への説明上一定の必要性を持つと考えられる。また、義肢製作産業は小規模の事業所が多数を占めることから小規模の事業所の保護にも一定の合理性があると考えられる。

ただし、加算価格が機能区分毎価格制の場合でかつ機能区分名での補装具処方方式が導入される場合は、仕入価格の更新間隔の短縮もしくはオープン価格制を検討する必要があると思われる。仮に同一機能区分における加算価格が

同一の部品間で仕入価格の異なる部品があった場合、補装具製作事業者は、購入費用以外の部品の調整・管理等にかかる費用を考慮しつつ総合的により安価なものを選択することが考えられる。この状況で仕入価格が固定価格制であるとするれば、相対的に高い仕入価格を設定した完成用部品供給事業者は、次の仕入価格変更の機会まで部品がほとんど売れないという状況が生じるだろう。仕入価格を長期間変更できないとすればこの点が問題になると思われる。したがって、短期間に仕入価格を変更できる仕組みを整備する必要があると考えられる。

加算価格にかかる両制度併用のメリット

アメリカ、フランスで部品毎固定価格制と機能区分毎固定価格制が併用して用いられているが、同様の制度設計の望ましさは経済学におけるエージェンシー理論での分析からも導き出せる¹。

結論としては、機能区分における基本機能のみをもつ部品については、機能区分毎固定価格制が望ましく(ただし機能区分内に十分な数の品目数を持たない区分の部品については除く)、それ以外の部品については部品毎の固定価格制が望ましい。

機能区分固定価格制と部品毎固定価格制を比較すると、前者のほうが供給費用を抑えることができる。しかしながら、付加機能を持つ部品等については区分の基本機能のみを考慮した加算設定では補装具製作事業者の採算が取れず、また付加機能がある分の価格が高くなる分の評価が困難(同等付加機能を部品の品目数がそれほど多くない、付加機能間の効能の差異をどう評価するかが困難など)な場合付加機能に対し固定価格を採っても採算が取れないリスクがあることを鑑みると、費用上多少の非効率はあるとしても確実に供給を持続可能とする部品毎固定価格を採用するメリットがある。これらを総合して上記の結論を得る。

¹ この議論については本分担研究報告書末尾の資料3を参照されたい。なお元となる分析モデルは澤野(2003)[1]による。

加算価格の機能毎固定価格制の前提となる価格算出、価格改定算出方法の選択について

結論の項で、機能毎固定価格制の前提として各種制度整備が必要であることを述べたが、特に価格改定に関するルール設計には注意を要する。これは、この選択如何によって、価格推移の方向が変わってくるからである。新設時の機能毎固定価格は仕入価格を元に何らかの算出方法(例えば、平均値もしくは一定のパーセント点値を算出する、あるいはそれに一定の調整率を乗ずる、など)を取ることが考えられる。

機能区分毎の価格を算出するうえで、計算対象となる部品は、丁度本稿の表1の作成対象としたような、区分の基本機能のみをもつ部品とするのが妥当だろう。これに対し、付加機能部分の価格についてはどうか。前項で示したように、基本的には付加機能等を持つ部品については部品毎価格制を選択することで使用による不採算を防ぐ必要があると思われるが、比較的多くの部品がもつ付加機能等属性(候補となり得るものとして、例えば、防水加工、主な使用材料としてチタン使用、など)については、当該付加機能に係る加算を設定することも可能と思われる。また、表2に示す各種加算の方式もこうした基本の機能だけでない部品の価格設定に参考になると考えられる。

また今後現行機能区分にない機能区分がふさわしいと考えられる部品が出てきた際、資料2に示すような、類似薬効比較方式は参考となりうると思われる²。

加算価格の機能毎固定価格制の価格改定算出方法の選択について

これに対し、改定時に新設時と同じ算出方法を採用するか、薬価制度の改定計算のように一定の

² 多機能区分のものを含め機能の近いものがなく類似薬効方式を採用できない場合、薬価であれば原価計算方式を採用する場合があるが、これは本稿では部品毎固定価格制に相当すると考えられる。

方向への価格推移を想定した別ルールを設定するか、選択が分かれうる。

薬剤と完成用部品との間では開発費の比率、想定される売上個数等が異なることが考えられる。完成用部品のなかには、使用材料の価格や為替レート、人件費単価の動向に影響を受ける度合いが大きいものも含まれる場合が考えられ、時間の経過と共に原価が下がっていくとは必ずしも言いがたい。こうしたことを鑑みると、単純に薬価制度の改定ルールをそのまま適用できるものではなく、慎重な検討が必要だろう。価格改定のための計算方式の選択については、原価や経済状況の変動分の調整のみとするのか、あるいは薬価のように時間の経過と共に価格を抑えるなど一定の方向性を持たせるのか、国の政策当局、完成用部品供給事業者、補装具製作事業者、身体障害者更生相談所、地方自治体、利用者など各ステークホルダーによる十分な意見交換を踏まえる必要がある。

E . 結論

本稿では、骨格構造義足完成用部品機能区分案を踏まえ、機能区分内の価格のちらばり等現況を調べるとともに、価格制度案について検討を行った。

主な結論は下記の3点である。

- ・現状では、区分内の部品の価格のちらばりがある程度大きい(平均48.0%)。
- ・価格のちらばり等を考慮すると、加算価格については、部品毎に属する機能区分を明らかに示すと共に当面部品毎固定価格を採ることで、機能区分内の価格の平準化をゆるやかにもたらすことが期待できる。
- ・長期的には、機能区分毎固定価格制を併用することで必要な部品を供給しつつ全体のコストを抑えられると考えられる。
- ・ただし機能区分毎固定価格制を用いるためには、今後完成用部品価格をどのように推移させていくかステークホルダー間の議論を重ねたうえで、価格算定制度、価格改定制度を定める必要がある。

・仕入価格については、現行の固定価格制度が望ましいと考えられる。ただし、加算価格が機能区分毎価格制の場合でかつ機能区分名での補装具処方方式が導入される場合は、仕入価格の更新間隔の短縮もしくはオープン価格制を検討する必要があると思われる。

F . 健康危険情報 なし

G . 研究発表

1 . 論文発表 なし

2 . 学会発表

- ・我澤賢之, 山崎伸也, 長瀬毅. 「義肢・装具・座位保持装置製作の費用・採算」, 第31回日本義肢装具学会, 2015.11.07, 横浜.
- ・山崎伸也, 我澤賢之. 「更生用補装具としての義肢・装具・座位保持装置の支給状況」, 第31回日本義肢装具学会, 2015.11.07, 横浜.
- ・児玉義弘, 山崎伸也, 我澤賢之. 「骨格構造義足完成用部品を対象とした機能区分案作成」, 特別レポート 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みを考える - 厚生労働省科学研究費補助金プロジェクト報告 - 「骨格構造義足完成用部品を対象とした機能区分案作成」, 第31回日本義肢装具学会, 2015.11.08, 横浜.

3 . それ以外の発表

- ・児玉義弘, 山崎伸也, 我澤賢之. 「完成用部品の機能区分 / 完成用部品の機能と価格」, 第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会, 2015.07.25. 所沢.

H 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

1 . 特許取得 なし

2 . 実用新案登録 なし

3 . その他 なし

I . 引用文献

- [1] 澤野孝一郎. 「診療報酬契約の経済学」, 『インセンティブ設計の経済学 - 契約理論の応用分析 - 』(伊藤秀史・小佐野広編著) 第11章, p.291-323, 勁草書房, 2003 .

表1.機能区分毎の価格の散らばりの状況

「標準偏差÷平均」(*)の 算出対象機能区分数 50.0%以上の値を取る区分数	最大値	140.3%	条件: (1)付加機能あり、(2)チタンもしくはカーボン、マグネシウム、(3)推奨Kレベル、 K4に対応もしくは「活発な歩行」、(4)中止・削除 のいずれにも該当しないもののみを対象に算出した。 (*)なお「標準偏差÷平均」については、有効品目数が3点以上ある部品のみ算 出対象とした。
	平均値	48.0%	
	中位値	42.4%	
	最小値	8.5%	
		72	

1. インターフェイスとしての役割を補助する部品

1-1 吸着バルブ・懸垂ベルト・ウェッジ・クラッチロック										
コード	P1010100	P1010200	P1010300	P1010400	P1010500	P1010600	P1010700	P1010800	P1020000	P1030100
平均価格 (A)	5,817	11,370	-	-	5,950	18,664	8,358	16,300	1,300	7,200
標準偏差 (B)	765	5,933	-	-	3,587	7,398	3,586	3,394	-	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	13.2%	52.2%	-	-	60.3%	39.6%	42.9%	-	-	-
有効品目数	3	20	0	0	4	11	6	2	1	1

コード	P1040100	P1050100
平均価格 (A)	33,242	19,270
標準偏差 (B)	16,957	8,992
標準偏差÷平均 (B÷A)	51.0%	46.7%
有効品目数	12	10

1-2 ライナー						
コード	P1060100	P1060200	P1060300	P1070100	P1080001	P1010100C
平均価格 (A)	45,100	109,900	54,244	47,700	12,100	-
標準偏差 (B)	15,225	-	22,484	-	7,489	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	33.8%	-	41.4%	-	61.9%	-
有効品目数	18	1	18	1	6	0

2. 生体の股関節、膝関節等の機能を代償する部品

2-1 股継手						
コード	P2010101	P2010201	P2010202	P2010301	P2010101C	P2010201C
平均価格 (A)	73,800	116,800	-	-	167,000	70,100
標準偏差 (B)	-	71,842	-	-	-	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	-	-	-	-	-	-
有効品目数	1	2	0	0	1	1

2-2 膝継手										
コード	P2030101	P2030201	P2030301	P2030302	P2030303	P2030401	P2030402	P2030403	P2030501	P2030502
平均価格 (A)	84,250	69,500	77,633	312,700	-	78,290	245,050	-	-	-
標準偏差 (B)	44,289	-	18,059	-	-	10,793	38,537	-	-	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	52.6%	-	23.3%	-	-	13.8%	-	-	-	-
有効品目数	14	1	3	1	0	10	2	0	0	0

コード	P2030601	P2040101	P2040201	P2040202	P2040203	P2040204	P2040301	P2040302	P2040303	P2040304
平均価格 (A)	-	137,300	143,720	172,600	412,500	-	-	-	347,000	-
標準偏差 (B)	-	33,375	74,829	70,842	-	-	-	-	33,234	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	-	-	52.1%	41.0%	-	-	-	-	-	-
有効品目数	0	2	5	3	1	0	0	0	2	0

コード	P2010101C	P2010201C	P2010202C	P2010301C	P2020101C
平均価格 (A)	100,167	113,150	243,200	-	-
標準偏差 (B)	41,965	2,616	-	-	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	41.9%	-	-	-	-
有効品目数	3	2	1	0	0

2-3 足継手・足部										
コード	P2060101	P2060102	P2060103	P2060104	P2060105	P2060106	P2060107	P2060108	P2060109	P2060110
平均価格 (A)	22,500	-	81,600	-	201,433	-	-	-	-	113,167
標準偏差 (B)	7,071	-	22,062	-	79,659	-	-	-	-	158,771
標準偏差÷平均 (B÷A)	-	-	-	-	39.5%	-	-	-	-	140.3%
有効品目数	2	0	2	0	3	0	0	0	0	3

コード	P2060201	P2060202	P2060203	P2060301	P2060302	P2060303	P2060304	P2060305	P2060401	P2060402
平均価格 (A)	62,000	25,472	47,386	10,169	118,000	28,100	70,130	24,857	2,564	650
標準偏差 (B)	-	10,571	15,208	4,636	127,421	-	43,581	21,514	1,528	212
標準偏差÷平均 (B÷A)	-	41.5%	32.1%	45.6%	-	-	62.1%	86.5%	59.6%	-
有効品目数	1	18	7	13	2	1	10	7	38	2

コード	P2060403	P2060404	P2060501	P2060502	P2060503	P2060101C	P2060201C	P2060301C
平均価格 (A)	20,343	2,975	56,533	296,500	-	94,400	56,800	11,075
標準偏差 (B)	5,623	465	6,601	-	-	-	-	4,814
標準偏差÷平均 (B÷A)	27.6%	15.6%	11.7%	-	-	-	-	43.5%
有効品目数	7	4	3	1	0	1	1	4

2-4 ターンテーブル	
コード	P2020101
平均価格 (A)	73,120
標準偏差 (B)	49,886
標準偏差÷平均 (B÷A)	68.2%
有効品目数	10

2-5 膝継手機能補助							
コード	P2050101	P2050102	P2050103	P2050104	P2050105	P2050101C	P2050102C
平均価格 (A)	18,400	8,490	5,500	-	14,100	18,400	22,700
標準偏差 (B)	6,928	9,578	-	-	-	8,485	-
標準偏差÷平均 (B÷A)	37.7%	112.8%	-	-	-	-	-
有効品目数	4	5	1	0	1	2	1

3. 股継手、膝継手、足継手、足部をつなぐ部品

3-1 接続部品(ブロック・コネクタ)										
コード	P3010101	P3020101	P3020102	P3020103	P3020104	P3020105	P3020106	P3020107	P3030101	P3030102
平均価格 (A)	12,095	18,644	23,700	30,920	11,025	11,233	35,980	15,582	12,313	16,250
標準偏差 (B)	13,810	6,529	7,137	9,850	7,392	2,475	27,442	16,252	7,672	11,457
標準偏差 ÷ 平均 (B ÷ A)	114.2%	35.0%	30.1%	31.9%	67.1%	22.0%	76.3%	104.3%	62.3%	70.5%
有効品目数	13	16	4	5	10	6	5	19	8	10
コード	P3030103	P3030201	P3030202	P3030301	P3030401	P3030402	P3030501	P3030601	P3030701	P3030801
平均価格 (A)	22,392	8,400	37,300	25,491	10,900	29,350	21,700	7,333	2,875	13,300
標準偏差 (B)	17,925	849	10,607	2,538	-	22,132	9,475	3,753	885	11,071
標準偏差 ÷ 平均 (B ÷ A)	80.1%	-	-	10.0%	-	-	-	51.2%	30.8%	83.2%
有効品目数	12	2	2	11	1	2	2	3	4	44
コード	P3030101C	P3030201C	P3030301C							
平均価格 (A)	6,120	20,033	13,667							
標準偏差 (B)	2,739	11,102	5,371							
標準偏差 ÷ 平均 (B ÷ A)	44.8%	55.4%	39.3%							
有効品目数	5	3	12							

3-2 接続部品(チューブ)										
コード	P3040101	P3040102	P3040103	P3040104	P3040201	P3040202	P3040203	P3040101C	P3040102C	P3040103C
平均価格 (A)	18,356	16,367	6,794	18,950	20,800	15,900	8,933	9,800	24,100	4,017
標準偏差 (B)	4,783	5,058	6,664	14,989	7,542	-	5,493	141	-	1,811
標準偏差 ÷ 平均 (B ÷ A)	26.1%	30.9%	98.1%	79.1%	36.3%	-	61.5%	-	-	45.1%
有効品目数	16	6	17	4	4	1	3	2	1	3
コード	P3040104C									
平均価格 (A)	-									
標準偏差 (B)	-									
標準偏差 ÷ 平均 (B ÷ A)	-									
有効品目数	0									

3-3 クランプアダプタ										
コード	P3050101	P3050102	P3050103	P3050201	P3050202	P3050301	P3050401	P3050402	P3050101C	
平均価格 (A)	21,400	17,018	11,163	-	15,767	9,025	-	-	14,768	
標準偏差 (B)	6,767	5,984	8,135	-	9,890	5,178	-	-	7,010	
標準偏差 ÷ 平均 (B ÷ A)	31.6%	35.2%	72.9%	-	62.7%	57.4%	-	-	47.5%	
有効品目数	3	11	8	0	3	4	0	0	11	

4. 足の形状をつくる外装のための部品

4-1 外装用部品										
コード	P4010101	P4010201	P4010202	P4010203	P4010301	P4010302	P4010303	P4010304	P4010305	P4010306
平均価格 (A)	3,418	8,475	9,540	16,580	21,525	23,071	8,600	-	-	17,000
標準偏差 (B)	1,994	718	1,837	5,638	3,250	3,762	3,030	-	-	-
標準偏差 ÷ 平均 (B ÷ A)	58.4%	8.5%	19.3%	34.0%	15.1%	16.3%	35.2%	-	-	-
有効品目数	14	4	5	5	4	17	4	0	0	1
コード	P4020101	P4030101	P4030201	P4030301	P4040101	P4040201	P4010101C	P4010201C	P4010301C	P4020101C
平均価格 (A)	19,100	1,800	2,263	1,580	41,850	-	8,800	19,900	16,000	900
標準偏差 (B)	0	462	808	335	8,980	-	-	-	-	-
標準偏差 ÷ 平均 (B ÷ A)	-	25.7%	35.7%	21.2%	-	-	-	-	-	-
有効品目数	2	4	4	5	2	0	1	1	1	1

表2. 仕入価格・加算価格に着目した価格制度の分類

<p>加算価格 補装具費への 加算に用いる 価格 (現、通知上 の「価格」)</p>	<p>仕入価格 補装具製作事業者にとっての仕入価格(補装具製作事業者への販売価格、現、申請価格)</p>
<p>部品毎の 固定価格制 年に1回更 新の機会</p>	<p>固定価格制(年に1回更新の機会)</p> <p>制度案A 仕入価格： 部品供給事業者の申請した価格水準に設定。 加算価格： 仕入価格に、当該部品管理等に要する費用見込額を厚労省が算定・加算して設定。 機能区分が公開されることを除き、現行制度と同じ → どの補装具製作事業者も同じ部品については同じ価格での購入が可能である。 → その反面、完成用部品供給事業者は一定期間価格変更をできないため、為替リスク等を踏まえた高めの価格設定がなされる可能性がある。 → 同機能区分間での仕入価格・加算価格の比較を行いやすくなることにより、区分毎に価格がある程度平準化することが考えられる。</p>
<p>部品毎の 固定価格制 年に1回更 新の機会 付加機能、 主材料の差異 等について加 算等設ける</p>	<p>オープン価格制</p> <p>制度案B 仕入価格： 部品供給事業者の申請した価格を参考価格として部品供給事業者が自由に設定。 加算価格： 部品供給事業者の申請価格に、当該部品管理等に要する費用見込額を厚労省が算定・加算して設定。 薬価制度における銘柄別収載方式と類似 → 仕入価格と加算価格の実際の差額を厚労省は完全にはコントロールできない。 → 完成用部品供給事業者が、原価の変動などを反映して部品の出荷価格を自由に変更できることから、仕入価格に為替リスクなどを踏まえた高めの設定を行う必要性が減少するため、現状より価格を引き下げられる可能性がある。 → その反面部品のまとめ買いの可能な大規模な補装具製作事業者とそうでない小規模の製作事業者との間に仕入面での有利・不利が生じることが考えられる。 → 同機能区分間での加算価格の比較を行いやすくなることにより、区分毎に価格がある程度平準化することが考えられる。</p>
<p>機能区分毎の 固定価格制 年に1回更 新の機会 付加機能、 主材料の差異 等について加 算等設ける</p>	<p>制度案C 仕入価格： 部品供給事業者の申請した価格水準に設定。 加算価格： 機能区分毎に厚労省が設定。付加機能、主材料の差異等にかかる加算価格についても同様。 → どの補装具製作事業者も同じ部品については同じ価格での購入が可能である。 → その反面、完成用部品供給事業者は一定期間価格変更をできないため、部品供給事業者にとって仕入価格設定が困難になる可能性がある。為替リスク等を踏まえた高めの価格設定が必要な反面、仮に他の同機能区分部品より高い仕入価格を設定した場合に仕入価格改定が即座にできないため、価格競争上不利な状況が次の価格改定機会まで継続することになる。 → 加算価格設定の公正さを確保するため、また機能区分定義の隙間を突く形で機能面で劣る部品の流通を防止するため、機能区分を満たすか否かの判定を厳密に行う仕組み作りが、「部品毎の固定価格制」の場合以上に重要。 → 機能区分価格、加算設定価格とも、ある程度価格が平準化した後でなければ、どの水準に価格設定するか難しいとが考えられる。</p>
<p>機能区分毎の 固定価格制 年に1回更 新の機会 付加機能、 主材料の差異 等について加 算等設ける</p>	<p>制度案D 仕入価格： 部品供給事業者が自由に設定 加算価格： 機能区分毎に厚労省が設定。付加機能、主材料の差異等にかかる加算価格についても同様。 薬価制度における統一(名)収載方式と類似 → 仕入価格と加算価格の実際の差額を厚労省はコントロールできない。 → 仕入価格にかかる価格競争が進む反面、部品のまとめ買いの可能な大規模な補装具製作事業者とそうでない小規模の製作事業者との間に仕入面での有利・不利が生じることが考えられる。 → 加算価格設定の公正さを確保するため、また機能区分定義の隙間を突く形で機能面で劣る部品の流通を防止するため、機能区分を満たすか否かの判定を厳密に行う仕組み作りが、「部品毎の固定価格制」の場合以上に重要。 → 機能区分価格、加算設定価格とも、ある程度価格が平準化した後でなければ、どの水準に価格設定するか難しいとが考えられる。</p>

資料1. 薬価制度について(1) : 薬価収載における統一(名)収載と銘柄別収載の比較について

研究協力者 長瀬 毅(流通経済大学経済学部)

1.1 薬価収載に至るまでの概要

新薬を開発した製造企業は、新規物質の創製と臨床実験等を経た後に開発された新医薬品について、医療用医薬品として薬事法上の承認を受けるための承認申請を厚労大臣に対して行う。独立行政法人医薬品医療機器総合機構が審査を行い、その報告に基づいて厚労大臣が医療用医薬品として承認する。承認を得た製造販売企業は、厚労省に対して当該新医薬品の薬価基準収載希望を伝え、窓口となる厚労省医政局経済課でヒアリング等を実施した後、保険局医療課にその内容が伝達される。保険局医療課では薬価算定原案を作成し、中央社会保険医療協議会(以下、中医協)の薬価算定組織に提示する。中医協薬価算定組織では審査により薬価算定案が決定され、保険局医療課、医政局経済課を通じて製造販売企業に伝達され、不服申し立ての機会を挟み、製造販売企業の上承を得られると中医協総会に報告され、上承を得て官報に告示される。これによって当該新医薬品は薬事法上の製造販売の承認を得たことになる。

1.2 薬価基準への収載方法

薬価基準への収載方法には、現時点で統一(名)収載と銘柄別収載の2つの方式がある。銘柄別収載は、医薬品の販売名(銘柄)ごとに収載する方式であり、1977年11月に導入され、現在では原則として銘柄別収載方式が採られている。同一成分、同一分量、同一剤形であっても販売名が異なれば異なる医薬品として薬価基準に収載され、薬価も異なる場合がある。

統一(名)収載は、成分、剤形および規格によって単一の名称(一般名)を付して収載する方式で、現在では日本薬局方収載医薬品、生物学的製剤基準収載医薬品及び生薬等のみに適用されている。統一(名)収載方式の場合、販売名は薬価基準で定められないので、この方式で収載されている品目については、製品や販売名にかかわらず同一の薬価が適用され、また薬事法上の承認を受ければ直ちに保健医療で使用できる。薬事法上の承認を取得している医薬品であれば、他の製品が承認された場合にも薬価基準収載手続きを経ることなく自動的に薬価基準に収載される。

銘柄別収載方式の導入前は、一般名による収載と主成分の一般名とともにそれに相当する販売名も併せて収載する統一限定方式により収載されていた。これは1967年3月の薬価調査において、調査対象が購入主体から販売主体に切り替えられたことに対応して同年11月に導入された方式で、一般名(統一名称)に該当する販売名(商品名、銘柄)を列記する方式で、統一名限定列記方式とも呼ばれた³。この方式では、薬価は販売名にかかわらず同一の価格であるため、薬価基準と実勢価格の乖離(薬価差)が生じる要因になっているとの指摘を受け、前述の銘柄別収載方式が導入されることとなった。

³ 土井純雄「薬価基準制度の沿革と制度の法的考察(上)」『修道法学』第28巻、第1号、91~141頁。
https://www.google.co.jp/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=3&ved=0ahUKEwi_yM-jx5PMAhULGpQKHVIkDfUQFggiMAI&url=https%3A%2F%2Fshudo-u.repo.nii.ac.jp%2Findex.php%3Faction%3Dpages_view_main%26active_action%3Drepository_action_common_download%26item_id%3D1299%26item_no%3D1%26attribute_id%3D18%26file_no%3D1%26page_id%3D13%26block_id%3D28&usq=AFQjCNGX10bWEf2iN6ulPMv7Zq3DppWUuQ&sig2=tQFvJ8vjBlhfQ0pc-mIASw&cad=rjaを参照。

1.3 銘柄別収載方式の利点

銘柄別収載方式の利点⁴としては、1) 実勢価格を合理的に薬価基準に反映できる、2) 薬価差のみに頼る販売姿勢の改善、3) 医薬品および医療サービスの質の改善、4) 新医薬品の開発促進、等が挙げられる。

これらのメリットについて検討していく。銘柄別収載方式では、同一の一般名を持つ医薬品、つまり薬事法上の承認を受けた同一の医療用医薬品であっても、製造販売企業が販売する銘柄によって算定される薬価が異なることが許容されている。これは、同一の医療用医薬品であっても、製造販売企業の企業努力によって先発品と異なる有効成分や用量・用法を持つと認められた医薬品については、その品質を考慮した価格付けがなされ、先発品とは別の財であるとみなされるということである。このことは製造販売企業の新薬開発意欲を強く刺激すると思われるので、メリット4)の効果はあり得ると考えられる。

しかし、3)のような品質改善の効果が期待されるためには、同一の一般名を持つ医薬品と新薬が品質的に異なることを客観的に判定でき、品質の違いを価格に適切に反映できる薬価算定方式が整備されていることが前提となる。品質の競争が激化することによって、品質が大きく異ならず含有成分や用量・用法等が微少に異なる医薬品が多数製造されることになれば、資源の効率的利用を妨げることになる。特に類似薬効を持つ既収載品と新規収載品の薬価基準算定方式において、品質の差をどれだけ客観的に把握できているかが重要になる。この点は今後の考察対象となり得る。

また、1)、2)の薬価差の縮小効果についても、品質の違いを価格に適切に反映できる薬価算定方式が整備されていることが前提となる。同一の医療用医薬品として承認を得ている医薬品であっても、銘柄ごとに価格が異なることが許容されている制度であるため、実質的にほとんど同じ品質である医薬品に異なる価格付けがなされている場合は、この方式では実質的に同品質の医薬品の実勢価格のばらつきを抑制することはできないのではないかと考えられる。

⁴ 薬事衛生研究会編『薬価基準のしくみと解説 2014』(薬事日報社)第1編「薬価基準制度の概要」39ページを参照。

資料 2 . 薬価制度について (2) : 類似薬効比較方式における比較薬と新薬の関係について

研究協力者 長瀬 毅 (流通経済大学経済学部)

2.1 薬価基準の概要

現在の薬価基準⁵では、薬価は保健医療機関及び保険薬局が薬剤の支給に要する単位あたりの平均的な費用の額として銘柄ごとに額が定められている。支給に要する単位とは、錠剤の場合は有効成分量ごとに1個あたりで定められている。

新規に薬価基準に収載される薬剤 (以下、新規収載品) の薬価算定は、類似薬があり、新規性のある新薬の場合は「類似薬効比較方式 ()」、類似薬があり、新規性に乏しい新薬の場合は「類似薬効比較方式 ()」、類似薬がない新薬の場合は「原価計算方式」の3つの方式によって算定される。

類似薬とは、薬価基準に既に収載されている (以下、既収載品) 薬剤であり、(イ) 効能及び効果、(ロ) 薬理作用、(ハ) 組成及び化学構造式、(ニ) 投与形態、剤形区分、剤形及び用法、の4つの事項から見て、新規収載品との間に類似性のある薬剤をいう。

新薬⁶の薬価算定においては、類似薬は原則として新薬として薬価収載されたものに限られる。これは、新規後発品⁷は類似薬としては認められないということの意味する規定である。既収載品に類似性があると認められる新薬がない場合、必要と認められたときには、新規後発品として薬価収載されたもの以外の既収載品を類似薬として選ぶことができる。

新規収載品の薬価算定上の基準となる既収載品が比較薬である。

2.2 新規医薬品の類似薬効比較方式 ()

類似薬効比較方式は、類似薬がある場合の新規収載品の薬価算定方式である、効能・効果、薬理作用、組成・化学構造式、投与形態の4つの観点から、新医薬品に類似する既収載医薬品を比較対照薬として選定し、1日通常最大用量による薬価比較を行い、1日あたりの価格が比較対照薬と同じになるように算定される。この価格をベースとして、画期性、有用性、市場性、小児効能・用量の有無、先駆性の5つのメリットについて評価を行い、必要に応じてそれぞれの区分で補正加算を行う。比較薬は、原則として薬価収載後10年以内の新薬であって後発品⁸が薬価収載されていないものを用いる。

類似薬と比べて新規性に乏しい新医薬品は類似薬効比較方式 () によって薬価算定され、それ以外の新医薬品は類似薬効比較方式 () によって薬価算定される。新規性に乏しいとは、1) 補正加算の対象外、2) 薬理作用類似薬が3つ以上存在する、3) 最も古い薬理作用類似薬の薬価収載から3年以上経過したものを指す。補正加算とは、後述する画期性加算、有用性加算等、臨床上有用な新規の作用機序を有する等の特質がある新医薬品の算定薬価を加算する措置のことである。薬理作用類似薬とは、類似薬のうちで、同一の効能及び効果を有し当該効能及び効果に罹る薬理作用が類似し、且つ投与形態が同一である類似薬をいう。

つまり、補正加算の対象となるもの、及び補正加算の対象とならない新医薬品の中で、薬理作用類似薬が2つ以下しか存在しない、あるいは最も古い薬理作用類似薬の薬価収載から3年未満のものは

⁵ 薬事衛生研究会編『薬価基準のしくみと解説 2014』(薬事日報社)第2編「薬価算定の基準」を参照。

⁶ 新薬とは、新規収載品のうち、薬事法第14条の4第1項の規定に基づき厚生労働大臣の再審査を受けなければならないとされた新規収載品、あるいは、組成、投与形態及び製造販売業者が同一の既収載品がある新規収載品を指す。

⁷ 新規後発品とは、新薬以外の新規収載品をいう。

⁸ 後発品 (後発医薬品) とは、新医薬品として薬価基準に収載された先発医薬品と有効成分量、投与方法等が同一の他社の製品を指す。後発医薬品の価格決定は、企業からの申請に基づいて厚労省がヒアリング、内容の審査等を行い、供給に支障がないことが確認されると詳細を通知の上薬価基準に収載する。

類似薬効比較方式（ ）で算定され、それ以外の新医薬品は類似薬効比較方式（ ）で算定されることになる。新医薬品の薬価算定事例を見ると、新有効成分や新医療用成分の配合、新剤形・新用量を用いた新医薬品の中で、補正加算を適用されていない新医薬品には、類似薬効比較方式（ ）によってベースとなる薬価算定がなされ、補正加算が行われないものもある。

補正加算の要件は、以下の通りである。

1 画期性、有用性の高い新薬に対する加算

	満たすべき要件	新規の作用機序	高い有効性・安全性	疾病の治療方法の改善	製剤の工夫による高い有用性
画期性加算 (70～120%)	全て				
有用性加算() (35～60%)	いずれか2つ				
有用性加算() (5～30%)	いずれか1つ				

2 先駆性の高い新薬：

先駆導入加算 以下の全ての要件を満たす

- イ 外国（米英独仏のみ）あるいは日本のいずれかの国において承認されている既存の薬剤とは異なる新規の作用機序を有する
- ロ 外国に先駆けて日本で最初に薬事承認を取得
- ハ 日本だけで流通する見込みの医薬品ではない
- ニ 画期性加算または有用性加算()の適用

3 市場規模の小さい新薬への配慮：

	満たすべき要件	希少疾病用医薬品（薬事法規定）であり、主たる効能・効果が対象となる疾病等に係る効能・効果	市場規模が特に小さいものとして別に定める薬効群に該当	比較薬が市場性加算()の適用を受けていない	比較薬が市場性加算()の適用を受けていない
市場性加算() (10～20%)	全て				
市場性加算() (5%)	全て (はいずれか1つ)				

4 小児用製剤：

小児加算 以下の全てを満たす

- イ 主たる効能・効果またはそれに係る用法・用量に小児に係るものが明示
- ロ 比較薬が小児加算の適用を受けていない

加算率の算定基準に関しては明らかではないが、画期性加算、有用性加算の加算率は、厚生労働科 研費研究による定量分析である「薬価算定基準における画期性及び有用性加算の加算率の定量的算出法に係る研究」が、厚労省医政局経済課より製薬会社に事務連絡されている（平成26年5月9日付）。事務連絡の文章中において、当該定量的評価法は従前の加算評価に基づき細分化した定量的な評価項目を有用性系加算が適用された新薬の評価に遡及的に当てはめることにより、高い相関性をもって実際に適用された加算率を再現することが確認されたが、従前の加算率の運用及び解釈に影響を与えるものではないことが明言されているが、加算率の算定基準について厚労省が当該評価方法を基礎とした算定基準を採用することを暗黙に示している可能性がある。

(出所) <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000045596.pdf>

2.3 後発品の薬価算定

後発品（後発医薬品）とは、新医薬品として薬価基準に収載された先発医薬品と有効成分量、投与方法等が同一の他社の製品を指す。後発品の価格決定は、企業からの申請に基づいて厚労省がヒアリング、内容の審査等を行い、供給に支障がないことが確認されると詳細を通知の上、薬価基準に収載する。

新規に薬価基準に収載される後発品（以下、新規後発品）の薬価算定は、新規後発品の最類似薬⁹が既収載品の中にあるかどうかによって算定方式が異なる。最類似薬がない場合、すなわち後発品が初めて収載される場合、先発医薬品の価格の0.6～0.5を乗じた価格を新規後発品の薬価とする。バイオ後発品は0.7を乗じた価格、また内用薬で当該新規後発品及び同時期の薬価収載が予定される組成、剤形区分及び規格が当該新規後発品と同一の後発品（効能及び効果が当該新規後発品と類似しているものに限り）が10銘柄を超える場合は0.5を乗じた価格を薬価とする。

後発品が既に収載されている場合は、後発品中の最低価格を新規後発品の薬価とする。後発品が内用薬で10銘柄以上、注射薬・外用薬で20銘柄以上が既収載の場合は、既収載の銘柄中の最低価格に0.9を乗じた価格を薬価とする。

⁹ 最類似薬とは、汎用規格（後述）の類似薬のうち、類似薬を定める際に勘案する事項からみて、類似性が最も高いものをいう。複数の類似薬の組み合わせも可である。ただし、新規後発品の薬価算定の際は、同一剤形区分内における剤形の違いは考慮しない。汎用規格とは、組成及び剤形が同一の類似薬の年間販売量を、規格別にみて、最もその合計量が多い規格をいう。ただし、新規後発品の薬価算定の際は、同一剤形区分内における剤形の違いは考慮しない。

資料3．エージェンシー理論に基づく米国医療制度を対象とした 診療報酬制度の検討と機能区分に基づく完成用部品価格制度への応用

研究協力者 長瀬 毅（流通経済大学経済学部）

研究分担者 我澤 賢之（国立障害者リハビリテーションセンター）

ここでは、義肢等補装具価格及び完成用部品価格の算定制度を考察する際の基礎モデルを提示する。この分析モデルの元は、薬価を含む医療サービスの報酬設定の経済学的な意義を分析した、澤野孝一郎[2003]「診療報酬契約の経済学」伊藤秀史・小佐野広編著『インセンティブ設計の経済学 - 契約理論の応用分析 -』第11章（291-323頁）勁草書房における医療サービスの報酬決定で提示されたものである。澤野論文では、契約理論を用いて、現行の日本の保健医療サービスにおける報酬決定方式である診療報酬制度の特徴を分析し、医療サービスの質の低下と医療機関による重症患者の選択的拒否を回避しながら、医師誘発需要を抑えて医療費の抑制を実現しうる制度として、診療報酬は出来高制報酬と定額報酬とを組み合わせた出来高・定額報酬併用制を採用することを主張している。

完成用部品機能区分に基づく価格制度を考慮するうえで、この枠組での分析モデルを解釈し直すことで応用できると考えられる。すなわち、出来高報酬制を部品毎固定価格制と、定額報酬制を機能区分毎固定価格制と捉え、また保健医療サービス供給にかかる費用（澤野論文では、医療サービスの質に関する努力費用と費用削減に関する努力費用）を、それぞれ義足に所定の機能を持たせるための完成用部品関連努力費用（具体的には補装具製作事業者による完成用部品の仕入費用、個々の事業所の環境における部品の調整・管理等に要する努力費用）と費用削減に関する努力費用（完成用部品の仕入に関する諸費用の削減努力費用や、部品管理・調整等費用の情報収集・環境整備等に関する努力費用）と捉えることで、分析モデルを応用できる。

以下、澤野論文の構成に従って要約し、最後に完成用部品価格制度への適用した場合の解釈について述べる。

3.1 managed care

まず、契約理論が診療報酬契約の分析に使われるようになった背景について、米国で導入されている managed care と呼ばれるしくみを解説する。

米国では近年 GNP の 10% を上回る急激な医療費高騰に直面しており、その原因として技術進歩による高度医療化要因と、医師と患者の情報の非対称性に起因する医療の医師誘発需要（乱診乱療問題）要因とが指摘されている。特に後者については、消費者が不必要な診療を受けている可能性よりも、医師が不必要な診療を行っている可能性が高いことが実証研究によって明らかにされている。

米国においては、医療機関（医師）と消費者（患者）との間で自由な交渉によって診療報酬を決定できる Free for Service と呼ばれる制度が採用されているため、医療機関間の競争が医師による裁量的な診療行為を助長している可能性が議論されている。

また、医療サービスの提供を受けた消費者は、治療が終了して自由料金が確定した後に、自由料金を医療機関に支払い、その後その償還を保険会社に請求するという事後的償還額決定方式（Retrospective Payment System）が採用されている。一方で保険会社は予め医療機関との間で診療報酬契約を締結し、その契約金額のみで保険加入者の診療を行うことを求める方法（事前的償還額決定方式（Prospective Payment System））を採用することもできる。これは定額報酬・定額制

と呼ばれ、従来事後的償還額決定方式による契約を締結していた多くの保険会社は、医療費の高騰に伴って事前的償還額決定方式を採用するようになった。こうした事前的償還額決定方式に基づいて設計された医療保険を managed care と呼ぶ。

managed care においては、1) 消費者の医療機関選択に関する自由の制限、2) 消費者の受診制限、といった特徴を有することによって、消費者側の乱診乱療行為を抑制し、3) 保険会社による契約医療機関の選定とネットワークの形成という特徴によって、医療機関側による情報の非対称性を利用した医療サービスの医師誘発需要を抑制するしくみを備えているとされ、医療サービス市場における革新と評価されている。

3.2 診療報酬契約とインセンティブ問題

前節で紹介した managed care は、医療サービスの需要者である消費者 (principal) と医療サービスの供給者である医療機関 (agent) との間の agency 問題について、定額制の診療報酬契約の導入によって principal と agent の双方の過剰な医療サービスへのインセンティブを削減し、agency 問題の弊害である乱診乱療問題を抑制することを示した。

この節では、医療費を支払う保険会社、政府 (principal) と、医療サービスを提供する医療機関 (agent) との間の agency 関係を整理し、診療報酬における出来高制と定額制のメリット、デメリットを整理する。

3.2.1 出来高制の場合 (患者の重症度が同一のケース)

出来高制は、どのような医療サービスにおいても事後的に医療機関には治療費用の全額が支払われる。つまり、診療報酬と医療サービス供給費用とを事後的に等しくする制度である。医療サービスを受容する消費者 (患者) の重症度が全ての患者について同一の場合、出来高制報酬契約下における医療機関の利潤は医療サービス供給費用に全く依存しないため、医療機関側は供給費用削減努力を行うインセンティブを持たないことになる。医療サービス供給費用の削減に努力コストがかかるとすると、この場合医療機関が選択する費用削減努力水準は最低 (ゼロ) の水準となる。この結果、医療費の高騰は抑制できない。

3.2.2 定額制の場合 (患者の重症度が同一のケース)

一方で定額制では、診療報酬は医療機関の医療サービス供給費用に依存せず、一定の額に定められているため、医療機関の利潤は医療サービス供給費用に依存して決定される。医療サービス供給費用が、医療サービス供給費用削減のための努力水準の減少関数である場合、利潤最大化を目的とする医療機関は、医療サービス供給費用を最小化するために最大の供給費用削減努力水準を選択する。これによって、医療費の高騰を抑制できる。

3.2.3 出来高制の場合 (患者の重症度が異なるのケース)

実際には保険加入者の重症度 (医療サービスの必要性) は患者ごとに異なる。重症度の高い患者と低い患者の 2 タイプの患者が存在すると単純化し、それぞれの患者に対する医療サービスの供給費用は重症度が高い患者の方が高いと仮定する。患者の重症度は principal、agent とともに完全情報と仮定する。

このとき、出来高制の診療報酬契約が締結されていると、医療機関は医療サービス供給費用に等しい診療報酬を得ることができるので、どの患者にどの程度の医療サービスを提供するかという診療行為の選択問題が金銭的動機から切り離され、臨床上必要となる医療サービスが量的、質的に供給されることが期待できる。

3.2.4 定額制の場合（患者の重症度が異なるケース）

しかし、患者の重症度が異なる場合に定額制の診療報酬契約が締結されると、診療報酬は医療サービス供給費用や費用削減努力水準、さらにこの場合は患者の重症度に依存しないで決定されるため、費用削減努力を一定とすると、医療機関の利潤は診察する患者の重症度に依存することになる。ここでは、重症度の高い患者への医療サービスの供給費用は、重症度が低い患者のそれよりも高いと仮定しているため、利潤最大化を目的とする医療機関は、医療サービス供給費用を減少させて利潤を増大させるために、重症度の高い患者への診療を行わず、重症度の低い患者のみに診療を行う、あるいは重症度の高い患者への診療の手抜き（医療サービスの品質を故意に低下させる）を行うなどの、過剰なインセンティブを持つことになる。

以上のように、臨床上必要な医療サービスが供給され（適切な診療行為の選択が行われる）、医療費高騰を抑制しうる（医療機関が高い費用削減努力水準を選択する）診療報酬契約は、患者の重症度（医療サービスの必要性）が一樣か多様かによって異なる。患者の重症度が同一の場合には、定額制の診療報酬契約によって、医療機関に費用削減努力を行うインセンティブが与えられるが、患者によって重症度が異なり、重症度が高い患者への医療サービスの供給費用が相対的に高い場合には、出来高制の診療報酬契約によって貞節な医療サービスの供給と医療費の低減が実現しうる。

3.3 最適診療報酬契約と Multitask model

前節では、診療報酬契約の締結において principal である保険会社、政府が契約を提案し、それを所与として agent である医療機関がどのようなインセンティブを持つかを分析した。この節では、医療機関が2つの異なる努力水準（Multitask）を選択し、principal である政府がその2つの努力水準を操作することができる場合に、政府はどのような診療報酬規制を実施すべきか（最適料金規制問題）を分析する。

医療機関が選択する努力水準は、1) 医療サービスの質（quality of care）に係る努力 t_1 と、2) 費用削減努力（cost reduction effort） t_2 の2つであるとする。努力に要する費用として、努力水準が高くなれば医療機関に不効用が発生するという努力費用関数（不効用関数） $\gamma(t_1, t_2)$ を仮定する。また、各努力水準が生産費用に与える影響を表す生産費用関数 $c(t_1, t_2)$ を仮定する。追加的な医療サービスの質に対する努力投入が費用逓増的（ $c_1 = \partial c / \partial t_1 > 0$ ）、追加的な費用削減努力投入は費用逓減的（ $c_2 = \partial c / \partial t_2 < 0$ ）とする。さらに、消費者は医療サービスの質（に対する医療機関の選択した努力水準）のみに依存して医療サービスを需要するとし、消費者の医療サービス需要関数 $\mu(t_1)$ を仮定する。

3.3.1 最適料金規制問題の基本モデル

政府は(1)式の社会的余剰関数に直面している。 $W(t_1)$ は医療機関によって生み出される社会的な粗便益である。

$$W(t_1) - c \times \mu(t_1) - \gamma(t_1, t_2) \quad \dots (1)$$

これを最大化する、社会的に効率的な努力水準 t_1^*, t_2^* は、以下の(2)、(3)式で定義される。

$$W'(t_1^*) - c_1(t_1^*, t_2^*) \times \mu(t_1^*) - c(t_1^*, t_2^*) \times \mu'(t_1^*) = \gamma'(t_1, t_2) \quad \dots (2)$$

$$-c_2(t_1^*, t_2^*) \times \mu(t_1^*) = \gamma'(t_1, t_2) \quad \dots (3)$$

1) 出来高報酬 (Cost Reimbursement : CR) 契約の下での医療機関の努力水準選択問題

出来高報酬は実際の医療サービス供給費用 $c(t_1, t_2)$ と追加利潤 m の合計によって構成されるとすると、出来高報酬契約の下での医療機関利潤は (4) 式で表される。

$$(c + m) \times \mu(t_1) - c \times \mu(t_1) - \gamma(t_1, t_2) = m \mu(t_1) - \gamma(t_1, t_2) \quad \dots (4)$$

出来高報酬契約の下にある医療機関は (1) 式で表される医療機関利潤を最大化するように努力水準を決定する。(1) 式について医療サービスの質 t_1 について最大化すると、最適化の一階の条件は (2) 式になる。

$$m \mu'(t_1) - \gamma'(t_1) \quad \dots (5)$$

出来高報酬契約の下では、費用削減努力 $t_2 = 0$ が選択される。このとき、(1) 式で表される政府の社会的余剰関数を最大化する医療サービスの質を t_1^+ は以下の (6) 式を満たす。

$$W'(t_1^+) - c_1(t_1^+, 0) \times \mu(t_1) - c(t_1^+, 0) \times \mu'(t_1^+) = \gamma'(t_1^+) \quad \dots (6)$$

出来高報酬契約の下で政府が医療機関に支払う追加利潤 m の決定式は、以下の (7) 式になる。

$$m = \frac{\gamma'(t_1^+)}{\mu'(t_1^+)} = \frac{W'(t_1^+) - c_1(t_1^+, 0) \times \mu(t_1) - c(t_1^+, 0) \times \mu'(t_1^+)}{\mu'(t_1^+)} \quad \dots (7)$$

(7) 式から、政府が医療機関に支払う追加利潤 m は出来高報酬契約の下で医療機関が選択する医療サービスの質 t_1^+ に依存して決定されていることが分かる。

また、(2) 式及び (6) 式から、 $t_1^+ > t_1^*$ を示すことができる。これは出来高報酬契約においては、社会余剰を最大化する医療サービスの質を過剰に上回る質の医療サービスが供給されることを示す。

2) 定額報酬 (Prospective Payment : PP) 契約の下での医療機関の努力水準選択問題

定額報酬は事前に決められた 1 治療あたりの金額 p によって支払われるとすると、定額契約の下での医療機関利潤は (8) 式で表される。

$$p \times \mu(t_1) - c \times \mu(t_1) - \gamma(t_1, t_2) \quad \dots (8)$$

(8) 式の最適化の一階の条件は (9)、(10) 式で与えられる。

$$p \mu'(t_1) - c_1(t_1, t_2) \times \mu(t_1) - c(t_1, t_2) \times \mu'(t_1) = \gamma'(t_1, t_2) \quad \dots (9)$$

$$-c_2(t_1, t_2) \times \mu(t_1) = \gamma'(t_1, t_2) \quad \dots (10)$$

(9) 式は政府の社会的余剰関数の最適化一階条件である (3) 式と同じであるので、定額報酬 p を以下の (11) 式の水準に設定することで効率的な努力水準を実現できる。((2) 式 = (9) 式として整理)

$$p = \frac{W'(t_1^*)}{\mu'(t_1^*)} \quad \dots (11)$$

(11) 式の定額報酬 p を背一定することで、政府は効率的な医療サービスの質に関する努力水準 t_1^* を実現することができる。

以上から、Multitask model において、政府は出来高報酬契約から定額報酬契約へと償還制度を変更することによって追加的な便益を得ることができる。

3.4 重症患者の診療拒否 (dumping) 問題

であるならば、凡て定額報酬契約を採用すればいいかといえば、問題が残る。定額報酬のもとでは、報酬を費用が上回るような重症患者の診療拒否が起こりうるからである。一方出来高報酬契約のもとでは、医療機関の採算が担保されるためこうした診療拒否の問題は生じない。

澤野[2003]の結論としては、適切な定額報酬の設定と出来高報酬の組み合わせを採用することにより、効率的な医療サービスの質と費用削減努力を実現した上で、重症患者の診療拒否問題を回避できる。具体的には、適切に選択された治療費水準 c^* 以下の費用で治療できる軽症患者については定額診療報酬 c^* で償還し、基準を超える治療費用を要する重症患者には出来高報酬 c で償還する、出来高・定額報酬併用制が望ましいとしている。

先のモデルにおける生産費用関数の仮定を変更する。変更する点は、生産費用関数は医療サービスの質に関する努力水準 t_1 とは独立であり、かつその生産費用がある分布に従うとしたことである。このとき定式化される医療機関の生産費用関数は、以下の通りである¹⁰。

$$\bar{c}(t_2) = \int_0^{\hat{c}} c dF(c; t_2) \quad \dots (12)$$

ここで、患者費用は区間 $[0, \hat{c}]$ の範囲の値をとるものとする。ここで、前小節の定額報酬契約の項で示した(11)式を満たす定額報酬 p^* を考える。

$$p^* = \frac{W'(t_1^*)}{\mu'(t_1)} \quad \dots (11')$$

いま、政府が実際の治療費用が c である場合に医療機関に支払う診療報酬を $p(c)$ と定義する。重症患者の診療拒否を回避するには、診療報酬は常に治療費用を上回っていなければならない ($0 \leq c \leq \hat{c}, p(c) \geq c$)。このとき区間 $[0, \hat{c}]$ において以下の条件を満たす治療水準 c^* を見つけることができる。

$$\int_0^{\hat{c}} (p^* - c) dF(c; t_2^*) = \int_0^{c^*} (c^* - c) dF(c; t_2^*) \quad \dots (13)$$

治療水準 c^* が存在するのならば、以下の診療報酬ルール $p(c)$ を設定することができる。

$$p(c) = \begin{cases} c^* & \text{for } c \leq c^* \\ c & \text{for } c > c^* \end{cases} \quad \dots (14)$$

(14)式は、ある治療費水準 c^* 以下の費用で治療できる軽症患者については定額報酬 c^* で償還し、基準を超える治療費用を要する重症患者には出来高報酬 c で償還する組み合わせ、すなわち出来高・定額報酬併用制を示している。

3.5 完成用部品価格問題への応用

冒頭で述べたとおり、上記の議論における出来高報酬制を部品毎固定価格制と、定額報酬制を機能区分毎固定価格制と捉え、また保健医療サービス供給にかかる費用 t_1 と費用削減に関する努力

¹⁰ この設定での政府の想定する目的関数 (社会的余剰) に関する議論については、澤野[2003]を参照されたい。

費用 t_2 を、それぞれ義足に所定の機能を持たせるための完成用部品関連努力費用（具体的には補装具製作事業者による完成用部品の仕入費用、個々の事業所の環境における部品の調整・管理等に要する努力費用）と費用削減に関する努力費用（完成用部品の仕入に関する諸費用の削減努力費用や、部品管理・調整等費用の情報収集・環境整備等に関する努力費用）と捉えることで、分析モデルを応用できる。

上述の医療制度における「重症患者の診療拒否」に相当する補装具製作事業者による製作拒否と言った状況は必ずしも即座に起こらないかもしれない。しかし採算が取れない状況が継続すれば長期的には事業継続が困難となる状況も得ると考えられる。そこで完成用部品価格を、機能区分毎にその基本機能のみを有する部品について定額報酬基準 c^* に相当する価格水準を推定しこれを機能区分毎固定価格として設定することとし、付加機能等を持つことで価格水準 c^* では採算が取れない部品については個々の部品にかかる原価計算等に基づいた個別価格設定を行うという価格制度が示される。

(参考) 義肢・装具・座位保持装置の事業別の収支・費用構成の傾向

研究分担者 我澤 賢之 (国立障害者リハビリテーションセンター)
山崎 伸也 (国立障害者リハビリテーションセンター)
研究協力者 長瀬 毅 (流通経済大学経済学部)

A. 研究目的

本研究は、補装具のなかの義肢・装具・座位保持装置の適正な価格水準を示す根拠を明らかにし政策立案に資する基礎情報を研究の立場から示すことにより、補装具の持続的な安定供給に資し、引いてはその利用者の自立と社会参加を支えることを目的とする。

本年度は特に、義肢・装具・座位保持装置(以下、義肢等)の事業別の収支傾向ならびに費用構成について分析した結果を示す。各事業の収支傾向等を評価するうえで、もし各事業単体の収益性・利益率等が算定できれば直接的でわかりやすい。しかしながら、実際には、各事業による収益(売上)のデータは収集可能であるものの、事業別の費用額データを得ることは困難であり¹¹、その分析は容易ではない。そのようなアプローチによる分析応報としては、大別して次の2つが考えられる。

- ・調査表記入者に対し、各事業における諸費用額について、所定の割り振り方法を提示し、その方法に従い記入してもらうことにより事業別費用額を推定する。
- ・費用額については、事業別内訳データを使用することなく、統計的手法を用いた推定を行う。

前者の方法については、我澤他[1]で平成25年のデータ(B.研究方法で述べる調査Bのデータ)を用いて義肢等の利益率の推定を行っており、事業単体で見ると義肢で不採算であり、装具で利益率が高く、座位保持装置に

¹¹ 例えば、光熱費や事務部門の人件費などについて、事業毎の所要額内訳を正確に算出することは、普通困難であろう。

ついてはやや黒字との結果が得られた。一方、後者の方法については、我澤・山崎[2]で推定が行われた¹²。対象時期は平成24年度であった¹³。結果は義肢・装具については上記の結果と同様だったものの、座位保持装置についてはわずかに不採算が生じている可能性が示唆された。

その他の方法としては、直接個々の事業自体の採算性について推定する代わりに、取扱事業の内容でグループ分けを行い、グループ毎の利益率を算出する方法が考えられる。我澤・山崎[2]では、平成22~24年度のデータについてこの方法で営業利益率を算出した。結果は、義肢・装具の扱いがなく、座位保持装置の扱いのある事業所の利益率は、義肢・装具の扱いのある事業所の平均値を上回った。これは、同じデータ(平成24年度)を用いての、統計的手法による座位保持装置事業単体の採算性評価の結果と相反する。座位保持装置事業単体の採算性評価のほうが必要とするデータ項目が多い(具体的には、事業別の売上データが必要)であることから、使える有効回答数が少ないことが影響していることが考えられる。

本稿では、新しいデータを用いての試算を試みる。

B. 研究方法

¹² 当該文献での分析方法の基本的枠組については、末吉[3]を参照されたい。

¹³ この文献[2]における「平成24年度」とは、正確には平成24年10月1日を含む会計期間についての回答であるが、本稿では便宜上平成24年度とする。この項の他年度についても同様。

平成25年度から26年度にかけて、義肢等製作事業者を対象に、製作費用・採算状況等に関する各種調査を実施した。一連の調査の概要について、表1に示す。

- 本年度は、表1に示す各調査のうち、
- ・日本義肢協会ならびに日本車椅子シーティング協会の全会員（393事業者）に調査票を発送した、人件費ならびに収支に関する調査（調査A）
 - ・日本義肢協会ならびに日本車椅子シーティング協会全会員から事業規模・立地地域が多様になるよう選出された35事業者を対象とした、売上と費用構成に関する調査（調査B）

の2つの調査結果をもとに、義肢、装具、座位保持装置、それぞれの収支傾向について分

析を行う。具体的には、下記の2種類の指標を算出する。

- ・取扱種目条件別の経常利益率
（調査Aの結果より算出）
- ・取扱種目条件別の人件費、完成用部品費、その他物品購入費等の費用構成比率
（調査Bの結果より算出）

取扱種目の条件については、

- ・義肢・装具を扱い、座位保持装置の扱いない事業所
- ・義肢・装具を扱わず、座位保持装置を扱う事業所
- ・義肢・装具・座位保持装置のいずれも扱う事業所

について算出した。

また経常利益率については、

表1 調査概要

	調査時期	調査対象	調査事項	回収率
調査 A 人件費（移動時間含む）・収支について	平成 26 年 1 月～3 月	日本義肢協会・日本車椅子シーティング協会全会員（393社）	・時間あたり人件費単価に関する項目 ・労働時間に占める移動時間の割合 ・収支	返送率 79.1% 実質回収率 （事業取扱のない旨回答のあった事業者を外した数値） 77.0% 発送数 393 事業取扱者の回収数 285 事業取扱のない旨の回答数 23
調査 B 費用構成について	平成 26 年 3 月～5 月	日本義肢協会・日本車椅子シーティング協会協会から推薦を受けた 35 事業者（うち日本義肢協会 24、日本車椅子シーティング協会 11。立地地域、従業員数規模が多様になるよう選出。）	・種目別売上 ・総費用 ・費用構成	80.0% 発送数 35 回収数 28
調査 C 素材価格について	平成 26 年 9 月	（うち日本義肢協会 24、日本車椅子シーティング協会 11。立地地域、従業員数規模が多様になるよう選出。）	・製作に用いられる各種素材（124種類）の価格（平成 21 年度下半期、23 年度下半期、26 年度上半期）の各時点の値）	68.6% 発送数 35 回収数 24
調査 D カーボン素材について	平成 26 年 9 月	日本義肢協会会員のうち 24 事業者（上記のうち、同協会より推薦を受けた事業者のみに送付）	・義肢・装具におけるカーボン素材の使用状況および使用素材の金額	58.3% 発送数 24 回収数 14 （うち 該当 素材の 取扱なしとの回答 1）

- ・義肢・座位保持装置の扱いはなく、装具のみ扱う事業所

についても併せて試算した。ただし、該回答のあった事業所数が少数（調査 A における各年度の該当有効回答数 2 乃至 3）なため、これは参考数値として扱う。なお費用構成については、調査 B における該当有効回答数が 0 であったため試算できなかった。

C．研究結果

取扱種目条件別の経常利益率については、表 2 に平成 22～24 年度の数値を示す¹⁴。費用構成については平成 25 年（同年 1 月～12 月）の値を表 3 に示す。

D．考察

●経常利益率について

（全体的傾向）

- ・全体的傾向として利益率が減少傾向にあるが、（1）義肢・装具を扱い、座位保持装置を扱わない事業者、（2）義肢・装具を扱わず、座位保持装置を扱う事業者、にその傾向が顕著である。
- ・ただし、ほとんどの取扱事業によるグループで平均利益率よりも標準偏差が大きいなど、グループ内での散らばりが大きいことが確認された。最低値のほとんどは、経常利益率が負の値であった。
- ・義肢・装具・座位保持装置 3 種目を共に扱う事業所において、平均経常利益率は全体平均より高かった（3.7%）。該当する事業所は従業員規模が大きいのではないかと考え、従業員数と経常利益率の間には相関を調べたところ、相関は見られなかった（相関係数 0.0265）。

¹⁴ この「平成 24 年度」も、正確には平成 24 年 10 月 1 日を含む会計期間を指す。本項の他年度も同様。

（義肢装具）

- ・先行研究で報告されている事業別の利益率の推計（あるいは過去の別研究の結果）では、義肢の採算が厳しく、義肢の採算の厳しさを装具で補っている可能性が示唆されていた。しかしその一方で、（装具の取扱があり、座位保持装置の取扱がない）という事業所について、義肢の取扱がある事業所とない事業所の、事業所全体の経常利益率を比較したところ該当件数が少ない（平成 24 年度で 2 件）ながら義肢の取扱のないほうが利益率が低かった（義肢取扱がある事業所 2.2% に対し、1.7%）。標準偏差の大きさと該当件数を考えれば、今回の結果で即義肢取扱がないほうが有意に利益率が低いとは言い切れない。しかし、主たる取扱事業が装具のみという事業所の利益率がもしも比較的低めであるとすれば、仮に何らかの事情で装具の価格引き下げが行われた場合、採算がかなり厳しくなることが考えられる。

（座位保持装置）

- ・義肢・装具の扱いはなく、座位保持装置を扱う事業所の平均経常利益率は、特に低かった（-0.1%）。
- ・この結果は本稿と同様の手法による、我澤・山崎[2]（平成 24 年度については調査対象期間が重なる。ただしこちらは経常利益率ベースではなく、営業利益率ベース）の結果と異なっていた。データの散らばりも大きいことから、取扱事業以外の要因が利益率に影響を及ぼしており、有効回答のある事業所がその要因を持つかどうかにより、平均利益率が変わってしまっているのではない。

費用構成

- ・義肢・装具を扱う事業所において、人件費の比率が 5 割程度と通常の製造業に較べて際だって高い。また完成用部品購入費の比

率は1割程度。人件費比率の高さは他の産業と比較してもかなり高い部類である。

- ・義肢・装具を扱わず座位保持装置を扱う事業所は人件費比率は3割程度であり、完成用部品以外の物品購入費が比較的高い。費用構成が「その他の一般機械器具及び部品」(2005年産業連関表108部門表と似ているのではない)(人件費(雇用者所得)32.9%、物品購入費(中間投入)53.7%)
- ・義肢・装具・座位保持装置とも扱う事業所の費用構成は、義肢・装具を扱い座位保持装置を扱わないグループと大差はない。完成用部品購入費の比率は、このグループが最も高かった(12.5%)。

E. 結論

経常利益率については、平成24年度以降減少傾向にあったことが確認された。平成26年度末に義肢・装具・座位保持装置の価格引き上げが行われたが、それがどのように影響するのか、今後の研究で明らかにしたい。

今回の研究では、取扱事業別の収支や費用構成に着目した。座位保持装置製作事業に関連して、義肢・装具の扱いがなく座位保持装置の扱いのある事業所の採算が厳しいとの結果が今回の集計からは示唆された。しかし、これは過去の調査でも使用するデータ・分析方法によって結果が異なる場合が見られる。その差異が生じる背景や、取扱種目以外に何か利益率に大きな影響を及ぼしている要因が何なのかについて、今後明らかにしたいと考える。

F. 引用文献

- [1] 我澤賢之,山崎伸也,長瀬毅.分担研究報告「義肢・装具・座位保持装置の製作費用調査」.補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究 厚生労働科学研究費補助金障害者対策総

合研究事業(研究代表者 井上剛伸),平成26年度 総括・分担報告書,p.23-63,2015-03.

- [2] 我澤賢之,山崎伸也.分担研究報告「補装具費支給制度の価格に関する課題抽出」.利用者のニーズに基づく補装具費支給制度の改善策に関する調査研究 厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業(研究代表者 相川孝訓),平成24年度 総括・分担報告書,p.37-59,2013-03.
- [3] 末吉俊之.「DEAに基づく限界費用価格形成:NTT電話基本料金に関する一考察」,オペレーションズリサーチ:経営の科学,Vol.40, No.12, p.701-705, 1995.

表 2 . 事業条件別 売上高経常利益率

		平成 22 年度 (正確には平成 22 年 10 月 1 日を含む会計期間)	平成 23 年度 (正確には平成 23 年 10 月 1 日を含む会計期間)	平成 24 年度 (正確には平成 24 年 10 月 1 日を含む会計期間)
	平均値	3.6%	2.9%	2.2%
	中央値	3.1%	2.5%	2.0%
義肢:	最大値	17.4%	13.0%	14.8%
装具:	最小値	-7.2%	-9.4%	-11.0%
座位保持装置: ×	標準偏差	5.5%	4.7%	5.0%
	有効回答数	79	80	79
	平均値	-1.0%	2.8%	1.7%
(参考)	中央値	-1.0%	5.1%	1.7%
義肢: ×	最大値	5.0%	9.4%	3.3%
装具:	最小値	-7.0%	-6.0%	0.1%
座位保持装置: ×	標準偏差	6.0%	6.5%	1.6%
	有効回答数	2	3	2
	平均値	2.2%	3.0%	-0.1%
義肢: ×	中央値	1.6%	0.6%	0.4%
装具: ×	最大値	15.2%	16.5%	6.2%
座位保持装置:	最小値	-4.6%	-11.5%	-9.8%
	標準偏差	4.3%	6.2%	3.8%
	有効回答数	21	25	22
	平均値	4.2%	3.3%	3.7%
義肢:	中央値	4.2%	1.9%	2.9%
装具:	最大値	13.1%	17.4%	12.8%
座位保持装置:	最小値	-5.1%	-7.4%	-4.9%
	標準偏差	4.8%	5.5%	4.2%
	有効回答数	45	46	45

各区分における平均から標準偏差の 2 倍以上乖離するものを除いて、平均を再計算。
左端の列において、は取扱があること、×は取り扱いがないことを意味する。

表3 . 総費用に占める各費用の構成比率

	義肢： 装具： 座位保持装置：×	義肢：× 装具： 座位保持装置：×	義肢：× 装具：× 座位保持装置：	義肢： 装具： 座位保持装置：
人件費	51.1%	-	30.1%	48.4%
完成用部品購入費	9.5%	-	3.3%	12.5%
その他の物品購入費	21.6%	-	45.9%	22.2%
その他の費用	17.8%	-	20.6%	16.9%
該当回答数	10	(該当無し)	5	11

上端の行において、 は取扱があること、 ×は取り扱いがないことを意味する。

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
分担研究報告書

補装具費支給判定基準マニュアルの作成

研究分担者 榎本 修 宮城県リハビリテーション支援センター 所長

研究要旨 適切な補装具が円滑に支給されるために補装具費支給の判定を行っている身体障害者更生相談所（以下更生相談所）、補装具費支給意見書を作成する医師、市町村障害福祉担当者、補装具製作者、中間ユーザーのリハ専門職等において補装具費支給制度の共通理解を得る目的で補装具費支給判定基準マニュアルを作成することを目的とした。平成 25 年度は全国の更生相談所の判定現場から寄せられた疑義をまとめて 151 問からなる「補装具費支給判定 Q & A」（暫定版）を作成し、更生相談所限定で配布した。平成 26 年度には個々の Q & A について有用性、公開の適否等を検討するために 6 カ月間使用したところでアンケート調査を実施し、寄せられた意見を踏まえて修正した暫定版 2 を作成、配布した。平成 27 年度は更生相談所職員を対象とした限定版と医療関係者、市町村職員等支援者を対象とした公開版に分けて作成した。Q & A の厳選、追加、整理を行い、更生相談所限定版は暫定版 2 をさらに充実させて 189 問、公開版は、補装具費の算定など更生相談所独特の Q & A は省き、補装具費支給制度の基礎的な事項を盛り込んで 71 問とした。また、同じ研究グループで他の研究分担者が作成した義足の完成用部品の機能区分表を盛り込んで義肢判定の際に役立つようにし、補装具判定に関わる事務職だけでなく、技術職にも有用な「補装具費支給判定基準マニュアル」として完成させた。

A．研究目的

補装具ユーザーに適切な補装具が円滑に支給されるためには、補装具費支給の判定を行っている更生相談所職員だけでなく、意見書を作成する医師、市町村障害福祉担当者、補装具製作者、中間ユーザーのリハ専門職等にも補装具費支給制度の共通理解を得ることが重要である。平成 25 年度は更生相談所における補装具の医学的判定、社会的必要性の判断の基となる厚生労働省が告示する補装具費支給基準、取扱指針、取扱要領等の理解において地域格差による解釈の違いを是正し、判定に対する標準的な考え方の理解を深める目的で、151 問からなる更生相談所向けの「補装具費支給判定 Q & A」（暫定版）を作成、全国 80 カ所の更生相談所に配布した。平成 26 年度にはこの Q & A を 6 カ月間使用したところで個々の Q & A について有用性、公開の適否等を検討するためにアンケ

ート調査を実施した。寄せられた意見を踏まえた修正を加えて「補装具費支給判定 Q & A 暫定版 2・アンケート調査結果」を作成し、同じく更生相談所限定で配布した。平成 27 年度の研究目的は、内容をさらに充実させた「補装具費支給判定基準マニュアル」（以下マニュアル）として完成させることである。

B．研究方法

B - 1．Q & A の厳選・整理

マニュアルは更生相談所職員を対象とした限定版と医療関係者、市町村職員等支援者を対象とした公開版に分けて作成する。平成 26 年度に行ったアンケート調査結果をもとに「補装具費支給判定 Q & A 暫定版 2・アンケート調査結果」の 151 問を整理して掲載に相応しいものを厳選する。また、平成 26 年度、平成 27 年度に「全国身体障害者更

生相談所長協議会補装具判定専門委員会」に寄せられた新たなQ & A (26年度32問、27年度途中まで28問)を厳選、加工して新たに追加できる質問を整理する。

さらに、障害者自立支援法(平成18年施行)以降に厚生労働省から6回にわたり事務連絡で発出された補装具に関するQ & A51問を限定版、公開版ともに掲載する。

B - 2 . 項目の追加

平成26年度アンケートの意見を参考に補装具費支給制度の基本事項として「補装具制度の歴史概要」、「補装具判定における身体障害者更生相談所の役割」、「補装具判定・処方前の基礎知識」を掲載する。

また、同じ研究グループで他の研究分担者が作成した義足の完成用部品の機能区分表を盛り込み、技術編として「骨格構造義足判定における処方の理解」と「機能区分表の使い方と完成用部品の選択」を掲載する。

(倫理面への配慮)

全国の更生相談所に対して行ったアンケート調査では、結果の集計およびアンケートに寄せられた意見をまとめるにあたり、個別の更生相談所名が判別できないように、倫理面に配慮している。また、補装具の個別製品名等の記載にあっても利益相反に関する事項はない。

C . 研究結果

C 1 . 限定版の構成

限定版に選出したQ & Aは189問となった。限定版は次のように構成した(表1)。

1) 補装具費支給制度の基本事項

補装具制度の歴史概要、補装具判定における身体障害者更生相談所の役割、補装具判定・処方前の基礎知識

2) 補装具費支給事務取扱指針にみる疑義解釈

制度適用、支給可能な個数、特例補装具など28問。

3) 補装具費支給の算定に関する疑義解釈
装具、義肢、車椅子など種目別で77問。

4) 基準の文言の解釈・補装具の適応・技術的な理解に関する疑義解釈
種目別の理解、児童補装具の理解、難病の理解など84問。

5) 厚生労働省事務連絡のQ & A(自立支援法以降)計6回にわたる事務連絡の計51問。

6) 技術編：義足完成用部品の理解
骨格構造義足判定における処方の理解、義足の継手、足部について機能区分表を掲載した。

表1 補装具費支給判定基準マニュアルの構成

編	限定版	公開版
補装具費支給制度の基本事項		
補装具費支給制度の理解と疑義解釈24問	×	
補装具費支給事務取扱指針にみる疑義解釈28問		×
補装具費算定に関する疑義解釈77問		×
医療関係者・市町村等向けQ & A47問(下記と重複)	×	
基準の文言の解釈・補装具の適応・技術的な理解に関する疑義解釈84問		×
Q & A数 計	189	71
厚生労働省事務連絡のQ & A(自立支援法以降)51問		
技術編：義足完成用部品の理解・機能区分表		

C 2 . 公開版の構成

公開版に選出したQ & Aは71問となった。公開版は次のように構成した(表1)。

1) 補装具費支給制度の基本事項

限定版と同内容

2) 補装具費支給制度の理解と疑義解釈

補装具の定義、更生相談所の補装具判定とは何か、治療用装具と更生用装具の違いなど補装

具費支給制度の理解に関する基本的なQ & A 24問。

3) 医療関係者・市町村等支援者向けQ & A

医療関係者等中間ユーザーの理解を促すとともに市町村が補装具費の支給決定を行う際に参考となるようなQ & A 47問。特に児童の補装具、難病患者等に関するQ & Aを掲載した。

4) 厚生労働省事務連絡のQ & A (自立支援法以降)

計6回にわたる事務連絡の計51問。

5) 技術編：義足完成用部品の理解

骨格構造義足判定における処方理解、義足の継手、足部について機能区分表を掲載した。

D. 考察

3年間の研究成果として作成した「補装具費支給判定基準マニュアル」の最大の特長は、その構成の核となる補装具に関するQ & Aが、実際に全国の身体障害者更生相談所の補装具判定において生じたQをアイデアにして作成されていることである。全国身体障害者更生相談所長協議会内の組織として補装具判定専門委員会があり、著者が委員長を務め、宮城県リハビリテーション支援センターが事務局を担っている。平成23年度から活動を開始し、全国の更生相談所から提出された補装具判定に関するQに対して、その都度委員会メンバー10名でメーリングリストによる会議を行い、Aを2週間以内に回答するシステムである。平成28年2月末までに241個のQ & Aが蓄積されている。個別の既製品に対するものを省いたQ & Aからアイデアをいただき、単刀直入にエッセンスだけを書き直したのが本マニュアルのQ & Aである。

本マニュアルは更生相談所職員を対象とした限定版と医療関係者、市町村職員等支援者を対象とした公開版に分けて作成した。二つに分けた理由の背景となったのは、平成26年度に行った本マニュアルの前身である補装具費支給判定Q & A暫定版に対するアンケート調査結果である。そこでは公開の適否については34カ所(45%)の更生相談

所が151問中77問(51%)において加工修正、あるいは公開には相応しくないのを削除を求めている。その77問は補装具費の算定に関するQ & Aがほとんどを占め、公開されると影響が出るとの意見が多く、各更生相談所によって算定の仕方が微妙に異なっていることが明らかになった。そこで、公開版は暫定版2で掲載した151問を再度見直し、補装具費の算定に関するQ & A 77問はカットして、公開しても問題がないと判断したQ & Aだけに絞り込んだ。特例補装具で扱う余地があるというあいまいなQ & A、すなわち、地域によって判断基準が異なるとされるものをほとんど削除している。また、医療関係者・市町村等支援者向けに補装具費支給制度の理解を深める基本的なQ & Aを追加して、総Q & A数を71問に厳選した。

本マニュアルには、技術編として義足完成用部品の理解を促す目的で骨格構造義足判定における処方理解、義足の継手、足部について機能区分表を掲載したのも大きな特長である。その背景には、Q & A暫定版のアンケートの中に「義足完成用部品の選定の仕方が分からない」という声があった。この機能区分表は同じ研究グループで他の研究分担者である児玉らが既に機能区分が行われている米国のLコード等を参考にわが国の義足完成用部品について機能の整理・定義づけを行い、独自の機能区分をまとめたものである。本マニュアルにはそのうち股継手、膝継手、足継手・足部だけを抜粋して掲載している。この機能区分表が有効利用され、義足の判定、処方において根拠、自信のある完成用部品の選択、処方がなされるようになること、機能区分が医師、義肢装具士、リハ専門職、行政側の職員等の共通言語となり、完成用部品選択の共通理解の一助になることを期待している。

E. 結論

「補装具費支給判定基準マニュアル」を更生相談所限定版と公開版に分けて作成した。補装具のユーザーにとって適切な補装具が円滑に支給され

るためには厚生労働省が告示する補装具判定の基準を更生相談所の職員だけでなく補装具処方に関わる多職種が共通理解する必要がある。本マニュアルが補装具判定の現場で起こっているQ & Aを核に構成されている点は、これまでになかったものである。すなわち、現場での有用性が見込まれ、本マニュアルが果たす行政的意義は大きいと考えられる。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- 1) 櫻本 修：【基調講演2】更生相談所における補装具費支給基準の理解と機能区分への期待」、第2回 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みに関する研究会 2015.07.25. 所沢.
- 2) 櫻本 修：「補装具費支給判定マニュアルの作成」、特別レポート 補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みを考える - 厚生労働省科学研究費補助金プロジェクト報告 -、第31回日本義肢装具学会学術集会。2015.11.8, 横浜.

G. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
分担研究報告書

機能区分を踏まえた完成用部品申請手続きの整備

研究分担者 石渡 利奈 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発部 第一福祉機器試験評価室長
研究分担者 山崎 伸也 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
義肢装具技術研究部 副義肢装具士長
研究分担者 我澤 賢之 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
障害福祉研究部 研究員
研究協力者 相川 孝訓 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
福祉機器開発部 非常勤研究員

研究要旨 本件研究の目的は、補装具利用者の社会参加・自立支援に向けて、機能区分を活かす完成用部品申請手続きのシステムを構築することである。平成 25 年度に、システム構築のために、手続きの効率化、正確性の向上を目的として、Microsoft Excel を用いた電子申請様式（様式 A-1～8、様式 B-1～2、様式 C-1）を作成した。作成した様式についてアンケートを行い、多様な作業環境への配慮、ユーザビリティの向上、記入要領の改良等の必要性を見いだせた。平成 26 年度には、平成 25 年度実施のアンケート調査結果に基づく様式の改善に加え、記入要領等、説明会での説明方法の見直しもを行い申請システム改善を図った。また、機能区分を踏まえた完成用部品申請システムについては、アメリカの L コードシステムを参考に構成案をまとめた。平成 27 年度は、他の研究課題として進めている補装具等完成用部品の機能区分の構成がまとまり、骨格構造義足の完成用部品についての考え方がまとまったことを受け、この機能区分を使った部品運用を行う上で必要な情報を整理するとともに、そうした情報を完成用部品登録申請を通じて集約することを想定した様式改訂案の作成、さらには、運用していく上で発生すると考えられる問題点についてまとめた。

A. 目的

補装具の完成用部品については、部品供給業者が部品毎に厚生労働省に対し「義肢装具等完成用部品の指定申請書」を提出し、認可されたものが「完成用部品等の指定基準」に掲載される。部品としては最低限の情報のみが掲載されているのみで、この部品で何ができるのかについての詳しい情報はない。また、義足製作時には利用者の能力や生活様式に対し必要な機能を持つ部品を適切に処方することが求められている。しかし、部品は日進月歩で新しい機能を持つ新しいものが開発され、多くの異なる機能が

あり何をどう選ぶか、情報収集するだけでも大変である。今回、他課題で完成用部品の機能区分により、同じ機能を持つものが同じ区分として整理されることで部品選択の際の選択肢が定まり、部品選択が明確化されていくことを期待する。整理した機能区分が有効に機能するためには、継続して使える仕組みが必要となる。そこで、完成用部品の機能区分が継続的に使えるようにするため収集すべき情報項目を整理すると共に、当該情報を完成用部品登録申請を通じて集約するために必要となる申請様式の改定案

の提案、及び、機能区分を取り入れた際に検討が必要となる項目についてまとめる。

B . 方法

B - 1 .新しい部品を機能区分に分類するために必要な情報と当該情報を集約する場合必要となる申請様式の改定案について

作成された骨格構造義足用部品の機能区分に掲載されている内容と、本研究で改訂した補装具等完成用部品の現行の申請様式について機能区分をとりいれることで、新しく追加が必要となる項目についてまとめる。

B - 2 .機能区分案を取り入れた場合、運用していく上で考えられる事項

補装具等完成用部品の申請受付から新しい補装具等完成用部品の情報公開までの流れの中で、機能区分案を取り入れた場合に発生するであろう問題点についてまとめる。

C . 結果

C - 1 .新しい部品を機能区分に分類するために必要な情報と当該情報を集約する場合必要となる申請様式の改定案について

現行の補装具等完成用部品の申請様式は、1つの様式で、義肢と装具、座位保持装置を網羅する形としている。しかし、本研究で機能区分案として纏めたものは、骨格構造義足用部品のみである。今回の申請様式は、装具および座位保持装置については考慮せず、義肢用申請様式としてまとめた。

機能区分案の項目は、

コード

新名称

機能区分

機能概要

メーカー推奨適応活動レベル

メーカー名

メーカー品番

メーカー部品名称等

使用者体重制限 (kg)

主な使用材料

重量 (g)

価格 (円)(基準価格)

メーカー保証期間

特記事項

の14項目がある。新しい部品を機能区分に分類するためには、いずれの機能区分に該当するかにかかると、(~ 、ただし の記載によりからは規定される)ならびにその他の属性にかかると、(~)が必要となる。

これらの項目を現行の申請様式に当てはめると、それぞれの様式で既に対応している項目は、であった。この内訳を以下に示す。

現申請様式	機能区分項目
様式 A-2 (新規申請部品一覧)	
様式 B-2 (既収載部品一覧)	
様式 A-3 (価格根拠)	
様式 A-4 (部品概要)	

現在の申請様式に記載箇所のない項目は、~ 、 であり様式に追加が必要である。考えられる追加の方法は、様式 A-2 に ~ 、 、様式 A-4 に の記入欄追加することである。

ただし、部品の持つ機能が有効に使われるものであるかを判断するためには、部品が持つ機能がどの様な効果をもたらすか確認していく必要がある。様式 A-6 のフィールドテスト評価で

機能と効果について、記入できるようにする必要がある。また、価格の妥当性についても、機能の持つ価値について検証していく必要がある。また、次項でも触れるように、申請部品毎に様式に記載された機能区分の妥当性を検証するための根拠に関して、現状で様式 A-4 部品概要に構造や機能（効果）にかかる記載項目があるものの、これで十分なのかどうか検討していく必要がある。

C-2 .補装具等完成用部品の申請受付から新しい補装具等完成用部品の情報公開までの流れの中で、必要になる事項

この機能区分案は、あくまで研究の立場から作成・提案するものであるが、仮に補装具費支給制度のなかで公的なものと位置づけられることになった場合、必要となる事項についてまとめた。

1) 機能区分についての周知

各メーカー、補装具評価検討会メンバー、国リハ補装具等完成用部品の事前評価メンバーに機能区分の分類について周知する。

2) 機能区分の妥当性の検証

申請部品を各メーカーが独自に機能区分に割り当てたものが妥当であるか確認し、機能区分が適正に運用されるようにする。

3) 平成 27 年度等新規収載部品の情報集約

現行機能区分案は平成 26 年度の部品に基づいている。今後部品申請のなかで区分のための情報集約が行われるようになったとして、少なくとも平成 27、28 両年度に新規収載となった部品については申請とは別に必要情報の集約を行う必要がある。

4) 新しい機能の取り込み

新しい機能を持つ部品の申請があった場合、現存の機能区分に当てはめ特記事項に追加される機能を記入する。もしくは、新しい機能区分の枠を作るかを判断する。

5) 新しい機能区分の作成ルール

新しく機能区分の枠を作成する場合、新しい機能の名前を誰がどのようにして付けるかルール作りが必要である。また、数年に一度、機能区分の整理に不適正な分類がされていないかを見直す機能が必要である。

D . 考察

機能区分案が、仮に補装具費支給制度のなかで公的なものと位置づけられるとすれば、完成した機能区分案に合わせ、厚生労働省補装具完成用部品指定申請様式の改訂が必要となる。機能区分の掲載される項目を載せるだけでなく、機能区分が有効に使われているかを判断し、取り入れていくための情報収集ができる様式作成が必要である。

運用に際して、問題になると思われる事項について取り上げ、ルール作りが必要な点について指摘した。

制度で完成用部品として指定しているものは義肢・装具・座位保持装置の 3 種類であり、骨格構造義足は、購入基準で定めている義肢の種目の一部であり制度として運用するようになるためには、他の種目についても早急な完成用部品の機能区分の作成が望まれる。

E . まとめ

今回の研究では、完成用部品の機能区分案を取り入れることによる問題点についてまとめた。申請様式について、不足項目を追加することで、機能区分案の情報を全て集めることが可能であ

ることが確認できた。さらに、部品の持つ機能の有効性の検証データの収集、機能に対する価格の妥当性を検証するための情報など細部に渡って様式確認が必要となる。運用の面では、機能区分を継続して維持するためには、機能区分を壊さないよう運用していくことが重要である。

今後、機能区分で部品が整理されることにより、利用者と部品の対応を明らかになり、利用者に必要な機能から必要な部品選択が行えるようになることを期待したい。

F . 研究発表

1 . 論文発表

なし

2 . 学会発表

なし

G . 知的財産権に出願・登録状況(予定を含む)

1 . 特許取得

なし

2 . 実用新案登録

なし

III . 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
	該当なし						

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
	該当なし				

厚生労働科学研究費補助金

障害者対策総合研究事業（障害者政策総合研究事業（身体・知的障害分野））

「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」

平成 27 年度 総括・分担研究報告書

発行日 平成 28（2016）年 3 月

発行者 「補装具の適切な支給実現のための制度・仕組みの提案に関する研究」研究班
（研究代表者 井上剛伸）

発行所 国立障害者リハビリテーションセンター研究所

〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4-1

TEL: 04-2995-3100 FAX: 04-2995-3132